令和３年度

研修案内

東京都教職員研修センター
Tokyo Metropolitan School Personnel In-Service Training Center

Ⅰ　研修･研究事業計画策定基本方針（平成 30 年 10 月 26 日制定）

東京都教育委員会は、平成 20 年に策定した「東京都教員人材育成基本方針」（平成 27 年２月一部改定）等に基づき、教員養成課程を有する大学と緊密に連携しながら、教員研修の充実を図ってきました。

また、平成 29 年４月に施行された「教育公務員特例法等の一部を改正する法律」に基づき、東京都教員育成協議会を設置し、平成 29 年７月に「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標」（以下「指標」という。）を策定しました。さらに、同年 10 月には、「指標」に基づき毎年度定める「東京都教員研修計画」（以下「教員研修計画」という。）を策定する等、法改正を踏まえ、その趣旨を具現化するための取組を推進しています。

１　東京都教職員研修センターの役割

東京都教職員研修センター（以下「研修センター」という。）では、研修センター設置条例、研修センター処務規則等に基づき、教員養成段階を含め、教職員生活全体を通じた資質・能力の向上に資する研修や、直面する教育課題の解決に資する調査研究等を行い、東京都における教育の充実・振興を図っています。

２　本基本方針の位置付け

研修センターは、職層や経験に応じた研修を計画的に行うとともに、教員の専門性を高める研修や教育課題に対応した研究を行っています。研修センターには、このような研修・研究事業を通して、東京の将来を見据えた教育に関する取組の改善・充実を図る役割が求められています。

そこで、今般の学習指導要領の改訂や教員の働き方改革の動向等を踏まえ、今後の研修センター事業の中・長期的な視点からの方向性を示すために、本方針を改定することとしました。

３　これからの時代に求められる研修企画の工夫改善

「教員研修計画」では、人材育成の三つの手段である「ＯＪＴ」、「Ｏｆｆ－ＪＴ」、「自己啓発」を計画的に実施することを示しています。研修センターは、この「教員研修計画」の趣旨を踏まえながら、教員の研修（Ｏｆｆ－ＪＴ）に関する事業を着実に企画・実施していきます。

とりわけ、研修の企画に当たっては、授業及び学習指導におけるＩＣＴの利活用、特別支援教育、外国語教育、道徳教育の一層の推進等、新たな教育課題に対応した研修を展開していきます。加えて、学習指導要領の改訂を受けて、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善等に資する研修や教科等間の関連及び各学校段階間の円滑な接続に配慮した研修を企画していきます。

また、研修の在り方や手法についても見直しを行い、主体的・協働的な学びの要素を含んだ演習や協議等の方法を積極的に取り入れて実施していきます。このことにより、受講者である教職員が、研修内容をより深く理解し、学校における指導の改善等につなげることができるようにしていきます。

さらに、「学校における働き方改革推進プラン」を踏まえ、ＩＣＴを活用したＷｅｂ研修やサテライト方式による研修の導入等、効率的で効果的な研修方法の工夫改善を図っていきます。

４　教育課題に対応する先駆的な研究の実施と普及・還元

新たな時代に向け、学校の抱える課題は、複雑化・困難化するだけでなく、拡大し、多様化しています。また、学習指導要領の改訂に伴う学校の教育活動の改善や様々な教育課題等、学校が早期に対応したり、解決が迫られたりするものが数多くあります。

研修センターでは、これらの課題解決や対応に向けた取組を支援する研究を実施していきます。その上で、研究成果を、各学校における校内研究等ＯＪＴ活性化の支援をするために情報提供し、研修センターが実施する研修との関連を図っていきます。

５　学び続ける教員の自己啓発支援の充実

教員一人一人が、自己の研修の計画を主体的に立案するためのＩＣＴツール「マイ・キャリア・ノート」の充実を図ります。教員が「マイ・キャリア・ノート」を通じて確認することができる研修履歴と「指標」とを参考にしながら、自ら課題をもって自律的に研修に臨めるようにするための支援をしていきます。

また、「マイ・キャリア・ノート」の、ｅラーニングや動画視聴等ができる環境を充実させ、教員の自己啓発を支援していきます。これらの取組を通して、教員一人一人が時代の変化や自らのキャリアステージで求められる資質・能力を生涯にわたって高めていく力を身に付けることができるようにします。

Ⅱ　研修構築の基本方針等

東京都教職員研修センターにおいて実施される研修は、「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質向上に関する指標」及び「学び続けよう、次代を担う子供のために－令和３年度東京都教員研修計画－」を受けて基本方針等を決定しています。ここでは、その根拠となる資料を掲載します。

１　「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質向上に関する指標」について

社会状況や子供を取り巻く環境の変化に伴い、学校教育における課題は一層複雑化・多様化しています。そのため、これからの教員には、今までの指導方法を見直し、工夫・改善するとともに、保護者や地域、関係機関等と連携・協働する力の育成が必要となっています。

東京都教育委員会では、これら学校を取り巻く社会状況の変化に対応できるよう、平成 20 年 10 月に「東京都教員人材育成基本方針（平成 27 年 2 月一部改正）」を策定し、計画的に人材育成に取り組んできました。

今般、教育公務員特例法等の一部を改正する法律の施行により、教員の職責、経験及び適性に応じて向上を図るべき校長・副校長及び教員としての資質に関する指標を定めるものとすることが示されました。そこで、東京都教育委員会は、「東京都教育施策大綱」に示された「東京の将来像と目指すべき子供たちの姿」を基に、「東京都の教育に求められる教師像」や「今後の教育施策における重要事項」を鑑み（図１）、「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標（以下「指標」という。）」（表１）を策定し、教員自らが生涯にわたって、キャリアに応じて求められる資質の向上に努められるようにしました。

東京の将来像と目指すべき子供たちの姿

□誰もが自ら望む教育を受けられ、可能性を伸ばせる社会の実現
□グローバル化の進展の中でたくましく生き抜く人間
□共生社会の中で多様性を尊重し積極的に社会的役割を果たす自立した人間

「東京都教育施策大綱～東京の輝く未来を創造する教育の実現に向けて～」（平成29年１月　東京都）

東京都の教育に求められる教師像

●教育に対する熱意と使命感をもつ教師
- 子供に対する深い愛情
- 教育者としての責任感と誇り
- 高い倫理観と社会的常識

●豊かな人間性と思いやりのある教師
- 温かい心、柔軟な発想や思考
- 幅広いコミュニケーション能力

●子供のよさや可能性を引き出し伸ばすことができる教師
- 一人一人のよさや可能性を見抜く力
- 教科等に関する高い指導力
- 自己研さんに励む力

●組織人としての責任感、協調性を有し、互いに高め合う教師
- より高い目標にチャレンジする意欲
- 若手教員を育てる力
- 経営参加への意欲

「東京都教員人材育成基本方針」
（平成20年10月（平成27年２月一部改正）東京都教育委員会）

今後の教育施策における重要事項

1　全ての子供が学び成長し続けられる教育の実現
2　新しい価値を創造する力を育む教育の推進
3　世界で活躍できる人材の育成
4　社会的自立に必要な力を育む教育の推進
5　悩みや課題を抱える子供に対するサポートの充実
6　障害のある子供たちの多様なニーズに応える教育の実現
7　オリンピック･パラリンピック教育の推進
8　子供たちの学びを支える教師力･学校力の強化

「東京都教育施策大綱～東京の輝く未来を創造する教育の実現に向けて～」（平成29年１月　東京都）

図１

（表 1）東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標

教員

成長段階	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭
	基礎形成期	伸長期	充実期		
	1～3年目	4年目～	9年目～	11年目～	
求められる能力や役割	○教員としての基礎的な力を身に付ける。 ○教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。	○知識や経験に基づく実践力を高め、初任者等に助言する。 ○主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として貢献する。	○校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割を担当する。 ○同僚や若手教員への指導的役割を担う。	○高い専門性と優れた指導力を身に付け、都公立学校教員全体の授業力の向上を図る。	○学校運営組織における中心的な役割を担う。 ○管理職を補佐し、教員を育成する。

教員が身に付けるべき力

学習指導力	・学習指導要領の趣旨を踏まえ、ねらいに迫るための指導計画の作成及び学習指導を行うことができる。 ・児童・生徒の興味・関心を引き出し、個に応じた指導ができる。 ・主体的な学習を促すことができる。 ・学習状況を適切に評価し、授業を進めることができる。 ・授業を振り返り、改善できる。		・児童・生徒の主体的な学習を促し、若手教員の模範となる授業ができる。 ・若手教員の指導上の課題を捉え、助言・提案等ができる。 ・授業改善や授業評価について、実態や課題を捉え、解決策を提案できる。	・自らの授業を積極的に公開するとともに、自校又は他校の求めに応じて授業を観察し、指導・助言することができる。 ・教科指導資料等の開発、模範となる教科指導のための教材開発等を行うことができる。	・年間授業計画の実施状況を把握し、学年主任や教科主任に指導・助言できる。 ・学校全体の年間授業計画や授業改善推進プラン、個別指導計画、評価計画等を作成することができる。
生活指導力・進路指導力	・児童・生徒と信頼関係を構築して、授業、学級での規律を確立できる。 ・生活指導上の問題に直面した際、他の教員に相談しながら解決できる。 ・児童・生徒の状況に応じたキャリア教育の計画を立てることができる。	・他学年や他学級の生活指導上の問題について、共に対応したり、効果的な指導方法について助言したりできる。 ・児童・生徒の個性や能力の伸長及び社会性の育成を通して自己実現を図る指導を行うことができる。	・若手教員が抱える課題に気付き、解決に向け指導・助言することができる。 ・児童・生徒に自己有用感をもたせることができる。 ・自校の課題について、解決策を提案することができる。	・児童・生徒の観察や他の教員からの情報収集に基づき、自校の生活指導・進路指導の課題を捉え、管理職と連携して、改善策を提案し、実行することができる。 ・指導方針や指導方法の徹底に向け主任教諭等への指示や連絡・調整を行うことができる。 ・児童・生徒の個性や能力を把握し、自己実現に向けた生活指導・進路指導の計画・実施を行うことができる。	
外部との連携・折衝力	・課題に応じて保護者や地域、関係機関と連携を図り、学年主任の助言に基づいて、解決に向けて取り組むことができる。 ・保護者会等の進め方を理解し、保護者に伝える内容を整理するとともに、信頼関係を構築することができる。	・保護者・地域・関係機関と協働し、課題を解決することができる。 ・学校からの情報発信や広報、外部からの情報収集を適切に行うことができる。	・関係機関等に対し学校の考えを明確に示すとともに、情報収集を適切に行うなどして、円滑な関係を築くことができる。 ・保護者・地域・関係機関と協働し、教育活動をより高いものにできる。	・保護者・地域・関係機関からの苦情や要請に対して、円滑かつ迅速な対応を図ることができる。 ・模範授業及び公開授業を実施し、教科等の指導技術を普及することができる。	・外部への情報発信や広報について、管理職と連携して、ねらいに基づいた計画を立て、実施することができる。
学校運営力・組織貢献力	・組織の一員として校務に積極的に参画できる。 ・上司や先輩へ適切に報告・連絡・相談するなど、円滑なコミュニケーションを図り校務を遂行できる。	・担当する校務分掌についての企画・立案や改善策を提案できる。 ・上司や同僚とコミュニケーションを図りながら、円滑に校務を遂行できる。	・主幹教諭を補佐し、職務を遂行するともに、担当する校務分掌の職務について、教諭等に指導・助言ができる。 ・学校の課題を捉え、校長・副校長や主幹教諭に対応策等について提案できる。	・各会議や校務を遂行する場において、校長の経営方針を周知徹底し、学校運営を行うことができる。 ・教科指導力向上に必要な研修や校内研究等の企画を提案し、実施できる。	・校務分掌全体の進行管理や分掌間の調整をするとともに、管理職と十分協議して学校運営をすることができる。

教育課題に関する対応力	・教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領の記述を確認するなどして課題に対する知見をもち、主体的に対応することができる。	・教育課題についての理解を深め、主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として、課題解決のために貢献できる。	・教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、主幹教諭を補佐するとともに、同僚や若手教員に対して適切な助言ができる。	・教育課題について高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的な役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して適切に指導・助言できる。	

教育管理職候補者

○副校長として必要な学校運営ができる力を身に付ける。
○自校の課題について、管理職の視点から解決策を立案できる。

学校マネジメント能力

学校経営力	・学校経営方針に基づき、担当した分掌における課題について解決策を提案し、教職員を支援・指導して課題を解決できる。
外部折衝力	・学校に対する保護者等からの要望や苦情に副校長と共に対応し、解決することができる。
人材育成力	・学校の課題解決に向けて、研修等について管理職に提案し、教職員を指導・育成することができる。
教育者としての高い見識	・東京都教育委員会及び所属する区市町村教育委員会の教育目標や教育施策について学び、日頃の教育実践に生かしている。

教育課題に関する対応力	・教育課題についての正しい認識に基づき、自校の問題点に気付き、管理職に解決策を提案し、課題解決に向けた進行管理を行うことができる。

教育管理職

求められる能力や役割	副校長	校長
	○学校経営の視点で、組織目標の達成や人的管理ができる力を身に付けるとともに、所属職員の人材育成について責任をもつ。	○教育者として高い見識をもち、広い視野で学校経営ができる力を身に付けるとともに、副校長等の人材育成について責任をもつ。

学校マネジメント能力

学校経営力	・校長の経営方針を踏まえ、学校が組織として機能するよう、全教職員を適材適所に配置して、課題を解決できる。	・学校経営目標達成のため、学校経営上の課題を早期に把握し、課題解決のため、組織的に学校改革を推進することができる。
外部折衝力	・保護者や地域、関係機関の意見や要望を的確に把握し、外部人材活用や関係諸機関との連携を積極的に進めて、校長の助言を受け、適切に対応できる。	・保護者や地域、関係機関等との信頼関係を築き、適切に外部人材を活用した学校経営ができる。
人材育成力	・校長と共に授業観察等を積極的に行い、全教職員の適性や能力を把握し、個々の職員に合った人材発掘と人材育成ができる。	・人事考課制度を有効に活用し、教員の能力開発を行うとともに、副校長や管理職候補者等の人材発掘と人材育成ができる。
教育者としての高い見識	・研修や自己啓発を通して、学校の危機管理、学校マネジメントや経営哲学等を学び、実践することができる。	・教育に対する地域、保護者等都民の期待や保護者のニーズを把握し、高い見識や教育理念に基づいた学校経営を行い、期待に応えることができる。

教育課題に関する対応力	・教育課題についての高い見識をもち、自校の教育目標の実現に向けて適切に対応することができる。解決に向けた目標設定を行い、的確に役割指示と組織編制を行い、見通しをもって進行管理及び評価・改善することができる。

（表１）　東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標（養護教諭）

養護教諭

成長段階	養護教諭		主任養護教諭	主幹教諭（養護）
	基礎形成期	伸長期	充実期	
	１～３年目	４年目～	９年目～	11 年目～
求められる能力や役割	○養護教諭としての基礎的な力を身に付ける。 ○教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。	○知識や経験に基づく実践力を高め、初任者等に助言する。 ○主任教諭等を補佐し、分掌組織の一員として貢献する。	○校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割を担当する。 ○同僚や若手教員への指導的役割を担う。	○学校運営組織における中心的な役割を担う。 ○管理職を補佐し、教員を育成する。

教員が身に付けるべき力

	養護教諭		主任養護教諭	主幹教諭（養護）
学習指導力、保健管理に関する力	・学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童・生徒理解に基づき、学級担任等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育ができる。 ・児童・生徒の健康状況を把握し、救急処置、健康診断、疾病予防などの保健管理を適切に行うことができる。		・教諭等の指導上の課題を捉え、助言・提案等ができる。 ・児童・生徒の健康状況を把握し、保健管理を適切に行い、実態や課題を捉えて解決策を提案することができる。	・年間授業計画の実施状況を把握し、学年主任や教科主任に指導・助言できる。 ・学校全体の年間授業計画や授業改善推進プラン、個別指導計画、評価計画等を作成することができる。
生活指導力・進路指導力	・健康相談や心身の健康観察、情報収集を教職員と連携して行いながら、児童・生徒理解を深めることができる。 ・児童・生徒と信頼関係を構築し、生活指導上の問題に直面した際、他の教員に相談しながら解決できる。	・校内支援体制の充実及び関係機関との連携を図りながら、個別の保健指導や健康相談を行うことができる。 ・学年や学級の生活指導上の問題について、共に対応したり、効果的な指導方法について助言したりできる。	・若手教員が抱える課題に気付き、解決に向け指導・助言することができる。 ・児童・生徒に自己有用感をもたせることができる。 ・自校の課題について、解決策を提案することができる。	・児童・生徒の観察や他の教員からの情報収集に基づき、自校の生活指導・進路指導の課題を捉え、管理職と連携して、改善策を提案し、実行することができる。 ・指導方針や指導方法の徹底に向け主任教諭等への指示や連絡・調整を行うことができる。 ・児童・生徒の個性や能力を把握し、自己実現に向けた生活指導・進路指導の計画・実施を行うことができる。
外部との連携・折衝力	・課題に応じて保護者や地域、関係機関と連携を図り、上司や先輩の助言に基づいて、解決に向けて取り組むことができる。 ・健康課題の解決及び健康の保持増進について、学級担任、保護者、関係機関等と取り組むことができる。	・課題に応じて保護者や地域、関係機関と協働し、他の教員と連携しながら、課題解決することができる。 ・健康課題の解決及び健康の保持増進について、学級担任、保護者、関係機関等と連携して取り組むことができる。	・関係機関等に対し学校の考えを明確に示すとともに、情報収集を適切に行うなどして、円滑な関係を築くことができる。 ・保護者・地域・関係機関と協働し、教育活動をより高いものにできる。	・保護者・地域・関係機関からの苦情や要請に対して、円滑かつ迅速な対応を図ることができる。 ・外部への情報発信や広報について、管理職と連携して、ねらいに基づいた計画を立て、実施することができる。
学校運営力・組織貢献力	・保健室経営案の作成及び適切な保健室経営、保健組織活動を行うことができる。 ・学校保健計画の策定など、組織の一員として校務に積極的に参画できる。 ・上司や先輩へ適切に報告・連絡・相談するなど、円滑なコミュニケーションを図り校務を遂行できる。	・学校の健康課題を踏まえて、保健室経営案の作成及び適切な保健室経営、保健組織活動を行うことができる。 ・学校保健計画の策定など、担当する校務分掌についての企画・立案や改善策を提案できる。 ・上司や同僚とコミュニケーションを図りながら、円滑に校務を遂行できる。	・学校の健康課題を解決するために、保健室経営案を作成し、適切な保健室経営、保健組織活動を行うことができる。 ・主幹教諭を補佐し、職務を遂行するとともに、学校保健計画の策定など担当する校務分掌の職務について、教諭等に指導・助言ができる。 ・学校の課題を捉え、校長・副校長や主幹教諭に対応策等について提案できる。	・各会議や校務を遂行する場において、校長の経営方針を周知徹底し、学校運営を行うことができる。 ・校務分掌全体の進行管理や分掌間の調整をするとともに、管理職と十分協議して学校運営をすることができる。
教育課題に関する対応力	・教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領の記述を確認するなどして課題に対する知見をもち、主体的に対応することができる。	・教育課題についての理解を深め、主任教諭等を補佐し、分掌組織の一員として、課題解決のために貢献できる。	・教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、主幹教諭を補佐するとともに、同僚や若手教員に対して適切な助言ができる。	・教育課題について高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的な役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して適切に指導・助言できる。

教育管理職候補者

○副校長として必要な学校運営ができる力を身に付ける。
○自校の課題について、管理職の視点から解決策を立案できる。

学校マネジメント能力

学校経営力	・学校経営方針に基づき、担当した分掌における課題について解決策を提案し、教職員を支援・指導して課題を解決できる。
外部折衝力	・学校に対する保護者等からの要望や苦情に副校長と共に対応し、解決することができる。
人材育成力	・学校の課題解決に向けて、研修等について管理職に提案し、教職員を指導・育成することができる。
教育者としての高い見識	・東京都教育委員会及び所属する区市町村教育委員会の教育目標や教育施策について学び、日頃の教育実践に生かしている。
教育課題に関する対応力	・教育課題についての正しい認識に基づき、自校の問題点に気付き、管理職に解決策を提案し、課題解決に向けた進行管理を行うことができる。

教育管理職

	副校長	校長
求められる能力や役割	○学校経営の視点で、組織目標の達成や人的管理ができる力を身に付けるとともに、所属職員の人材育成について責任をもつ。	○教育者として高い見識をもち、広い視野で学校経営ができる力を身に付けるとともに、副校長等の人材育成について責任をもつ。

学校マネジメント能力

学校経営力	・校長の経営方針を踏まえ、学校が組織として機能するよう、全教職員を適材適所に配置して、課題を解決できる。	・学校経営目標達成のため、学校経営上の課題を早期に把握し、課題解決のため、組織的に学校改革を推進することができる。
外部折衝力	・保護者や地域、関係機関の意見や要望を的確に把握し、外部人材活用や関係諸機関との連携を積極的に進めて、校長の助言を受け、適切に対応できる。	・保護者や地域、関係機関等との信頼関係を築き、適切に外部人材を活用した学校経営ができる。
人材育成力	・校長と共に授業観察等を積極的に行い、全教職員の適性や能力を把握し、個々の職員に合った人材発掘と人材育成ができる。	・人事考課制度を有効に活用し、教員の能力開発を行うとともに、副校長や管理職候補者等の人材発掘と人材育成ができる。
教育者としての高い見識	・研修や自己啓発を通して、学校の危機管理、学校マネジメントや経営哲学等を学び、実践することができる。	・教育に対する地域、保護者等都民の期待や保護者のニーズを把握し、高い見識や教育理念に基づいた学校経営を行い、期待に応えることができる。
教育課題に関する対応力	・教育課題についての高い見識をもち、自校の教育目標の実現に向けて適切に対応することができる。解決に向けた目標設定を行い、的確に役割指示と組織編制を行い、見通しをもって進行管理及び評価・改善することができる。	

（表１）　東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標（栄養教諭）

栄養教諭

成長段階	栄養教諭	主任栄養教諭	主幹教諭（栄養）
	基礎形成期・伸長期	充実期	
	１年目～	３年目～	５年目～
求められる能力や役割	○教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。 ○同僚や若手教員、地区内の食育リーダー等への指導的役割を担う。 ○学校栄養職員としての知識や経験に基づく実践力を高めつつ、主任教諭等を補佐し、分掌組織の一員として貢献する。	○校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割を担当する。 ○同僚や若手教員、地区内の栄養教諭及び食育リーダー等への指導的役割を担い、課題に対する解決策等を提案することができる。	○学校運営組織における中心的な役割を担う。 ○管理職を補佐し、教員を育成する。
教員が身に付けるべき力 **学習指導力・学校給食の管理に関する力**	・地区における食育推進に取り組み、同僚、食育リーダー、関係機関等と円滑な連携を図ることができる。 ・学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童・生徒理解に基づき、学級担任等と連携を図りながら、食に関する指導を進めるとともに、地区内の食育リーダー等からの相談に的確に応じることができる。 ・学校給食の意義及び背景を理解し、専門的な知識・技能を活用しながら、学校給食の管理を行うことができる。	・専門的な知識・技能を活用し、地区における食育推進の意義及び背景を理解した上で、地区内の状況を把握及び管理することができる。 ・地区内の栄養教諭への助言や支援及び食育リーダー等への支援を行うとともに、課題に対する解決策を提案することができる。 ・若手教員の指導上の課題を捉え、助言・提案等をすることができる。	・年間授業計画の実施状況を把握し、学年主任や教科主任に指導・助言できる。 ・学校全体の年間授業計画や授業改善推進プラン、個別指導計画、評価計画等を作成することができる。
生活指導力・進路指導力	・食に関する健康課題について専門知識を有し、個々の状況に応じて、教職員へ周知を図るとともに、的確な対応ができる。 ・食に関して特別の配慮を必要とする児童・生徒に対し、校内支援体制の充実及び関係機関との連携を図りながら、個別的な指導を行うことができる。 ・生活指導上の問題について、学級担任や養護教諭等と連携して対応できる。	・若手教員が抱える課題に気付き、解決に向け指導・助言することができる。 ・児童・生徒に自己有用感をもたせることができる。 ・自校の課題について、解決策を提案することができる。	・児童・生徒の観察や他の教員からの情報収集に基づき、自校の生活指導・進路指導の課題を捉え、管理職と連携して、改善策を提案し、実行することができる。 ・指導方針や指導方法の徹底に向け主任教諭等への指示や連絡・調整を行うことができる。 ・児童・生徒の個性や能力を把握し、自己実現に向けた生活指導・進路指導の計画・実施を行うことができる。
外部との連携・折衝力	・課題に応じて保護者や地域、関係機関と協働し、他の教員と連携しながら、課題を解決することができる。 ・学校からの情報発信や広報、外部からの情報収集を適切に行うことができる。	・関係機関等に対し学校の考えを明確に示すとともに、情報収集を適切に行うなどして、円滑な関係を築くことができる。 ・保護者・地域・関係機関と協働し、教育活動をより高いものにできる。	・保護者・地域・関係機関からの苦情や要請に対して、円滑かつ迅速な対応を図ることができる。 ・外部への情報発信や広報について、管理職と連携して、ねらいに基づいた計画を立て、実施することができる。
学校運営力・組織貢献力	・食に関する指導の全体計画の策定など、担当する校務分掌についての企画・立案や改善策を提案できる。 ・上司や同僚とコミュニケーションを図りながら、円滑に校務を遂行できる。	・主幹教諭を補佐し、職務を遂行するとともに、担当する校務分掌の職務について、教諭等に指導・助言ができる。 ・学校の課題を捉え、校長・副校長や主幹教諭に対応策等について提案できる。	・各会議や校務を遂行する場において、校長の経営方針を周知徹底し、学校運営を行うことができる。 ・校務分掌全体の進行管理や分掌間の調整をするとともに、管理職と十分協議して学校運営をすることができる。
教育課題に関する対応力	・教育課題についての理解を深め、主任教諭等を補佐し、分掌組織の一員として、課題解決のために貢献できる。	・教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、主幹教諭を補佐するとともに、同僚や若手教員に対して適切な助言ができる。	・教育課題について高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的な役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して適切に指導・助言できる。

教育管理職候補者

○副校長として必要な学校運営ができる力を身に付ける。
○自校の課題について、管理職の視点から解決策を立案できる。

学校マネジメント能力

学校経営力	・学校経営方針に基づき、担当した分掌における課題について解決策を提案し、教職員を支援・指導して課題を解決できる。
外部折衝力	・学校に対する保護者等からの要望や苦情に副校長と共に対応し、解決することができる。
人材育成力	・学校の課題解決に向けて、研修等について管理職に提案し、教職員を指導・育成することができる。
教育者としての高い見識	・東京都教育委員会及び所属する区市町村教育委員会の教育目標や教育施策について学び、日頃の教育実践に生かしている。
教育課題に関する対応力	・教育課題についての正しい認識に基づき、自校の問題点に気付き、管理職に解決策を提案し、課題解決に向けた進行管理を行うことができる。

教育管理職

求められる能力や役割	副校長	校長
	○学校経営の視点で、組織目標の達成や人的管理ができる力を身に付けるとともに、所属職員の人材育成について責任をもつ。	○教育者として高い見識をもち、広い視野で学校経営ができる力を身に付けるとともに、副校長等の人材育成について責任をもつ。
学校マネジメント能力 **学校経営力**	・校長の経営方針を踏まえ、学校が組織として機能するよう、全教職員を適材適所に配置して、課題を解決できる。	・学校経営目標達成のため、学校経営上の課題を早期に把握し、課題解決のため、組織的に学校改革を推進することができる。
外部折衝力	・保護者や地域、関係機関の意見や要望を的確に把握し、外部人材活用や関係諸機関との連携を積極的に進めて、校長の助言を受け、適切に対応できる。	・保護者や地域、関係機関等との信頼関係を築き、適切に外部人材を活用した学校経営ができる。
人材育成力	・校長と共に授業観察等を積極的に行い、全教職員の適性や能力を把握し、個々の職員に合った人材発掘と人材育成ができる。	・人事考課制度を有効に活用し、教員の能力開発を行うとともに、副校長や管理職候補者等の人材発掘と人材育成ができる。
教育者としての高い見識	・研修や自己啓発を通して、学校の危機管理、学校マネジメントや経営哲学等を学び、実践することができる。	・教育に対する地域、保護者等都民の期待や保護者のニーズを把握し、高い見識や教育理念に基づいた学校経営を行い、期待に応えることができる。
教育課題に関する対応力	・教育課題についての高い見識をもち、自校の教育目標の実現に向けて適切に対応することができる。解決に向けた目標設定を行い、的確に役割指示と組織編制を行い、見通しをもって進行管理及び評価・改善することができる。	

※東京都においては、学校栄養職員として所定の期間を経たものが、栄養教諭の切替選考を受験できる。

指標の「教育課題に関する対応力」について、東京都教育施策大綱、東京都教育ビジョン等において示されている内容に基づき、これからの東京都の学校教育を推進していく教員に求められる具体的な項目を示しました（表２）。

なお、それぞれの教育課題の解決に実際に取り組んでいく教員と、教員に対して指導・助言し組織的な体制づくりを推進する教育管理職とに分けて示しています。

（表２）教育課題に関する対応力の具体的な項目

教育課題	教　　員	教育管理職
グローバル人材の育成	・児童・生徒に対して、日本人としての自覚と誇りを涵養し、豊かな国際感覚を醸成することができる。 ・児童・生徒に対して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成できる。 ・児童・生徒に対して、相手の意図や考えを的確に理解した上で、論理的に説明したり、反論・説得したりする能力を育成できる。	・グローバル化についての高い見識をもち、自校の教育活動において、豊かな国際感覚を醸成する指導ができているかを把握し、教職員に対して適切な指導・助言を行うことができる。
人権教育の推進	・児童・生徒一人一人の人権に配慮して指導することができる。 ・児童・生徒が人権課題について正しい理解と認識を深め、偏見や差別意識を解消しようとする態度と実践力を育む指導ができる。	・人権尊重についての高い見識をもち、自校の教育活動において、様々な偏見や差別等をなくす指導ができているかを把握し、教職員に対して適切な指導・助言を行うことができる。
道徳教育の推進	・児童・生徒に、他者への思いやりや、かけがえのない生命を大切にする気持ちを育むことができる。 ・よりよく生きるための基盤となる道徳性を、児童・生徒自らが考え、議論し、行動しながら身に付けられる指導ができる。 ・学校、家庭、地域が連携し、子供たちの豊かな心の育成を図ることができる。	・児童・生徒がよりよく生きるための基盤となる道徳性を身に付けることができるよう、教育活動全体及び保護者や地域、関係機関等と連携して子供たちの豊かな心の育成を図ることができる。
不登校に関する事項	・児童・生徒にとって魅力ある学級をつくり、豊かな人間関係を育むことができる。 ・不登校の予兆についての気付き、積極的な声掛けや関わりなど、未然防止とともに初期段階での改善・解消に取り組むことができる。 ・不登校になったきっかけや継続理由を把握し、その児童・生徒に必要な支援を保護者や関係機関と連携を図りながら行うことができる。	・不登校及び不登校傾向の児童・生徒とその保護者に対する必要な支援や関係機関等との連携等について、高い見識をもち、教職員に対して適切な指導・助言を行うことができる。
障害のある子供たちの多様なニーズへの対応	・障害のある児童・生徒一人一人の能力を最大限に伸長するために、児童・生徒の実態を的確に把握して適切な指導・支援ができる。 ・本人・保護者と合意形成を図り、障害のある児童・生徒一人一人に対して合理的配慮ができる。	・特別支援教育についての高い見識をもち、自校の教育活動において、必要な合理的配慮等が組織的に行われるよう、教職員に対して適切な指導・助言を行うことができる。
いじめに関する事項	・いじめや自殺等の防止に向けて、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等の具体的な取組を組織的に推進することができる。 ・児童・生徒の主体的な行動を促す指導を、保護者や地域・関係機関等と連携しながら組織的に行うことができる。	・いじめ等を早期に把握し、保護者や地域・関係機関等とも連携しながら解決に向けて組織的に対応する教員集団を育成することができる。
情報教育の推進	・児童・生徒に、情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度を育成することができる。 ・授業において、ＩＣＴを効果的に活用することにより、児童・生徒の学力の向上を図ることができる。 ・ＩＣＴを活用して校務の効率化を図ることができる。	・情報教育についての高い見識をもち、自校の教育活動において、ICT を効果的に活用した指導ができているかを把握し、教職員に対して適切な指導・助言を行うことができる。
オリンピック・パラリンピック教育の推進	・オリンピック・パラリンピック教育の目的や内容を正しく理解し、組織的・計画的に推進することにより、児童・生徒に対して重点的に育成すべき５つの資質を身に付けられるようにすることができる。 ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を通じ、児童・生徒一人一人の心と体に人生の糧となるレガシーを形成するための指導ができる。	・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を通じ、児童・生徒一人一人の心と体に人生の糧となるレガシーを形成させるためにはどのような教育活動ができるかを構想し、自校の教育活動において組織的に推進することができる。
学校安全に関する事項	・学校の安全管理について、教職員間の情報共有を確実に図りながら自身の意識を高めるとともに、事件・事故に対して、迅速かつ的確に判断し、対応することができる。 ・児童・生徒一人一人の健康状況等を確実に把握し、食物アレルギー等に対する知識・理解を深め、適切に対応することができる。 ・児童・生徒に対して、防災に関する知識、思考力、判断力や行動力、危険を予測し回避する能力と他者や社会の安全に貢献できる資質や能力を身に付けられるようにすることができる。	・施設等の安全管理、事件・事故への対応、食物アレルギー等の学校の安全管理に関する高い見識をもち、安全管理に対して組織的に対応する教員集団を育成するとともに、適切な判断・指示を行うことができる。

２　教員の人材育成について

（１）教員の人材育成の全体像

教員の人材育成では、「ＯＪＴ」、「Ｏff－ＪＴ」、「自己啓発」の三つの手段があいまってはじめて効果的な育成が可能となります。校長・副校長や主幹教諭等同じ学校に勤務する教員等からの指導はもちろん、教員個人の自己啓発、教員同士の相互啓発が醸成され、互いに高め合う環境をつくることが大切です。教員の「自ら育つ」意識を引き出し、成長させていけるよう、経験や職層に応じて身に付けるべき力を提示し、将来の展望を明らかにします。

人材育成を図るためには、研修や学校での実務を通した学びや教員自らによる学びとの相互の関連が重要です。また、教員は、Ｏff－ＪＴで学ぶ機会を一つの契機として受け止め、ＯＪＴの活性化につなげること、そして、Ｏff－ＪＴやＯＪＴで学んだことを生かし、自ら学び、自己を高めることができるよう、自己啓発に励むことが重要です。

本教員研修計画では、教員自らが、職層に応じて求められる力を自覚し、「ＯＪＴ」、「Ｏff－ＪＴ」、「自己啓発」を計画的に実施していくことで、指標に挙げられている目標を達成することができるように示しています（図２）。

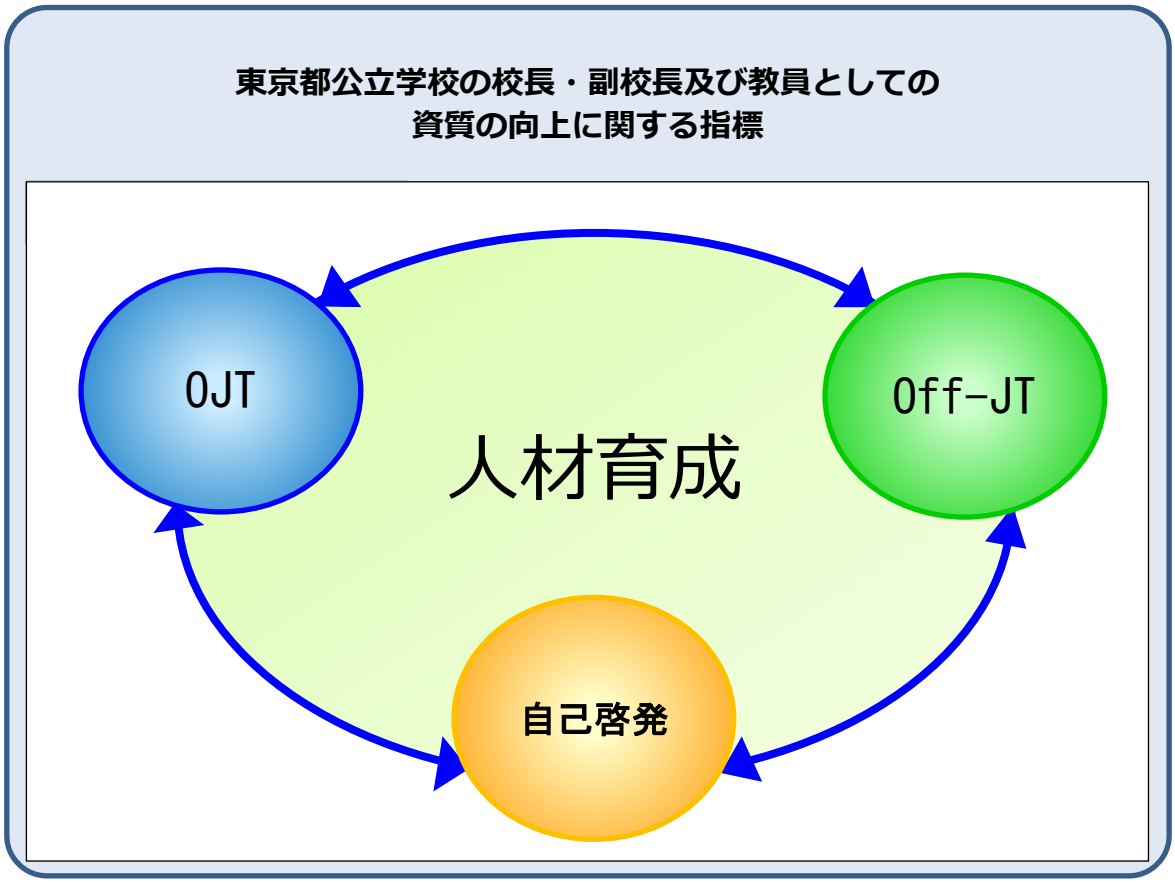


図２

（２）「ＯＪＴ」について

「ＯＪＴ」とは、「On the Job Training」 の略で、「日常的な職務を通して、必要な知識や技能、意欲、態度などを、意識的、計画的、継続的に高めていく取組」のことです。

期待される効果としては、いつでも、必要なときに、具体的な指導ができること、個々の具体的な業務に即した指導ができること、受ける側の主体性や積極性を尊重し、それらを伸ばすことができること、日常の業務実践を通じて人を育てるため、今日的課題に対応した人材育成が可能になります。

本教員研修計画では、職層別に、求められる資質・能力を身に付けるための主に校内での具体的な場面や行動例を示しています。

（３）「Ｏｆｆ－ＪＴ」について

「Ｏｆｆ－ＪＴ」とは、職場以外の研修機関等で学ぶ研修のことです。「Ｏｆｆ－ＪＴ」の項目例としては、東京都教職員研修センター等における職層研修などの通所研修、教育研究員、教職大学院への派遣、区市町村教育委員会主催の研修などが挙げられます。

期待される効果としては、幅広い視野を涵養できること、最新・高度な知識や情報を集中的・効率的に収集できること、異なる職層や校種の人々と交流ができることなどが挙げられます。

本教員研修計画では、職層別に、求められる資質・能力を身に付けるための具体的場面や研修例を示しています。

なお、東京都教職員研修センターが行う研修については、ホームページに研修案内が掲載されています。

（４）「自己啓発」について

「自己啓発（Self-Development)」は、教員としての資質・能力を向上させるために、課題意識をもって様々な研さんと修養に自ら励むことです。

「自己啓発」の項目例としては、興味・関心をもつ領域への自己研さんなどが挙げられます。

期待される効果としては、自らが興味・関心をもつ領域について、書物を読んだり、セミナーに参加したりすることを通して、知識や経験を増やし自己研さんすることで、そこで得られた知識・技能等を児童・生徒の教育やＯＪＴを通じて還元できることが挙げられます。

本教員研修計画では、教員としての資質・能力の向上を図る自己啓発例を示しています。

３　教員研修計画の活用について

（１）教員の学びを子供の指導につなげる

学習指導要領（平成 29、30、31 年告示）では、各教科等で育成を目指す資質・能力を、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理し、「主体的・対話的で深い学び」の視点から指導の在り方を見つめ直して授業改善を行い、より質の高い学びを実現させていくことが求められています。

さらに、GIGA スクール構想の加速により、各学校における一人一台端末環境が整備される中、ICT の活用によって「一人一人の力を最大限に伸ばす学びの充実」も求められています。

ア　自分自身を高めるために

教員は常に、自己を向上させ成長し続けていくことが求められます。自分は今どのような力を身に付けているのか、これからどのような能力を身に付けていくことが必要なのか、それらをしっかり見つめ、自己を磨き、高めていくことが期待されます。

以下に、教員研修計画の教員個人の活用例を示します（図３）。

職層に応じて……

例１　私は教職６年目の教諭です。主任教諭になることを視野に入れ、学級や学年だけでなく、学校全体の生活指導の在り方について提案できるよう、生活指導に関する知識や指導力を向上させていこうと考えています。

◆「教員研修計画」で現在の自分が身に付けるべき力を確かめる。
◆教員としての自らの「次のステージ」を意識して、今から身に付けていくべき力を意識する。

課題や目標に合わせて……

例２　私は教職 10 年目の主任教諭です。教科指導についての専門性を向上させるために、都の研究指定校の発表会に積極的に参加しています。

さらに今年度からは、管理職と相談し、教科の研究団体の研究会に、毎月１回参加することにしました。

◆「教員及び教育管理職としての専門性向上に関するもの」を参照し、自らの課題解決に資する資料や情報を得る。
◆教科等の研究団体の活動に参加したり、発表会等を聞きに行ったりして、先進的な取組に触れる。

図３

イ　組織の力を高めるために

学校全体で教育活動に取り組む組織としての力を向上させるには、各教員の職層や能力、学校としての課題、保護者や地域の願いなどに応じて、計画的にＯＪＴやＯff-ＪＴを推進していくことが大切です。管理職を中心に、校内研修や研究活動に積極的に取り組むことが求められます。

以下に、教員研修計画の組織としての活用例を示します（図４）。

学校の課題や教員の職層等に応じて……

例３　私が校長を務める学校は、「子供たちの豊かな心を育む」ことを、教育目標の重点項目にしています。

今年度は、教員一人一人の道徳の授業力向上を校内研修のテーマに設定しています。また、来年度は全校体制で研究活動に取り組みたいと考えています。

◆主幹教諭や研究主任等を東京都教育委員会研究推進団体等の研究発表会等に参加させ、校内で共有する。
◆教育委員会と相談し、研究指定校や拠点校等に応募して、全校体制での研究活動を推進する。

図４

令和３年度　東京都教職員研修センターにおける教員研修体系図

職層	各職に応じて求められる能力や役割
校長・副校長等	〔統括校長・校長〕 教育者としての高い見識をもち、広い視野で学校経営ができる力を身に付けるとともに、副校長や管理職候補者の人材育成についての責任をもつ。 〔副校長〕 学校経営の視点で、組織目標の達成や人的管理ができる力を身に付けるとともに、所属職員の人材育成についての責任をもつ。校長になるために必要な学校経営ができる力を身に付ける。
主幹教諭・指導教諭	〔主幹教諭（管理職候補を含む）〕 管理職を補佐しながら、教員を指導・育成するとともに、教務、生活指導、進路指導等の長として学校運営における中心的な役割を担う。 副校長に向けて必要な学校運営ができる力を身に付ける。 〔指導教諭〕 高い専門性と優れた指導力を身に付け、都公立学校の教員全体の「授業力」の向上を図る。将来的には経営参画意識も高める。
主任教諭（９年目～）	〔主任教諭〕（充実期） 校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割を担当する。指導監督層である主幹教諭を補佐する。 教育指導の専門性を高め、同僚や若手教員への助言・支援などの指導的役割を担う。主幹教諭に向けて必要な力を身に付ける。
教諭（４年目～）	〔教諭（伸長期）〕 知識や経験に基づく実践力を高め、初任者等に先輩として助言する。主任教諭の補佐を行い、分掌組織の一員として、積極的に貢献できる力を身に付ける。主任教諭になるために必要な力を身に付ける。
教諭（１～３年目）	〔教諭（基礎形成期）〕 学習指導、生活指導や学級経営における教員としての基礎的な力を身に付ける。また、教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。

Off-JT（通所研修）

職層や経験に応じた研修

職層研修

- ■教育管理職研修
- ■教育管理職候補者研修
- ■公立学校主幹教諭スキルアップ研修
- ■都立学校主幹教諭任用時研修
- ■公立学校指導教諭任用時研修
- ■教育管理職候補者B養成講座
- ■教育行政研修
- ■都立学校主任研修（教務・生活・進路）
- ■都立学校主任教諭任用時研修
- ■公立学校主任教諭任用前研修

年次研修

- ●東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅱ
- ●東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

東京都若手教員研修
- ●３年次研修
- ●２年次研修
- ●１年次（初任者）研修

新規採用者研修

教員の専門性を高める研修

リーダー養成研修

- ◆派遣研修（教職員支援機構・特別支援教育総合研究所等が主催する研修への推薦）
- ◆教職大学院派遣研修
- ◆大学院派遣研修
- ◆東京都教員研究生
- ◆東京教師道場（リーダー）
- ◆東京教師道場（部員）

教科等・教育課題研修

専門性向上研修Ⅲ
習得した知識・技能、内容を発展させ、実践的な指導力や課題解決力を一層高め、他の教員に普及、還元する力を身に付ける。（模範授業の実施、指導事例集の作成等）

専門性向上研修Ⅱ
教科等や今日的な教育課題について専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める。（指導計画・評価計画、授業改善、教材開発　等）

専門性向上研修Ⅰ
学習指導、生活指導、学級経営等に関する基礎的・基本的な力を身に付ける。（学習指導案の作成、指導技術等）

OJT の推進　自己啓発支援

- 都教委訪問等・島しょ地域研修支援事業
- 教員研修のための講師認定事業
- 研究推進団体支援事業
- 教育課題研究
- 教育資料閲覧室・教科書センター・人権教育資料センター
- 教職員専用Ｗｅｂページ（マイ・キャリア・ノート）

採用前

東京都教職課程カリキュラム

東京教師養成塾

「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標」に応じた東京都教職員研修センターの令和３年度研修一覧

教諭

成長段階	教諭・養護教諭		主任教諭・主任養護教諭	指導教諭	主幹教諭 主幹教諭(養護) ＊主幹教諭(栄養)	教育管理職候補者
	基礎形成期	伸長期	充実期			
	１～３年目	４年目～	９年目～	11 年目～(＊5 年目～)		
求められる能力や役割	○教員（養護教諭）としての基礎的な力を身に付ける。 ○教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。	○知識や経験に基づく実践力を高め、初任者等に助言する。 ○主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として貢献する。	○校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割を担当する。 ○同僚や若手教員への指導的役割を担う。	○高い専門性と優れた指導力を身に付け、都公立学校教員全体の授業力の向上を図る。	○学校運営組織における中心的な役割を担う。 ○管理職を補佐し、教員を育成する。	○副校長として必要な学校運営ができる力を身に付ける。 ○自校の課題について、管理職の視点から解決策を立案できる。
	栄養教諭（１年目～） ○教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。 ○同僚や若手教員、地区内の食育リーダー等への指導的役割を担う。 ○学校栄養職員としての知識や経験に基づく実践力を高めつつ、主任教諭等を補佐し、分掌組織の一員として貢献する。		**主任栄養教諭（３年目～）** ○校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割を担当する。 ○同僚や若手教員、地区内の栄養教諭及び食育リーダー等への指導的役割を担い、課題に対する解決策等を提案することができる。			

教育管理職

求められる能力や役割	副校長（統括指導主事等を含む）	校長
	○学校経営の視点で、組織目標の達成や人的管理ができる力を身に付けるとともに、所属職員の人材育成について責任をもつ。	○教育者として高い見識をもち、広い視野で学校経営ができる力を身に付けるとともに、副校長等の人材育成について責任をもつ。

東京都教職員研修センターにおける研修

教員が身に付けるべき力

	教諭・養護教諭 基礎形成期（１～３年目）	教諭・養護教諭 伸長期（４年目～）	主任教諭・主任養護教諭 充実期（９年目～）	指導教諭（11 年目～(＊5 年目～)）	主幹教諭 主幹教諭(養護) ＊主幹教諭(栄養)	教育管理職候補者
学習指導力・(養護教諭：保健管理に関する力)、(栄養教諭：学校給食の管理に関する力)	・都立学校若手教員育成研修 ・新規採用者(養護教諭・栄養教諭・幼稚園教諭)研修 ・新規採用者(実習助手・寄宿舎指導員)研修 ・専門性向上研修Ⅰ(教科等)※ ・専門性向上研修(学級経営) ・英語力向上研修(ONEDAY・基礎) ・英語力 UP 研修	・専門性向上研修Ⅰ(教科等)※ ・専門性向上研修(学級経営) ・英語力向上研修(ONEDAY・基礎) ・英語力 UP 研修 ・東京教師道場（部員） ・主任教諭任用前研修	・都立学校主任教諭任用時研修 ・専門性向上研修Ⅱ(教科等)※ ・英語力向上研修(ONEDAY・応用) ・英語力 UP 研修 ・東京教師道場（部員・リーダー） ・都立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・大学院派遣研修 ・東京都教員研究生	・専門性向上研修Ⅲ(教科等)※ ・都立学校主幹教諭任用時研修 ・主幹教諭スキルアップ研修 ・指導教諭任用時研修 ・東京教師道場（リーダー） ・都立学校教務主任研修 ・教育行政研修 ・教育管理職候補者 B 養成講座 ・大学院派遣研修 ・東京都教員研究生	**学校経営力** ・指導主事任用時研修 ・教育管理職候補者研修(A1 年次～4 年次、B 研修Ⅰ・Ⅱ、C 研修) ・教職大学院派遣研修	**学校経営力** ・都立学校副校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・統括指導主事研修 ・校長職候補者研修	・都立学校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・人事考課評価者訓練講師養成研修
生活指導力・進路指導力	・都立学校若手教員育成研修 ・新規採用者(養護教諭・栄養教諭・幼稚園教諭)研修 ・新規採用者(実習助手・寄宿舎指導員)研修	・専門性向上研修(生活指導・進路指導) ・主任教諭任用前研修	・都立学校主任教諭任用時研修 ・都立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・大学院派遣研修 ・東京都教員研究生	・都立学校主幹教諭任用時研修 ・主幹教諭スキルアップ研修 ・指導教諭任用時研修 ・都立学校(生活指導・進路指導)主任研修 ・教育行政研修 ・教育管理職候補者 B 養成講座 ・大学院派遣研修 ・東京都教員研究生	**外部折衝力** ・指導主事任用時研修 ・教育管理職候補者研修(A1 年次～4 年次、B 研修Ⅰ・Ⅱ、C 研修) ・教職大学院派遣研修	**外部折衝力** ・都立学校副校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・統括指導主事研修 ・校長職候補者研修	・都立学校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・人事考課評価者訓練講師養成研修
外部との連携・折衝力	・都立学校若手教員育成研修 ・新規採用者(養護教諭・栄養教諭・幼稚園教諭)研修 ・新規採用者(実習助手・寄宿舎指導員)研修 ・専門性向上研修(学校教育相談)、(外部との連携)	・専門性向上研修(学校教育相談)、(外部との連携) ・主任教諭任用前研修	・都立学校主任教諭任用時研修 ・都立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・大学院派遣研修 ・東京都教員研究生	・都立学校主幹教諭任用時研修 ・主幹教諭スキルアップ研修 ・指導教諭任用時研修 ・都立学校(教務・生活指導、進路指導)主任研修 ・教育行政研修 ・教育管理職候補者 B 養成講座 ・大学院派遣研修 ・東京都教員研究生	**人材育成力** ・指導主事任用時研修 ・教育管理職候補者研修(A1 年次～4 年次、B 研修Ⅰ・Ⅱ、C 研修) ・教職大学院派遣研修	**人材育成力** ・都立学校副校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・統括指導主事研修 ・校長職候補者研修	・都立学校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・人事考課評価者訓練講師養成研修
学校運営力・組織貢献力	・都立学校若手教員育成研修 ・新規採用者(養護教諭・栄養教諭・幼稚園教諭)研修 ・新規採用者(実習助手・寄宿舎指導員)研修 ・専門性向上研修(組織貢献)	・専門性向上研修(組織貢献) ・主任教諭任用前研修	・都立学校主任教諭任用時研修 ・都立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・大学院派遣研修 ・東京都教員研究生	・都立学校主幹教諭任用時研修 ・主幹教諭スキルアップ研修 ・指導教諭任用時研修 ・都立学校(教務・生活指導、進路指導)主任研修 ・教育行政研修 ・教育管理職候補者 B 養成講座 ・大学院派遣研修 ・東京都教員研究生	**教育者としての高い見識** ・指導主事任用時研修 ・教育管理職候補者研修(A1 年次～4 年次、B 研修Ⅰ・Ⅱ、C 研修) ・教職大学院派遣研修	**教育者としての高い見識** ・都立学校副校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・統括指導主事研修 ・校長職候補者研修	・都立学校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・人事考課評価者訓練講師養成研修

学校マネジメント能力

	教諭・養護教諭 基礎形成期（１～３年目）	教諭・養護教諭 伸長期（４年目～）	主任教諭・主任養護教諭 充実期（９年目～）	指導教諭（11 年目～(＊5 年目～)）	主幹教諭 主幹教諭(養護) ＊主幹教諭(栄養)	教育管理職候補者
教育課題に関する対応力	・若手教員育成研修 ・新規採用者(養護教諭・栄養教諭・幼稚園教諭)研修 ・新規採用者(実習助手・寄宿舎指導員)研修 ・専門性向上研(教育課題) ※	・専門性向上研(教育課題) ※ ・主任教諭任用前研修	・専門性向上研(教育課題) ※ ・主任教諭任用前研修 ・都立学校主任教諭任用時研修 ・都立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ	・専門性向上研(教育課題) ※ ・都立学校主幹教諭任用時研修 ・主幹教諭スキルアップ研修 ・指導教諭任用時研修 ・都立学校(教務・生活指導、進路指導)主任研修 ・教育行政研修 ・教育管理職候補者 B 養成講座 ・大学院派遣研修 ・東京都教員研究生	**教育課題に関する対応力** ・指導主事任用時研修 ・教育管理職候補者研修(A1 年次～4 年次、B 研修Ⅰ・Ⅱ、C 研修) ・教職大学院派遣研修	**教育課題に関する対応力** ・都立学校副校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・統括指導主事研修 ・校長職候補者研修	・都立学校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・人事考課評価者訓練講師養成研修

※ 別紙 「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標」に応じた東京都教職員研修センターの令和３年度専門性向上研修一覧

★この一覧に掲載されている研修を受講し、修了した場合、研修履歴に登載をします。（一部を除く。）

別紙

「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標」に応じた東京都教職員研修センターの令和３年度専門性向上研修一覧

教諭

成長段階	教諭・養護教諭・栄養教諭		主任教諭・主任養護教諭・主任栄養教諭	指導教諭	主幹教諭 主幹教諭(養護) ＊主幹教諭(栄養)
	基礎形成期	伸長期	充実期		
	１～３年目	４年目～	９年目～	11 年目～(＊5 年目～)	
求められる能力や役割	○教員としての基礎的な力を身に付ける。 ○教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。	○知識や経験に基づく実践力を高め、初任者等に助言する。 ○主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として貢献する。	○校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割を担当する。 ○同僚や若手教員への指導的役割を担う。	○高い専門性と優れた指導力を身に付け、都公立学校教員全体の授業力の向上を図る。	○学校運営組織における中心的な役割を担う。 ○管理職を補佐し、教員を育成する。
	＊栄養教諭（１年目～） ○教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。 ○同僚や若手教員、地区内の食育リーダー等への指導的役割を担う。 ○学校栄養職員としての知識や経験に基づく実践力を高めつつ、主任教諭等を補佐し、分掌組織の一員として貢献する。		**＊主任栄養教諭（3 年目～）** ○校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割を担当する。 ○同僚や若手教員、地区内の栄養教諭及び食育リーダー等への指導的役割を担い、課題に対する解決策等を提案することができる。		

東京都教職員研修センターにおける研修

教員が身に付けるべき力

	教諭・養護教諭・栄養教諭		主任教諭・主任養護教諭・主任栄養教諭	指導教諭	主幹教諭 主幹教諭(養護) ＊主幹教諭(栄養)
学習指導力	国語Ⅰ　社会Ⅰ　社会・公民Ⅰ　算数Ⅰ 数学Ⅰ　理科Ⅰ　総合的な学習の時間Ⅰ 音楽Ⅰ　図画工作・美術Ⅰ　体育Ⅰ 家庭Ⅰ　技術Ⅰ　外活Ⅰ　英語Ⅰ（小基礎） 英語Ⅰ（中基礎）　英語Ⅰ（高基礎） 英語還元　英語力向上研修　道徳Ⅰ 特別活動Ⅰ　農業Ⅰ　工業Ⅰ　商業Ⅰ 情報Ⅰ　学級経営（学習指導）	国語Ⅰ　社会Ⅰ　社会・公民Ⅰ　算数Ⅰ 数学Ⅰ　理科Ⅰ　総合的な学習の時間Ⅰ 音楽Ⅰ　図画工作・美術Ⅰ　体育Ⅰ 家庭Ⅰ　技術Ⅰ　外活Ⅰ　英語Ⅰ（小基礎） 英語Ⅰ（中基礎）　英語Ⅰ（高基礎） 英語還元　英語力向上研修　道徳Ⅰ 特別活動Ⅰ　農業Ⅰ　工業Ⅰ　商業Ⅰ 情報Ⅰ　学級経営（学習指導） 国語Ⅱ　社会Ⅱ　社会・地理歴史Ⅱ　算数Ⅱ 数学Ⅱ　理科Ⅱ　音楽Ⅱ　図画工作・美術Ⅱ 体育・保健体育Ⅱ　英語ⅡBasic 英語Ⅱ（系統）　英語Ⅱ（接続） 英語Ⅱ（４技能）　英語還元 英語力向上研修　道徳Ⅱ　工業Ⅱ	国語Ⅱ　社会Ⅱ　社会・地理歴史Ⅱ　算数Ⅱ 数学Ⅱ　理科Ⅱ　音楽Ⅱ　図画工作・美術Ⅱ 体育・保健体育Ⅱ　英語ⅡBasic 英語Ⅱ（系統）　英語Ⅱ（接続） 英語Ⅱ（４技能）　英語還元 英語力向上研修　道徳Ⅱ　工業Ⅱ	国語Ⅲ　社会・地理歴史・公民Ⅲ　数学Ⅲ 理科Ⅲ　音楽Ⅲ　英語ⅢAdvanced 英語Ⅲ（中・特）　英語Ⅲ（高・特）英語還元 英語力向上研修	
生活指導力・進路指導力	生活指導 学級経営（生活指導・進路指導）				
外部との連携・折衝力	学校教育相談 学級経営（外部との連携・折衝）	学校教育相談	学校教育相談		
学校運営力・組織貢献力	学級経営（組織貢献）				
教育課題に関する対応力	国際理解教育　日本の伝統・文化教育　ICT 活用・プログラミング教育　キャリア教育　人権教育　防災教育　生き物飼育　健康教育・保健室経営　健康教育　国際バカロレア 読書活動　島しょ・へき地等教育　日本語指導　特別支援教育　現代教育課題　オリンピック・パラリンピック教育　幼稚園教育理解推進　新聞を活用した活動　情報モラル教育				

★この一覧に掲載されている研修を受講し、修了した場合、研修履歴に登載をします。

職　層　研　修

1　受講対象者

職層研修の受講対象者は、研修ごとに指定されています。

2　受講の確認または申込みについて

受講の確認または申込みについては、研修ごとに異なります。各研修ページや開催通知を確認してください。

3　開催通知

教育経営課から、研修生の所属長宛てに文書等により通知します。

※　副校長ベーシックプログラムの開催通知及び申請方法の詳細については、教育庁福利厚生部福利厚生課から別途通知します。

4　研修報告書の提出について

研修報告書を提出する指示がある研修については、指定日に研修報告書を提出してください。各研修報告書の様式は、開催通知等で確認してください。

5　研修の修了判定について（修了判定を行う研修のみ）

教育経営課から、研修生の所属長宛て又は区市町村教育委員会等宛てに文書等により通知します。

6　研修受講に当たっての留意事項

事前課題等を提出する指示がある研修については、事前に研修案内等を確認して作成し、指定日に提出してください。

各研修の実施要綱に基づき、一定時間以上の遅刻・早退は、欠席扱いとします。

7　問合せ先

職層研修に関する問合せは、所属の管理職を通じて以下の各担当までお願いします。

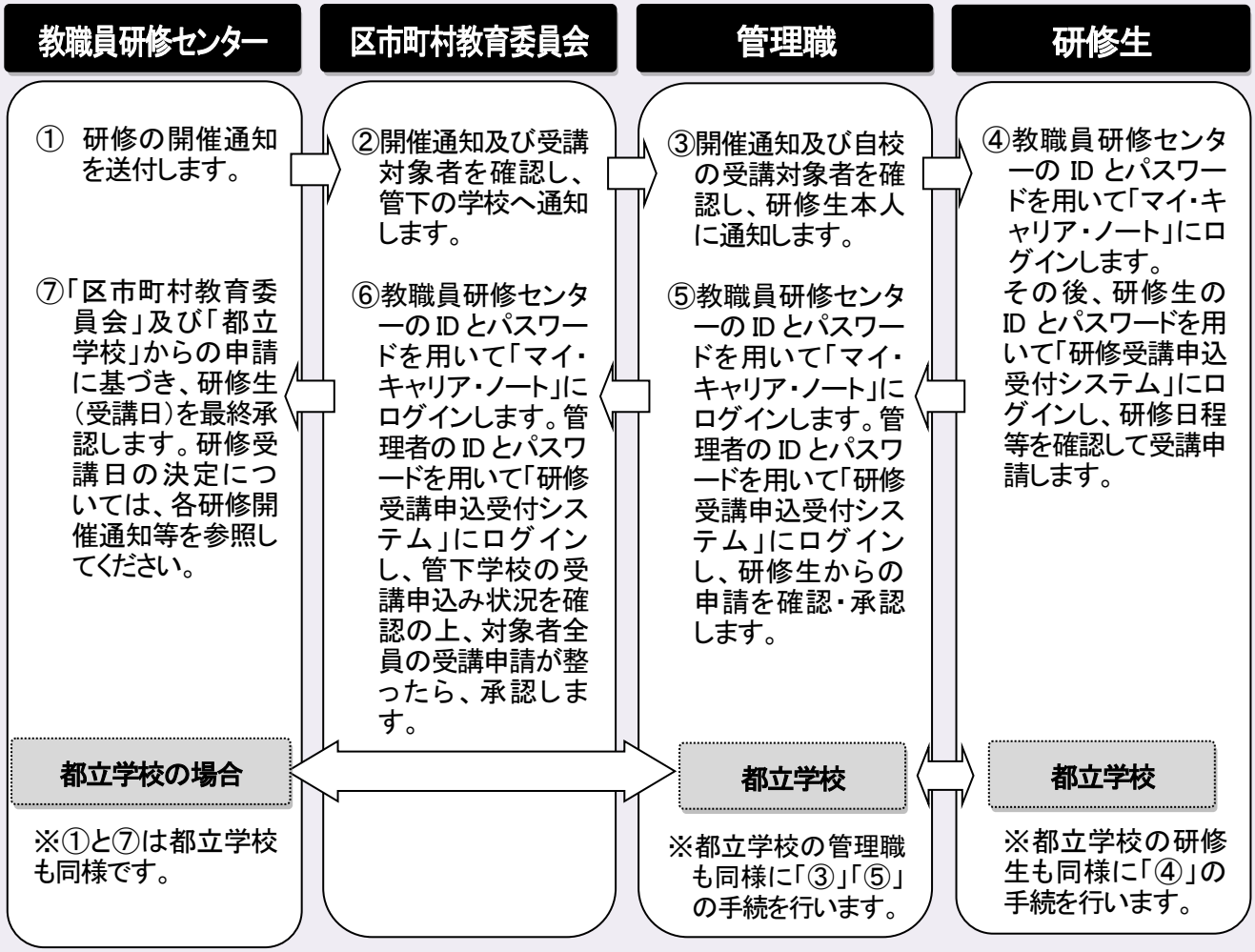
研修	問合せ先	電話
教育管理職研修（校長、副校長、統括指導主事等）	教育経営課	03-5802-0291
教育管理職候補者研修 （指導主事任用時、A、B、C）		03-5802-0283
主幹教諭研修（任用時・スキルアップ）		03-5802-0294
指導教諭研修		
主任教諭研修（任用時・任用前　いずれも主任養護教諭、主任栄養教諭を含む）		03-5802-0291
都立学校主任研修（教務、生活、進路）		
教育管理職候補者育成研修（教育行政研修）		03-5802-0283
〃　（教育管理職候補者Ｂ養成講座）		
人事考課評価者訓練		

職層研修の研修受講申込みの主な流れ

1　研修生が「研修受講申込受付システム」で日程を選択して申請する研修

以下の研修は、原則として、研修生**が「研修受講申込受付システムから申請してください。**

研修番号	研修名
1201	東京都公立学校主幹教諭任用時研修
1202	東京都公立学校主幹教諭スキルアップ研修
1211	東京都公立学校指導教諭任用時研修
1301	東京都公立学校主任教諭任用時研修
1302	東京都公立学校主任教諭任用前研修



★研修受講日は、上図⑦研修センターが「区市町村教育委員会」及び「都立学校」からの申請に基づき、最終承認を行った時点で決定します。⑦の最終承認以降、受講日を変更する必要がある場合は、所属の管理職を通じて各研修の担当宛てお問合せください。（小・中学校は所管の教育委員会を通じて、お問合せください。）

★詳細については、各研修の開催通知、研修テキスト等を参照してください。

職層研修の研修受講申込みの主な流れ

2　研修生が「研修案内」で研修日程等を確認する研修

以下の研修は、**研修生が「マイ・キャリア・ノート」にログインし、日程等を確認**してください。

研修番号	研修名
1001・1002	東京都立学校長研修
1011	東京都公立学校校長職候補者研修
1012・1013	東京都立学校副校長研修
1014	統括指導主事研修
1101	指導主事任用時研修
1111～1114	教育管理職候補者研修（A1年次～4年次）
1121・1122	教育管理職候補者研修（B研修Ⅱ・Ⅰ）
1131	教育管理職候補者C研修
1401～1406	東京都公立学校主任研修（教務・生活指導・進路指導）中学校・高等学校・中等教育学校
1411～1416	東京都公立学校主任研修（教務・生活指導・進路指導）特別支援学校
1501	教育行政研修
1502	教育管理職候補者B養成講座
1601	人事考課評価者訓練講師養成研修
1602	人事考課評価者訓練

★業務の都合等により指定日に受講できない場合など、受講日を変更する必要がある場合は、都立学校等は所属の管理職を通じて各研修の担当宛てお問合せください。また、小・中学校は所管の教育委員会を通じて、お問合せください。

★詳細については、各研修の開催通知、研修テキスト等を参照してください。

(1)教育管理職研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1001,1002										
研修名	東京都立学校長研修										
研修タイトル											
申込方法等	「研修受講申込受付システム」			「別途通知」（申込確認）	○						
ねらい	教育者として高い見識をもち、広い視野で学校経営ができる力を身に付けます。										
対象教員	都立学校長										
受講上の留意点	◇②③回は新任のみが対象です。										
研修に関する動画											
日程等	回	校種	実施日時		会場（予定）	内　容		指標との関連				
								学校経営	外部折衝	人材育成	高い見識	教育課題対応
	①		4月13日（火）	15:15-16:30	教職員研修センター	講義	・教職員の服務管理（オンデマンド） ・科学技術イノベーションと教育				○	
	②		6月10日（木）	9:30-12:30	教職員研修センター	講義・演習	（新任対象） ・適切な会計処理 ・学校の経営改善の実際	○				
	③		6月10日（木）	13:30-16:30	教職員研修センター	講義・演習	（新任対象） ・学校経営計画の改善	○				
	④		1月18日（火） ※別途通知します。			講義	・学校経営に生かすための新たな視点（仮称） ・ハラスメントについての理解				○	

＊指標との関連＊学校マネジメント能力

1…学校経営力　2…外部折衝力　3…人材育成力　4…教育者としての高い見識　5…教育課題に関する対応力

(1)教育管理職研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1011										
研修名	東京都公立学校校長職候補者研修										
研修タイトル											
申込方法等	「研修受講申込受付システム」			「別途通知」（申込確認）	○						
ねらい	教育者として高い見識をもち、昇任直後から校長としてリーダーシップを発揮して学校経営ができる力を身に付けます。										
対象教員	令和２年度校長職候補者選考合格者等										
受講上の留意点	◇②③回、④回、⑤⑥回、⑦⑧回は、対象校種の日に受講してください。										
研修に関する動画											
日程等	回	校種	実施日時		会場（予定）	内　容		指標との関連				
								学校経営	外部折衝	人材育成	高い見識	教育課題対応
	①		6月18日（金）	13:30-16:30	教職員研修センター	講義	・校長職候補者に期待すること ・報道対応（仮称） ・校長のリーダーシップ	○				
	② ③	小	7月6日（火）	9:30-12:30 13:30-16:30	教職員研修センター	講義・演習	・学校の危機管理～重大事故への対応～ ・教職員の服務管理 ・学校の危機管理(いじめの未然防止、早期発見、早期対応、重大事態への対処)	○				
		中高特	7月13日（火）									
	④	小	9月16日（木）	13:30-16:30	教職員研修センター	演習	・学校経営方針(計画)の実現と人材育成			○		
		中高特	9月28日（火）									

(1)教育管理職研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

日程等	⑤ ⑥	小	10月14日 （木）	9:30-12:30 13:30-16:30	教職員研修センター	講義・演習	・学校経営とカリキュラム・マネジメント ・学校評価の基本的な在り方 ・学校評価と分析	○			○	
		中 高 特	10月21日 （木）									
	⑦ ⑧	小	11月11日 （木）	9:30-12:30 13:30-16:30	教職員研修センター	演習	・学校経営方針(計画)の理解と作成 ・学校経営方針(計画)の作成と周知	○				
		中 高 特	11月18日 （木）									
	⑨		12月14日 （火）	13:30-16:30	教職員研修センター	講義・演習	・学校事務職員の人事制度と業績評価 ・アンガー・マネジメント ・学校ガバナンスとコンプライアンス ・校長への期待	○		○		

＊指標との関連＊学校マネジメント能力

1…学校経営力　2…外部折衝力　3…人材育成力　4…教育者としての高い見識　5…教育課題に関する対応力

(1)教育管理職研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1012,1013										
研修名	東京都立学校副校長研修										
研修タイトル											
申込方法等	「研修受講申込受付システム」			「別途通知」（申込確認）	○						
ねらい	学校経営の視点で組織目標の達成や人的管理ができる力を身に付けます。										
対象教員	都立学校副校長										
受講上の留意点	◇②③回は新任のみが対象です。										
研修に関する動画											
日程等	回	校種	実施日時		会場（予定）	内容		指標との関連				
								学校経営	外部折衝	人材育成	高い見識	教育課題対応
	①		4月20日（火）	13:30-14:45	教職員研修センター	講義	・教職員の服務管理（オンデマンド） ・科学技術イノベーションと教育				○	
	②		6月14日（月）	9:30-12:30	教職員研修センター	講義・演習	（新任対象） ・マスコミ対応と学校の危機管理 ・適切な会計処理				○	
	③		6月14日（月）	13:30-16:30	教職員研修センター	講義・演習	（新任対象） ・副校長と経営企画室との協働の進め方 ・経営企画室との連携	○				
	④		1月20日（木）	13:30-15:30	教職員研修センター	講義	・学校経営に生かすための新たな視点（仮称） ・ハラスメントについての理解				○	

＊指標との関連＊学校マネジメント能力

1…学校経営力　2…外部折衝力　3…人材育成力　4…教育者としての高い見識　5…教育課題に関する対応力

(1)教育管理職研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1014			
研修名	統括指導主事研修			
研修タイトル				
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（申込確認）	○
ねらい	教育行政や教育課題等についての理解を深め、統括指導主事等としての資質・能力の向上を図ります。			
対象教員	新任統括指導主事及び新任統括学校経営支援主事			
受講上の留意点				
研修に関する動画				

	回	校種	実施日時		会場（予定）	内　容		指標との関連				
								学校経営	外部折衝	人材育成	高い見識	教育課題対応
日程等	①		5月12日（水）	13:30-16:30	教職員研修センター	講義・演習	・統括指導主事等に期待すること ・指導主事・学校経営支援主事の育成と組織目標達成のための進行管理 ・日常の危機管理と組織的な対応の実際	○		○		○

＊指標との関連＊学校マネジメント能力

1…学校経営力　2…外部折衝力　3…人材育成力　4…教育者としての高い見識　5…教育課題に関する対応力

(2)教育管理職候補者研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1101											
研修名	指導主事任用時研修											
研修タイトル												
申込方法等	「研修受講申込受付システム」				「別途通知」（申込確認）	○						
ねらい	教育行政や学校訪問等に関する知識等の習得を通じて、指導主事としての資質・能力を向上させます。											
対象教員	新たに指導主事、学校経営支援主事、教育庁長期社会体験研修生（都民安全推進本部派遣研修生を含む。）となった者											
受講上の留意点	マイ・キャリア・ノートに掲載される「令和３年度　教育管理職候補者研修研修の手引」を確認してください。											
研修に関する動画												
日程等	回	校種	実施日時		会場（予定）	内容		指標との関連				
								学校経営	外部折衝	人材育成	高い見識	教育課題対応
	①		5月26日（水）	9：30-12：30	教職員研修センター	講義・演習	・指導主事の職務と教育行政における役割 ・教育行政における文書の作成 ・各種調査の意義の理解と進め方				○	
	②		7月15日（木）	9：30-12：30	教職員研修センター	講義・演習	・学校事故等への組織的な対応 ・指導と評価の一体化の推進 ・研修会等の企画・運営				○	
	③ ④		10月29日（金）	9：30-16：30	教職員研修センター 都内公立学校	講義・演習・授業研究	・教育課程の管理と指導主事の役割 ・授業力向上のための指導･助言の在り方 ・授業観察のポイントと指導･助言の実際				○	

＊指標との関連＊学校マネジメント能力

1…学校経営力　2…外部折衝力　3…人材育成力　4…教育者としての高い見識　5…教育課題に関する対応力

(2)教育管理職候補者研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1111				
研修名	教育管理職候補者Ａ１年次研修（２Ａ）				
研修タイトル					
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（申込確認）	○	
ねらい	教育施策や教育課程等に関する知識等の習得を通じて、教育管理職候補者及び指導主事として必要な資質・能力の向上を目指します。				
対象教員	令和２年度教育管理職Ａ選考合格者 都教育委員会が特に指定した者				
受講上の留意点	マイ・キャリア・ノートに掲載される「令和３年度　教育管理職候補者研修研修の手引」を確認してください。				
研修に関する動画					

	回	校種	実施日時		会場（予定）	内　容		指標との関連				
								学校経営	外部折衝	人材育成	高い見識	教育課題対応
日程等	①		5月26日（水）	13：30-16：30	教職員研修センター	講義・演習・協議	・教育施策の理解 ・第１回グループ研修				○	
	②		7月15日（木）	13：30-16：30	教職員研修センター	講義・演習・協議	・教育課程の編成・実施、管理 ・第２回グループ研修				○	
	③		11月12日（金）	13：30-16：30	教職員研修センター	講義・演習・協議	・特別支援教育の理解と推進 ・第３回グループ研修				○	

＊指標との関連＊学校マネジメント能力

1…学校経営力　2…外部折衝力　3…人材育成力　4…教育者としての高い見識　5…教育課題に関する対応力

(2)教育管理職候補者研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1112										
研修名	教育管理職候補者Ａ２年次研修（31Ａ）										
研修タイトル											
申込方法等	「研修受講申込受付システム」				「別途通知」（申込確認）	○					
ねらい	教育施策の立案や外部折衝等に関する知識等の習得を通じて、教育管理職候補者及び指導主事として必要な資質・能力の向上を目指します。										
対象教員	平成 31 年度教育管理職Ａ選考合格者 都教育委員会が特に指定した者										
受講上の留意点	マイ・キャリア・ノートに掲載される「令和３年度　教育管理職候補者研修研修の手引」を確認してください。										
研修に関する動画											
日程等	回	校種	実施日時		会場（予定）	内　容		指標との関連				
								学校経営	外部折衝	人材育成	高い見識	教育課題対応
	① ②		5 月 19 日（水）	9：30-16：30	教職員研修センター	講義・演習・協議	・教職員の服務管理 ・学校問題の未然防止と初期対応能力の向上 ・第４回グループ研修	○	○		○	
	③		6 月 24 日（木）	13：30-16：30	教職員研修センター	協議	・第５回グループ研修				○	
	④	⑴小学校 ⑵中学校・高等学校・特別支援学校	⑴10 月 13 日（水） ⑵10 月 15 日（金）	13：30-16：30	教職員研修センター	報告会	・グループ研修報告会				○	

＊指標との関連＊学校マネジメント能力

1…学校経営力　2…外部折衝力　3…人材育成力　4…教育者としての高い見識　5…教育課題に関する対応力

(2)教育管理職候補者研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1113			
研修名	教育管理職候補者Ａ３年次研修（30Ａ）			
研修タイトル				
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（申込確認）	○
ねらい	副校長の職務や所属職員の管理等に関する知識等の習得を通じて、教育管理職として必要な資質・能力の向上を目指します。			
対象教員	平成 30 年度教育管理職Ａ選考合格者 都教育委員会が特に指定した者			
受講上の留意点	マイ・キャリア・ノートに掲載される「令和３年度　教育管理職候補者研修研修の手引」を確認してください。			
研修に関する動画				

	回	校種	実施日時		会場（予定）	内　容		指標との関連				
								学校経営	外部折衝	人材育成	高い見識	教育課題対応
日程等	① ②		6 月 3 日（木）	9：30-16：30	教職員研修センター	講義・演習	・教育法規演習解説 ・教育課題への対応 ・教職員のメンタルヘルス ・アンガーマネジメント ・副校長に求められる組織マネジメント	○			○	
	③	⑴小学校（区部）、高等学校 ⑵中学校、特別支援学校 ⑶小学校（多摩島しょ）、小学校（教育庁）	⑴9 月 10 日（金） ⑵9 月 14 日（火） ⑶9 月 17 日（金）	13：30-16：30	教職員研修センター	講義・演習	・所属職員の管理 ＜ロールプレイング＞	○				
	④		10 月 7 日（木）	13：30-16：30	教職員研修センター	講義・演習	・教育法規演習解説 ・教職員の労務管理 ・リスクマネジメント ～学校における危機管理～	○				

＊指標との関連＊学校マネジメント能力

1…学校経営力　2…外部折衝力　3…人材育成力　4…教育者としての高い見識　5…教育課題に関する対応力

(2)教育管理職候補者研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1114										
研修名	教育管理職候補者Ａ４年次研修（29Ａ）										
研修タイトル											
申込方法等	「研修受講申込受付システム」			「別途通知」（申込確認）	○						
ねらい	人材育成や人事考課等に関する知識等の習得を通じて、教育管理職として必要な資質・能力の向上を目指します。										
対象教員	平成 29 年度教育管理職Ａ選考合格者 都教育委員会が特に指定した者										
受講上の留意点	マイ・キャリア・ノートに掲載される「令和３年度　教育管理職候補者研修研修の手引」を確認してください。										
研修に関する動画											
日程等	回	校種	実施日時		会場（予定）	内　容		指標との関連				
								学校経営	外部折衝	人材育成	高い見識	教育課題対応
	① ②		6 月 17 日（木）	9：30-16：30	教職員研修センター	講義・演習	・人材育成とＯＪＴの推進 ・保護者・地域への対応 ＜ロールプレイング＞		○	○		
	③ ④		10 月 22 日（金）	9：30-16：30	教職員研修センター	講義・演習	・人事考課評価者訓練 ・カリキュラム・マネジメントの推進 ・学校事務の理解（学校事務） ・学校事務の理解（講師任用制度） ・副校長への期待	○		○		

＊指標との関連＊学校マネジメント能力

1…学校経営力　2…外部折衝力　3…人材育成力　4…教育者としての高い見識　5…教育課題に関する対応力

(2)教育管理職候補者研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1121										
研修名	教育管理職候補者Ｂ研修Ⅱ（２Ｂ）										
研修タイトル											
申込方法等	「研修受講申込受付システム」			「別途通知」（申込確認）	○						
ねらい	保護者等対応や危機管理等に関する知識等の習得を通じて、教育管理職として必要な資質・能力の向上を目指します。										
対象教員	令和２年度教育管理職Ｂ選考合格者										
受講上の留意点	マイ・キャリア・ノートに掲載される「令和３年度　教育管理職候補者研修研修の手引」を確認してください。										
研修に関する動画											
日程等	回	校種	実施日時		会場（予定）	内　容		指標との関連				
								学校経営	外部折衝	人材育成	高い見識	教育課題対応
	① ②	⑴小学校（区部） ⑵中学校 特別支援学校 ⑶小学校（多摩島しょ） 高等学校	⑴6月1日（火） ⑵6月4日（金） ⑶6月9日（水）	9:30-16:30	教職員研修センター	講義・演習	・求められる副校長の役割 ・学校における働き方改革の推進 ・教職員のメンタルヘルス ・アンガーマネジメント ・保護者・地域への対応 ＜ロールプレイング＞	○	○			
	③ ④	⑴小学校（多摩島しょ） 高等学校 ⑵中学校 特別支援学校 ⑶小学校（区部）	⑴9月10日（金） ⑵9月14日（火） ⑶9月17日（金）	9:30-16:30	教職員研修センター	演習	・副校長に求められる組織マネジメント ・所属職員の管理 ＜ロールプレイング＞	○				
	⑤ ⑥		11月4日（木）	9:30-16:30	めぐろパーシモンホール	講義・演習	・リスクマネジメント～学校における危機管理～ ・組織と意思決定 ・情報公開と個人情報の保護 ・学校事務の理解（学校事務） ・学校事務の理解（講師任用制度） ・カリキュラム・マネジメントの推進 ・教育法規演習解説 ・特別支援教育の理解と推進（発達障害の理解等） ・副校長への期待	○			○	

＊指標との関連＊学校マネジメント能力

1…学校経営力　2…外部折衝力　3…人材育成力　4…教育者としての高い見識　5…教育課題に関する対応力

(2)教育管理職候補者研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1122										
研修名	教育管理職候補者Ｂ研修Ⅰ（３Ｂ）										
研修タイトル											
申込方法等	「研修受講申込受付システム」			「別途通知」（申込確認）	○						
ねらい	教育課程や人事考課制度、人材育成等に関する基礎的な知識等の習得を通じて、教育管理職として必要な資質・能力の向上を目指します。										
対象教員	令和３年度教育管理職Ｂ選考合格者										
受講上の留意点	マイ・キャリア・ノートに掲載される「令和３年度　教育管理職候補者研修研修の手引」を確認してください。										
研修に関する動画											
日程等	回	校種	実施日時		会場（予定）	内容		指標との関連				
								学校経営	外部折衝	人材育成	高い見識	教育課題対応
	① ②	⑴小学校 ⑵中学校 高等学校 特別支援学校	⑴１月12日（水） ⑵１月13日（木）	9:30-16:30	教職員研修センター	講義・演習	・教育法規Ⅰ ・東京都の教育課題と副校長の役割 ・教職員の服務管理 ・人事考課評価者訓練	○		○	○	
	③	⑴小学校（多摩島しょ） 高等学校 ⑵小学校（区部） ⑶中学校 特別支援学校	⑴1月28日（金） ⑵2月１日（火） ⑶2月４日（金）	13:30-16:30	教職員研修センター	演習	・人材育成とＯＪＴの推進	○		○		
	④ ⑤				動画研修	講義・演習	・教育課程の編成・実施、管理 ・教育法規Ⅱ ・人権教育の理解と推進 ・プログラミング教育（30教研セ） ・ＩＣＴを活用した協働学習（30教研セ） ・学校教育の情報化（ＮＩＴＳ） ・教職員の労務管理	○			○	

＊指標との関連＊学校マネジメント能力

1…学校経営力　2…外部折衝力　3…人材育成力　4…教育者としての高い見識　5…教育課題に関する対応力

(2)教育管理職候補者研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1131										
研修名	教育管理職候補者Ｃ研修（３Ｃ）										
研修タイトル											
申込方法等	「研修受講申込受付システム」			「別途通知」（申込確認）	○						
ねらい	教育課程や人事考課制度、人材育成等に関する基礎的な知識等の習得を通じて、教育管理職として必要な資質・能力の向上を目指します。										
対象教員	令和３年度教育管理職Ｃ選考合格者										
受講上の留意点	マイ・キャリア・ノートに掲載される「令和３年度　教育管理職候補者研修研修の手引」を確認してください。										
研修に関する動画											

	回	校種	実施日時		会場（予定）	内容		指標との関連				
								学校経営	外部折衝	人材育成	高い見識	教育課題対応
日程等	① ②	⑴小学校 ⑵中学校 高等学校 特別支援学校	⑴1月12日（水） ⑵1月13日（木）	9:30-16:30	教職員研修センター	講義・演習	・教育法規Ⅰ ・東京都の教育課題と副校長の役割 ・教職員の服務管理 ・人事考課評価者訓練	○		○	○	
	③ ④		1月19日（水）	9:30-16:30	教職員研修センター	講義・演習	・リスクマネジメント~学校における危機管理~ ・組織と意思決定 ・情報公開と個人情報の保護 ・学校事務の理解（学校事務） ・学校事務の理解（講師任用制度） ・教職員のメンタルヘルス ・アンガーマネジメント ・教育法規演習解説 ・副校長に求められる組織マネジメント ・学校における働き方改革の推進	○				
	⑤	⑴小学校（多摩島しょ） 高等学校 ⑵小学校（区部） ⑶中学校 特別支援学校	⑴1月28日（金） ⑵2月1日（火） ⑶2月4日（金）	13:30-16:30	教職員研修センター	演習	・人材育成とＯＪＴの推進	○		○		
	⑥		2月10日（木）	13:30-16:30	教職員研修センター	講義・演習	・カリキュラム・マネジメントの推進 ・特別支援教育の理解と推進（発達障害の理解等） ・教育法規演習解説 ・副校長への期待	○		○	○	
	⑦ ⑧				動画研修	講義・演習	・教育課程の編成・実施、管理 ・教育法規Ⅱ ・人権教育の理解と推進 ・プログラミング教育（30教研セ）・ＩＣＴを活用した協働学習（30教研セ）・学校教育の情報化（ＮＩＴＳ） ・教職員の労務管理	○			○	

＊指標との関連＊学校マネジメント能力

1…学校経営力　2…外部折衝力　3…人材育成力　4…教育者としての高い見識　5…教育課題に関する対応力

(3) 主幹教諭研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0294〕

研修番号	1201									
研修名	東京都公立学校主幹教諭任用時研修									
研修タイトル										
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」（申込確認）							
ねらい	主幹教諭の職責や職務内容を理解するとともに、ミドルリーダーとしての教育課題に関する対応力を高めます。									
対象教員	都立学校新任主幹教諭（令和２年度以前の本研修未修了の都立学校主幹教諭） 島しょ地区の小中学校に在籍する新任主幹教諭、新任主幹養護教諭及び新任主幹栄養教諭 ※充当職として教育委員会等に勤務する者は、所属長の判断のもと、猶予することができる。									
受講上の留意点	◇島しょ地区からの受講については､以下の日程から受講日を選択してください。 ◇研修受講申込みについては、開催通知を確認してください。 ◇研修終了後は、研修報告書を作成し、提出となります。									
研修に関する動画	５－（６）									

	回	校種	実施日時		会場（予定）	内容		指標との関連				
								学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題対応
日程等	①	都立特支	5月31日(月)	13:30～16:30	教職員研修センター	講義演習	・主幹教諭の職責と職務内容 ・ＯＪＴの推進体制 ・ミドルリーダーに求められる教育課題への対応	○	○	○	○	○
	②	都立中・高・中等教育学校【区部】	6月15日(火)									
	③	都立中・高・中等教育学校【多摩地区】	6月21日(月)		都立多摩図書館（西国分寺）							

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(3) 主幹教諭研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0294〕

研修番号	1202										
研修名	東京都公立学校主幹教諭スキルアップ研修										
研修タイトル											
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」（申込確認）								
ねらい	主幹教諭の職責や職務内容を再確認するとともに、教育課題への組織的な対応において中心的な役割を担い、学校経営に主体的に参画する力を高めます。										
対象教員	都立学校及び区市町村立学校主幹教諭任用２年目の者 （平成 22 年度以降に主幹教諭に任用された者のうち、本研修未修了の主幹教諭） ※令和３年４月時点での教育管理職候補者は対象外とする。										
受講上の留意点	◇島しょ地区からの受講については､以下の日程から受講日を選択してください。 ◇研修受講申込みについては、開催通知を確認してください。 ◇開催通知に従い、事前課題に取り組み、持参してください。 ◇研修終了後は、研修報告書を作成し、提出となります。										
研修に関する動画	５－（25）										
日程等	回	校種	実施日時		会場（予定）	内容		指標との関連				
								学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題対応
	①	特別支援学校	10 月 12 日（火）	13:30 ～ 16:30	教職員研修センター	講義演習	・ミドルリーダーに求められるカリキュラム・マネジメントの推進 ・組織的なカリキュラム・マネジメントの推進	○	○	○	○	○
	②	都立中・高・中等教育学校	10 月 19 日（火）									
	③	小学校【区部】	10 月 25 日（月）									
	④	小学校【市町村部】	11 月 8 日（月）									
	⑤	中学校	11 月 16 日（火）									

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(4) 指導教諭研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0294〕

研修番号	1211									
研修名	東京都公立学校指導教諭任用時研修									
研修タイトル										
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」（申込確認）							
ねらい	指導教諭の職責や職務内容を理解するとともに、具体的な指導・助言についての資質・能力を高めます。									
対象教員	都立学校及び区市町村立学校の新任指導教諭 （令和２年度以前の本研修未修了の指導教諭）									
受講上の留意点	◇研修受講申込みについては、開催通知を確認してください。 ◇開催通知に従い、事前課題に取り組み、持参してください。 ◇研修終了後は、研修報告書を作成し、提出となります。									
研修に関する動画	５－（25）									

	回	校種	実施日時		会場（予定）	内容		指標との関連				
								学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題対応
日程等	①	都立中・高・特支・中等教育学校 中学校 小学校	5月11日(火)	13:30 ～ 16:30	教職員研修センター	講義演習	・指導教諭の職責と職務内容 ・指導・助言能力の向上	○	○	○	○	

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(5)主任教諭研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1301									
研修名	東京都公立学校主任教諭任用時研修									
研修タイトル										
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」（申込確認）	○						
ねらい	主任教諭として授業や分掌業務を行う上での助言・支援の方法を学ぶとともに主幹教諭の補佐、各分掌間での業務の調整など学校運営上の重要な役割を担う能力を育成します。									
対象教員	・都立学校新任主任教諭、新任主任養護教諭及び新任主任栄養教諭 ・島しょ地区の小中学校に在籍する新任主任教諭、新任主任養護教諭及び新任主任栄養教諭									
受講上の留意点	◇研修受講申込み及び事前課題については、開催通知を確認してください。 ◇研修終了後は、研修報告書を作成し、所属校の管理職に提出してください。									
研修に関する動画										

日程等	回	校種	実施日時		会場（予定）	内容		指標との関連				
								学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題対応
	①		6月29日(火)	13:30 － 16:30	教職員研修センター	講義・演習	・主任教諭の職責と職務内容について ・問題解決力の向上（基礎編） ・問題解決力の向上（実践編）	○			○	
	②		7月9日(金)									
	③		7月16日(金)									

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(5)主任教諭研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1302				
研修名	東京都公立学校主任教諭任用前研修				
研修タイトル					
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（申込確認）	○	
ねらい	主任教諭に求められる役割について理解を深めるとともに主任教諭に必要な基本的な知識を習得します。				
対象教員	令和３年度主任教諭選考合格者等				
受講上の留意点	◇研修受講方法等については、開催通知を確認してください。				
研修に関する動画					

日程等

回	校種	実施日時	会場（予定）	内容		指標との関連				
						学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題対応
①		別途通知	職場	動画	・若手教員の育成等 ・服務事故の防止等	○	○			○

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応

(6)都立学校主任研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1401,1402		
研修名	東京都公立学校主任研修(教務・新任対象) 中学校・高等学校・中等教育学校 東京都公立学校主任研修(教務) 中学校・高等学校・中等教育学校		
研修タイトル			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」(申込確認) ○
ねらい	公立小学校・中学校及び都立中学校・高等学校・中等教育学校における教務の在り方について見識を高めるとともに、教務主任として、学校運営の中心的役割を担うための資質・能力の向上を目指します。		
対象教員	◇都立中学校・高等学校・中等教育学校の教務主任 ◇島しょ地区の小・中学校に在籍する新任教務主任		
受講上の留意点	◇研修受講申込み及び事前課題(動画視聴を含む)については、開催通知を確認してください。 ◇各回研修終了後は、研修報告書を作成し、所属校の管理職に提出してください。		
研修に関する動画	詳細は別途通知		

日程等	回	校種	実施日時		会場(予定)	内容		指標との関連				
								学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題対応
	①		4月28日(水)	13:30 － 16:30	教職員研修センター	講義・演習	・主任の法的位置付け、主任に期待すること ・主任の実務	○			○	
	②		5月18日(火)									

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(6)都立学校主任研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1403,1404									
研修名	東京都公立学校主任研修(生活指導・新任対象) 中学校・高等学校・中等教育学校 東京都公立学校主任研修(生活指導) 中学校・高等学校・中等教育学校									
研修タイトル										
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」(申込確認)	○						
ねらい	都立中学校・高等学校・中等教育学校における生活指導の在り方について見識を高めるとともに、生活指導主任として、学校運営の中心的役割を担うための資質・能力の向上を目指します。									
対象教員	都立中学・高等学校・中等教育学校の生活指導主任									
受講上の留意点	◇研修受講申込み及び事前課題(動画視聴を含む)については、開催通知を確認してください。 ◇各回研修終了後は、研修報告書を作成し、所属校の管理職に提出してください。									
研修に関する動画	詳細は別途通知									
日程等	回	校種	実施日時		会場(予定)	内容		指標との関連		
								学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題対応
	①		4月28日(水)	13:30 － 16:30	教職員研修センター	講義・演習	・主任の法的位置付け、主任に期待すること ・主任の実務		○		○	
	②		5月25日(火)									

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(6)都立学校主任研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1405,1406										
研修名	東京都公立学校主任研修(進路指導・新任対象) 中学校・高等学校・中等教育学校 東京都公立学校主任研修(進路指導) 中学校・高等学校・中等教育学校										
研修タイトル											
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」(申込確認)	○							
ねらい	都立中学校・高等学校・中等教育学校における進路指導の在り方について見識を高めるとともに、進路指導主任として、学校運営の中心的役割を担うための資質・能力の向上を目指します。										
対象教員	都立中学校・高等学校・中等教育学校の進路指導主任										
受講上の留意点	◇研修受講申込み及び事前課題(動画視聴を含む)については、開催通知を確認してください。 ◇各回研修終了後は、研修報告書を作成し、所属校の管理職に提出してください。										
研修に関する動画	詳細は別途通知										
日程等	回	校種	実施日時		会場(予定)	内容		指標との関連			
								学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題対応
	①		4月28日(水)	13:30 － 16:30	教職員研修センター	講義・演習	・主任の法的位置付け、主任に期待すること ・主任の実務		○		○	
	②		6月2日(水)									

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(6)都立学校主任研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1411,1412									
研修名	東京都公立学校主任研修(教務・新任対象) 特別支援学校 東京都公立学校主任研修(教務) 特別支援学校									
研修タイトル										
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」(申込確認)	○						
ねらい	都立特別支援学校における教務の在り方について見識を高めるとともに、教務主任として、学校運営の中心的役割を担うための資質・能力の向上を目指します。									
対象教員	都立特別支援学校の教務主任									
受講上の留意点	◇研修受講申込み及び事前課題(動画視聴を含む)については、開催通知を確認してください。 ◇各回研修終了後は、研修報告書を作成し、所属校の管理職に提出してください。									
研修に関する動画	詳細は別途通知									
日程等	回	校種	実施日時		会場(予定)	内容		指標との関連		
								学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題対応
	①		4月28日(水)	13:30 － 16:30	教職員研修センター	講義・演習	・主任の法的位置付け、主任に期待すること ・主任の実務	○			○	
	②		6月7日(月)									

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(6)都立学校主任研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1413,1414									
研修名	東京都公立学校主任研修(生活指導・新任対象) 特別支援学校 東京都公立学校主任研修(生活指導) 特別支援学校									
研修タイトル										
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」(申込確認)	○						
ねらい	都立特別支援学校における生活指導の在り方について見識を高めるとともに、生活指導主任として、学校運営の中心的役割を担うための資質・能力の向上を目指します。									
対象教員	都立特別支援学校の生活指導主任									
受講上の留意点	◇研修受講申込み及び事前課題(動画視聴を含む)については、開催通知を確認してください。 ◇各回研修終了後は、研修報告書を作成し、所属校の管理職に提出してください。									
研修に関する動画	詳細は別途通知									
日程等	回	校種	実施日時		会場(予定)	内容		指標との関連		
								学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題対応
	①		4月28日(水)	13:30 － 16:30	教職員研修センター	講義・演習	・主任の法的位置付け、主任に期待すること ・主任の実務		○		○	
	②		6月15日(火)									

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(6)都立学校主任研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0291〕

研修番号	1415,1416									
研修名	東京都公立学校主任研修(進路指導・新任対象) 特別支援学校 東京都公立学校主任研修(進路指導) 特別支援学校									
研修タイトル										
申込方法等	「研修受講申込受付システム」			「別途通知」(申込確認)	○					
ねらい	都立特別支援学校における進路指導の在り方について見識を高めるとともに、進路指導主任として、学校運営の中心的役割を担うための資質・能力の向上を目指します。									
対象教員	都立特別支援学校の進路指導主任									
受講上の留意点	◇研修受講申込み及び事前課題(動画視聴を含む)については、開催通知を確認してください。 ◇各回研修終了後は、研修報告書を作成し、所属校の管理職に提出してください。									
研修に関する動画	詳細は別途通知									
日程等	回	校種	実施日時		会場(予定)	内容		指標との関連		
								学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題対応
	①		4月28日(水)	13:30 － 16:30	教職員研修センター	講義・演習	・主任の法的位置付け、主任に期待すること ・主任の実務		○		○	
	②		6月22日(火)									

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(7) 教育管理職候補者育成研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1501				
研修名	教育行政研修				
研修タイトル					
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（申込確認）	○	
ねらい	教育行政の仕組み及び指導主事の職務の重要性を理解し、指導主事の職務を担うための基礎的な資質・能力を育成します。				
対象教員	令和３年度教育管理職Ａ選考を推薦区分で出願する者				
受講上の留意点	・マイ・キャリア・ノートに６月中旬以降に掲載される「令和３年度　教育行政研修　研修の手引」を確認してください。 ・実地研修は、研修場所の勤務時間に準じ、半日を１回として６回行います。受講については、区市町村立学校の受講者は、校長と区市町村教育委員会で協議の上設定した受講日時、都立学校の受講者は、教職員研修センターと学校経営支援センターで協議の上設定した受講日から選択し決定した受講日時で受講します。				
研修に関する動画					

日程等	回	校種	実施日時		会場（予定）	内容		指標との関連				
								学校経営	外部折衝	人材育成	高い見識	教育課題対応
	①		7月1日（木）	13:30-16:30	教職員研修センター	講義・演習	・改革マインドをもって新しい時代の教育を創造する指導主事の役割 ・東京都の教育課題 ・課題発見及び改善の方策				○	
	②		7月12日（月）	13:30-16:30	教職員研修センター	講義・演習	・指導主事の学校訪問に期待すること ・意思決定と文書 ・公文書の作成Ⅰ ・論文解説Ⅰ				○	
	③		8月23日（月）	13:30-16:30	教職員研修センター	講義・演習	・公文書の作成Ⅱ ・指導主事の職務の実際 ・論文解説Ⅱ ・指導主事に期待すること				○	
			半日６回		区市町村教育委員会又は学校経営支援センター等	実習・講義	・実地研修				○	

＊指標との関連＊学校マネジメント能力

1…学校経営力　2…外部折衝力　3…人材育成力　4…教育者としての高い見識　5…教育課題に関する対応力

(7) 教育管理職候補者育成研修

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1502				
研修名	教育管理職候補者Ｂ養成講座				
研修タイトル					
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（申込確認）	○	
ねらい	教育課題についての正しい認識に基づき、自校の問題点に気付き、解決するための方策を身に付けるとともに、副校長の職務の重要性を理解し、学校運営に必要とされる基礎的な資質・能力を育成します。				
対象教員	令和３年度教育管理職Ｂ選考を推薦区分で出願する者				
受講上の留意点	・マイ・キャリア・ノートに６月中旬以降に掲載される「令和３年度　教育管理職候補者Ｂ養成講座　研修の手引」を確認してください。 ・研修日については、開催通知を確認してください。				
研修に関する動画					

	回	校種	実施日時		会場（予定）	内容		指標との関連				
								学校経営	外部折衝	人材育成	高い見識	教育課題対応
日程等	①	⑴小学校 中学校 ⑵⑶ 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	⑴７月２日（金） ⑵７月５日（月） ⑶７月８日（木）	13:30-16:30	教職員研修センター	講義・演習	・副校長の役割、職務の実際 ・課題発見及び改善の方策Ⅰ（論文の基礎） ・課題発見及び改善の方策Ⅱ（事例演習）				○	
	②	⑴小学校 中学校 ⑵⑶ 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	⑴７月14日（水） ⑵７月19日（月） ⑶７月20日（火）	13:30-16:30	教職員研修センター	講義・演習	・東京都の教育課題 ・課題発見及び改善の方策Ⅲ（事例演習）				○	

＊指標との関連＊学校マネジメント能力

1…学校経営力　2…外部折衝力　3…人材育成力　4…教育者としての高い見識　5…教育課題に関する対応力

(8) 人事考課評価者訓練

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1601			
研修名	人事考課評価者訓練講師養成研修			
研修タイトル				
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（申込確認）	○
ねらい	人事考課評価者訓練の講師を担当するために必要な事項について理解を深めます。			
対象教員	人事考課評価者訓練の講師を担当する区市町村教育委員会指導室（課）長、統括指導主事、校長等			
受講上の留意点	・講師を担当する校種の事例を１回選択し、受講してください。 ・研修受講申込みについては、開催通知を確認してください。			
研修に関する動画				

日程等	回	校種	実施日時		会場（予定）	内容		指標との関連				
								学校経営	外部折衝	人材育成	高い見識	教育課題対応
	①		4月21日（水）	9:30-12:30	教職員研修センター	講義・演習	・人事考課制度の理解 ・適正な業績評価の実施 ・事例解説（小学校事例、中学校事例）	○		○		
			4月23日（金）	13:30-16:30								

＊指標との関連＊学校マネジメント能力

1…学校経営力　2…外部折衝力　3…人材育成力　4…教育者としての高い見識　5…教育課題に関する対応力

(8) 人事考課評価者訓練

〔担当課：教育経営課 03-5802-0283〕

研修番号	1602										
研修名	人事考課評価者訓練										
研修タイトル											
申込方法等	「研修受講申込受付システム」				「別途通知」（申込確認）	○					
ねらい	学校における人事考課を適正に実施するための評価者・関与者としての能力を高めます。										
対象教員	都立学校長・都立学校副校長　等										
受講上の留意点	・学校経営支援センター・支所所管校ごとに実施します。ただし、都立中高一貫教育校の校長及び副校長は、中部学校経営支援センター・支所所管校実施日での受講となります。 ・研修受講申込みについては、開催通知を確認してください。 ・受講日決定後やむを得ず受講日を変更する場合は、事務局に連絡の上、「変更届」を提出してください。										
研修に関する動画											

	回	校種	実施日時		会場（予定）	内容		指標との関連				
								学校経営	外部折衝	人材育成	高い見識	教育課題対応
日程等	①	都立学校長等	4月30日（金）	13:30-16:30	都立多摩図書館（西国分寺）	講義・演習	・人事考課制度の理解 ・適正な業績評価の実施 ・事例研究	○		○		
			5月6日（木）	13:30-16:30	教職員研修センター	講義・演習	・人事考課制度の理解 ・適正な業績評価の実施 ・事例研究	○		○		
			5月7日（金）	13:30-16:30	教職員研修センター	講義・演習	・人事考課制度の理解 ・適正な業績評価の実施 ・事例研究	○		○		
			5月14日（金）	13:30-16:30	都立多摩図書館（西国分寺）	講義・演習	・人事考課制度の理解 ・適正な業績評価の実施 ・事例研究	○		○		
	②	都立学校副校長等	5月17日（月）	13:30-16:30	都立多摩図書館（西国分寺）	講義・演習	・人事考課制度の理解 ・適正な業績評価の実施 ・事例研究	○		○		
			5月24日（月）	13:30-16:30	都立多摩図書館（西国分寺）	講義・演習	・人事考課制度の理解 ・適正な業績評価の実施 ・事例研究	○		○		
			5月27日（木）	13:30-16:30	教職員研修センター	講義・演習	・人事考課制度の理解 ・適正な業績評価の実施 ・事例研究	○		○		
			5月28日（金）	13:30-16:30	教職員研修センター	講義・演習	・人事考課制度の理解 ・適正な業績評価の実施 ・事例研究	○		○		

＊指標との関連＊学校マネジメント能力

1…学校経営力　2…外部折衝力　3…人材育成力　4…教育者としての高い見識　5…教育課題に関する対応

年 次 研 修

(1) 東京都若手教員育成研修

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２１４３〕

研修番号	2001
研修名	東京都若手教員育成研修　１年次(初任者)研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校)
申込方法等	「研修受講申込受付システム」　○　「別途通知」(申込確認)
ねらい	東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された教員が身に付けるべき力である「学習指導力」、「生活指導力・進路指導力」、「外部との連携・折衝力」、「学校運営力・組織貢献力」及び「教育課題に関する対応力」における基礎的・基本的な資質・能力の育成を図ります。
対象教員	令和３年度に採用された教諭のうち、都立高等学校・中等教育学校・附属中学校に在籍する者 ※ 詳細は実施の手引を確認してください。
受講上の留意点	◇「火曜日コース」、「金曜日コース」に分かれて実施します。ただし、①・②・③回は両コース同時に実施します。 ◇⑦・⑧回は集合研修を中止し、代替課題の提出をもって出席と見なします。 ◇大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症防止対策等でやむを得ず変更する場合は、別途通知します。
研修に関する動画	

日程等

回	実施日時 会場（予定）		内　容	指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
①	4月1日(木) 14:00-16:30 国立オリンピック記念青少年総合センター(参宮橋)	演習他	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育					○
② ③	4月2日(金) 9:30-16:30 国立オリンピック記念青少年総合センター(参宮橋)	演習他	・接遇マナー(ビジネススキルの基本) ・体罰防止(アンガーマネジメント) ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度 等		○	○	○	
④	5月11日(火)・5月14日(金) 13:30-16:30 オンライン研修	演習他	・学習指導要領と教育課程 ・学習指導案の作成(単元の構想)	○				
⑤	6月11日(金)・6月15日(火) 13:30-16:30 オンライン研修	演習他	・不登校・中退、自殺防止の取組 ・学習指導案の作成(本時案の検討)	○				○
⑥	7月2日(金)・7月6日(火) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・授業改善のＰＤＣＡ ・自己診断 ・研究協議の進め方	○				
⑦ ⑧	集合研修中止 オンライン研修	演習他	・後日通知	○				
⑨	9月10日(金)・9月14日(火) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・保護者との望ましい関係の在り方 ・生活指導の充実		○	○		
⑩	10月8日(金)・10月12日(火) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・ＩＣＴの活用・情報モラル教育 ・主体的・対話的で深い学びの実現	○			○	○
⑪	11月12日(金)・11月16日(火) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・特別支援教育 ・個に応じた指導の充実	○				○
⑫	1月11日(火)・1月14日(金) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・入学者選抜 ・学習評価の充実 ・1年次(初任者)研修のまとめ	○			○	

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(1) 東京都若手教員育成研修

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２１４３〕

研修番号	2002								
研修名	東京都若手教員育成研修　２年次研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校)								
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」(申込確認)						
ねらい	東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された教員が身に付けるべき力のうち「学習指導力」、「生活指導力・進路指導力」等の実践的な指導力の促進を図ります。								
対象教員	原則として、令和２年度に採用された教諭のうち、都立高等学校・中等教育学校・附属中学校に在籍し、１年次（初任者）研修を修了した者								
受講上の留意点	◇ ①回の日程について ７月 ７日（水）：国・数・保体・芸・外・家・情・農・工・商・水・福 ８月 16 日（月）：国・地歴・公・数・理・保体・外 ◇大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症防止対策等でやむを得ず変更する場合は、別途通知します。								
研修に関する動画									
日程等	回	実施日時 会場（予定）		内　容		指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
	①	７月 ７日(水) ８月 16 日(月) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	授業力の向上 ・主体的・対話的で深い学びの実現 （学習評価の在り方と改善） ※日程が指定されている教科・科目があります。		○				
	②	11 月 17 日(水) 11 月 22 日(月) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	生活指導の充実 ・体罰の根絶 （コーチング） ・生徒理解 （いじめ防止を含む） ※申込時に希望日を選択します。			○			
	③	１月 26 日(水) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	進路指導の充実 ・主権者教育 ・進路指導の在り方とキャリア教育の推進 ・２年次研修の振り返りと３年次研修に向けて			○			

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(1) 東京都若手教員育成研修

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２１４３〕

研修番号	2003								
研修名	東京都若手教員育成研修　３年次研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校)								
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」(申込確認)						
ねらい	東京都若手教員育成研修２年次研修(以下「２年次研修」という。)を修了した教員に対して、東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された教員が身に付けるべき力のうち、「外部との連携・折衝力」、「学校運営力・組織貢献力」等の課題解決力の伸長を図ります。								
対象教員	原則として、平成 31 年度（2019 年度）に採用された教諭のうち、都立高等学校・中等教育学校・附属中学校に在籍し、２年次研修を修了した者								
受講上の留意点	◇「校内における研修」では、年間３回の「授業研究」のうち１回は、授業観察シート等を提出する「授業観察」として実施します。 ◇①回の日程について ５月 24 日（月）：国・数・保体・芸・外・家・情・農・工・商・水・福 ５月 28 日（金）：国・地歴・公・数・理・保体・外 教科ごとに指定された研修日を選択してください。研修日が２日間設定されている教科（国・数・保体・外）については、申込時に希望日を選択し、受講決定通知で指定された研修日に受講してください。 ◇②回の日程について 申込時に希望日を選択し、受講決定通知で指定された研修日に受講してください。 ◇大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症防止対策等でやむを得ず変更する場合は、別途通知します。								
研修に関する動画									

日程等	回	実施日時 会場（予定）		内　容	指標との関連				
					学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
	①	5 月 24 日（月） 5 月 28 日（金） 13:30-16:30 オンライン研修	演習他	・主体的・対話的で深い学びの実現 （授業実践事例検討）	○				
	②	1 月 19 日（水） 1 月 24 日（月） 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・関係機関との連携 ・学校運営への参画 ・若手教員育成研修のまとめ			○	○	

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(1) 東京都若手教員育成研修

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２１４３〕

研修番号	2011
研修名	東京都若手教員育成研修　１年次(初任者)研修(都立特別支援学校)
申込方法等	「研修受講申込受付システム」　都立　／　「別途通知」(申込確認)　区立
ねらい	東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された教員が身に付けるべき力である「学習指導力」、「生活指導力・進路指導力」、「外部との連携・折衝力」、「学校運営力・組織貢献力」及び「教育課題に関する対応力」における基礎的・基本的な資質・能力の育成を図ります。
対象教員	・令和３年度に採用された教諭のうち、都立特別支援学校に在籍する者 ・区立特別支援学校に在籍する者は、専門性に関わる内容の研修については、東京都教職員研修センターで実施する研修を受講することができます(受講する回については区教育委員会の通知に従ってください)。 ※詳細は実施の手引を確認してください。
受講上の留意点	◇「火曜日コース」、「金曜日コース」に分かれて実施します。ただし、①・②・③回は両コース同時に実施します。 ◇⑦・⑧回は集合研修を中止し、代替課題の提出をもって出席と見なします。 ◇大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症防止対策等でやむを得ず変更する場合は、別途通知します。
研修に関する動画	

日程等

回	実施日時 会場（予定）		内　容	指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
①	4月1日(木) 14:00-16:30 教職員研修センター(水道橋)	演習他	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育					○
② ③	4月2日(金) 9:30-16:30 教職員研修センター(水道橋)	演習他	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度　等		○	○	○	
④	5月18日(火)・5月21日(金) 13:30-16:30 オンライン研修	演習他	・特別支援教育の基礎・基本 ・障害のある児童・生徒の理解					○
⑤	6月22日(火)・6月25日(金) 13:30-16:30 教職員研修センター(水道橋)	演習他	・学習指導要領の理解と学習指導案の作成 ・個別指導計画を生かした学習指導の実際	○				
⑥	7月13日(火)・7月16日(金) 13:30-16:30 教職員研修センター(水道橋)	演習他	・自己診断Ⅰ ・不登校・中退、自殺防止の取組 ・学習指導案の検討	○				○
⑦ ⑧	集合研修中止 オンライン研修	演習他	・後日通知	○				
⑨	9月24日(金)・9月28日(火) 13:30-16:30 教職員研修センター(水道橋)	演習他	・個別の教育支援計画を活用した児童・生徒の支援の充実 ・授業改善のＰＤＣＡ	○		○		
⑩	10月19日(火)・10月22日(金) 13:30-16:30 教職員研修センター(水道橋)	演習他	・特別支援学校における危機管理・対応 ・個別指導計画に基づく学習評価	○	○			○
⑪	12月3日(金)・12月7日(火) 13:30-16:30 教職員研修センター(水道橋)	演習他	・保護者・地域・関係機関との連携 ・特別支援学校における生活指導		○	○		
⑫	1月28日(金)・2月1日(火) 13:30-16:30 教職員研修センター(水道橋)	演習他	・特別支援学校における情報モラル教育とＩＣＴ活用 ・1年次研修のまとめ・自己診断Ⅱ ・特別支援教育の推進者として若手教員に期待すること	○			○	○

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(1) 東京都若手教員育成研修

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２１４３〕

研修番号	2012			
研修名	東京都若手教員育成研修　２年次研修（都立特別支援学校）			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	都立	「別途通知」（申込確認）	区立
ねらい	東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された教員が身に付けるべき力のうち「学習指導力」、「生活指導力・進路指導力」等の実践的な指導力の促進を図ります。			
対象教員	原則として、令和２年度に採用された教諭のうち、都立特別支援学校に在籍し、１年次（初任者）研修を修了した者			
受講上の留意点	◇ ①回の日程について ７月 １日（木）：視覚・聴覚・肢体・病弱・知的 ８月 17 日（火）：肢体・病弱・知的 ◇区立特別支援学校に在籍する者も、受講することができます。研修日程、申込方法は、区教育委員会からの通知に従ってください。 ◇大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症防止対策等でやむを得ず変更する場合は、別途通知します。			
研修に関する動画				

	回	実施日時 会場（予定）	内　容		指標との関連				
					学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
日程等	①	７月 １日（木） ８月 17 日（火） 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	授業力の向上 ・主体的・対話的で深い学びの実現（学習評価の在り方と改善） ※日程が指定されている障害種別があります。	○				
	②	11 月 19 日（金） 11 月 24 日（水） 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	生活指導の充実 ・体罰の根絶（コーチング） ・児童・生徒理解（いじめ防止を含む） ※申込時に希望日を選択します。			○	○	
	③	１月 27 日（木） 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	進路指導の充実 ・主権者教育 ・進路指導の在り方とキャリア教育の推進 ・２年次研修の振り返りと３年次研修に向けて		○			

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(1) 東京都若手教員育成研修

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２１４３〕

研修番号	2013			
研修名	東京都若手教員育成研修　３年次研修（都立特別支援学校）			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	都立	「別途通知」（申込確認）	区立
ねらい	東京都若手教員育成研修２年次研修(以下「２年次研修」という。)を修了した教員に対して、東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された教員が身に付けるべき力のうち、「外部との連携・折衝力」、「学校運営力・組織貢献力」等の課題解決力の伸長を図ります。			
対象教員	原則として、平成 31 年度（2019 年度）に採用された教諭のうち、都立特別支援学校に在籍し、２年次研修を修了した者			
受講上の留意点	◇「校内における研修」では、年間３回の「授業研究」のうち１回は、授業観察シート等を提出する「授業観察」として実施します。 ◇①回の日程について ５月 27 日（木）：視覚・聴覚・肢体・病弱・知的 ６月　７日（月）：肢体・病弱・知的 障害種別ごとに指定された研修日を選択してください。研修日が２日間設定されている障害種別（肢体・病弱・知的）については、申込時に希望日を選択し、受講決定通知で指定された研修日に受講してください。 ◇②回の日程について 申込時に希望日を選択し、受講決定通知で指定された研修日に受講してください。 ◇区立特別支援学校に在籍する者は、専門性に関わる内容（第①回）について、東京都教職員研修センターで実施する研修を受講することができます。申込み方法は、区教育委員会からの通知に従ってください。 ◇大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症防止対策等でやむを得ず変更する場合は、別途通知します。			
研修に関する動画				

日程等	回	実施日時 会場（予定）	内　容		指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
	①	5 月 27 日（木） 6 月 7 日（月） 13:30-16:30 オンライン研修	演習他	・主体的・対話的で深い学びの実現 （授業実践事例検討）	○				
	②	1 月 21 日（金） 2 月 2 日（水） 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・関係機関との連携 ・学校運営への参画 ・若手教員育成研修のまとめ			○	○	

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(1) 東京都若手教員育成研修

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２１４３〕

研修番号	2501
研修名	東京都若手教員育成研修　１年次(初任者)研修(小・中学校特別支援学級等)
申込方法等	「研修受講申込受付システム」 ／ 「別途通知」（申込確認） ○
ねらい	東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された教員が身に付けるべき力である「学習指導力」、「生活指導力・進路指導力」、「外部との連携・折衝力」、「学校運営力・組織貢献力」及び「教育課題に関する対応力」における基礎的・基本的な資質・能力の育成を図ります。
対象教員	令和３年度に区市町村立学校の特別支援学級等に教諭として採用された者のうち、各区市町村教育委員会が定める者 ※詳細は、各区市町村教育委員会にお問い合わせください。
受講上の留意点	◇全３回とも固定学級・通級指導学級・特別支援教室等にかかわらず合同で実施します。 ◇本研修については、各区市町村教育委員会が実施する研修の内容等に応じて、各教育委員会が東京都教育委員会に申込みます。 ◇名札（所属で使用のもの）・研修テキストを毎回持参してください。 ◇研修にふさわしい服装で参加し、名札を着用してください。 ◇研修テキストは、区市町村教育委員会を通じて配布されたものを持参してください。 ◇研修終了後、東京都教職員研修センターＷｅｂページにある様式で受講記録を作成し、所属校で指導を受け、５年間保存してください。受講記録の東京都教職員研修センターへの提出は不要ですが、区市町村教育委員会への提出は各教育委員会の指示に従ってください。 ◇研修テキスト等を活用するなど、「校内における研修」との関連を図ってください。 ◇その他の詳細については、研修テキスト等で確認してください。 ◇大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症防止対策等でやむを得ず変更する場合は、別途通知します。
研修に関する動画	

日程等	回	実施日時 会場（予定）	内容		指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
	①	6月17日(木) 13:30-16:30 オンライン研修	演習他	・障害のある児童・生徒の医療と心理 ・障害のある児童・生徒に対する教育について			○		○
	②	10月27日(水) 13:30-16:30 教職員研修センター(水道橋)	演習他	・特別支援学級の教育課程 ・特別支援学級における授業づくり	○			○	
	③	12月10日(金) 13:30-16:30 教職員研修センター(水道橋)	演習他	・個別の教育支援計画を活用した児童・生徒の支援の充実 ・授業改善のＰＤＣＡ～学習指導案の作成を通して～	○				○

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(1) 東京都若手教員育成研修

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２１４３〕

研修番号	2021 他									
研修名	東京都若手教員育成研修　１年次（初任者）研修（島しょ都立学校、小・中学校）									
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	都立	「別途通知」（申込確認）	小・中						
ねらい	東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された教員が身に付けるべき力である「学習指導力」、「生活指導力・進路指導力」、「外部との連携・折衝力」、「学校運営力・組織貢献力」及び「教育課題に関する対応力」における基礎的・基本的な資質・能力の育成を図ります。									
対象教員	令和３年度に採用された教諭のうち、島しょ地区の都立学校、公立小・中学校に在籍する者									
受講上の留意点	◇研修テキストは初回の参加時、名札は都立④回小・中①回に研修会場で配布します。 ※都立①②③⑧⑨⑩回は都立学校の受講者のみ参加となります。 ※都立学校においては、下記 10 回の研修のほか、島しょでの研究会等を２回受講してください。 ※小笠原を除く小・中学校においては、下記４回の研修のほか、各出張所が実施する「教育センターにおける研修」を６回以上受講してください。 ◇大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症防止対策等でやむを得ず変更する場合は、別途通知します。									
研修に関する動画										

日程等	回		実施日時 会場（予定）		内　容	指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
	都立①	－	４月１日（木） 14:00-16:30 高等学校・中等教育学校・附属中学校： 国立オリンピック記念青少年総合センター（参宮橋） 特別支援学校：教職員研修センター（水道橋）	演習他	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育					○
	都立②③	－	４月２日（金） ９：30-16:30 高等学校・中等教育学校・附属中学校： 国立オリンピック記念青少年総合センター（参宮橋） 特別支援学校：教職員研修センター（水道橋）	演習他	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度　等		○	○	○	
	都立④⑤	小・中①②	８月 19 日（木） 9:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・学習指導要領と教育課程 ・学習指導案の作成 ・授業改善の PDCA ・研究協議の進め方	○				
	都立⑥⑦	小・中③④	８月 20 日（金） 9:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・保護者との望ましい関係の在り方 ・生活指導の充実 ・特別支援教育 ・個に応じた指導の充実		○	○		○
	都立⑧⑨	－	高等学校等　８月 25 日（水） 9:30-16:30 未定 特別支援学校　７月 27 日（火） ７月 28 日（水） 9:30-16:30 未定	演習他	・模擬授業、協議　等 ・模擬授業、協議　等 ＊いずれか指定された日程（1日）を受講する。	○				
	都立⑩	－	高等学校等　１月 11 日（火） １月 14 日（金） 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋） 特別支援学校　１月 28 日（金） ２月　１日（火） 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・入学者選抜 ・学習評価の充実 ・１年次（初任者）研修のまとめ ＊いずれか指定された日程（1日）を受講する。 ・特別支援学校における情報モラル教育とICT活用 ・1年次研修のまとめ・自己診断Ⅱ ＊いずれか指定された日程（1日）を受講する。	○			○	

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(2) 新規採用者研修

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２１４３〕

研修番号	2131			
研修名	東京都公立学校　新規採用養護教諭研修（都立学校）			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」（申込確認）	
ねらい	東京都公立学校の新規採用養護教諭に対して、養護教諭の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得ることができるようにする。			
対象教員	令和３年度に採用された養護教諭のうち、島しょ地区以外の都立学校に在籍する者			
受講上の留意点	◇研修テキストは①回、名札は④回に研修会場で配布します。 ◇①②③回は高等学校・中等教育学校・附属中学校籍の受講者は国立オリンピック記念青少年総合センター（参宮橋）、特別支援学校籍の受講者は教職員研修センター（水道橋）で受講します。 ◇大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症防止対策等でやむを得ず変更する場合は、別途通知します。			
研修に関する動画				

日程等 回	実施日時 会場（予定）	内容		指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
①	４月１日(木) 14:00-16:30 高等学校・中等教育学校・附属中学校：国立オリンピック記念青少年総合センター（参宮橋） 特別支援学校：教職員研修センター（水道橋）	演習他	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育					○
② ③	４月２日(金) ９：30-16:30 高等学校・中等教育学校・附属中学校：国立オリンピック記念青少年総合センター（参宮橋） 特別支援学校：教職員研修センター（水道橋）	演習他	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度　等		○	○	○	
④ ⑤	５月 17 日(月) 9:30-16:30 オンライン研修	演習他	・研修ガイダンス ・新規採用養護教諭に求められること ・定期健康診断と学校保健事務 ・普通救命講習	○			○	○
⑥	５月 31 日(月) 13:30-16:30 オンライン研修	演習他	・学習指導案の立案と授業の実際 ・ICT の活用 ・アレルギー疾患への対応	○				○
⑦	７月５日(月) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・救急処置の理論と実際 ・保健教育の充実、学習指導要領の理解	○				○
⑧ ⑨	８月 18 日(水) 9:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・模擬授業の発表 ・保健室経営の充実	○			○	
⑩	９月 16 日(木) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・健康相談の理論と実際（いじめ・虐待の予防及び対応を含む） ・健康上配慮を要する児童・生徒への関わり（不登校への対応含む）	○	○	○		○
⑪	10 月 20 日(水) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・障害のある児童・生徒との関わり及び関係機関との連携 ・保護者とのよりよい関係のつくり方			○		○
⑫	12 月１日（水） 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・学校保健計画の作成と活用 ・新規採用養護教諭研修のまとめ				○	

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力、保健管理に関する力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(2) 新規採用者研修

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２１４３〕

研修番号	2132 他									
研修名	東京都公立学校　新規採用養護教諭研修（島しょ小・中・高）									
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	都立	「別途通知」（申込確認）	公立						
ねらい	東京都公立学校の新規採用養護教諭に対して、養護教諭の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得ることができるようにする。									
対象教員	令和３年度に採用された養護教諭のうち、島しょ地区の東京都公立小学校・中学校・高等学校に在籍する者									
受講上の留意点	◇公立小学校・中学校に在籍する者は名札、研修テキストは①回に研修会場で配布します。 ◇都立高等学校に在籍する者は研修テキストは①回、名札は④回に研修会場で配布します。 ◇大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症防止対策等でやむを得ず変更する場合は、別途通知します。									
研修に関する動画										

日程等	回		実施日時 会場（予定）	内容		指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
	島しょ都立①	―	４月１日（木） 14:00-16:30 国立オリンピック記念青少年総合センター（参宮橋）	演習他	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育					○
	島しょ都立②③	―	４月２日（金） ９：30-16:30 国立オリンピック記念青少年総合センター（参宮橋）	演習他	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度　等		○	○	○	
	島しょ都立④⑤	島しょ公立①②	５月 17 日（月） 9:30-16:30 オンライン研修	演習他	・研修ガイダンス ・新規採用養護教諭に求められること ・定期健康診断と学校保健事務 ・普通救命講習	○			○	○
	島しょ都立⑥	島しょ公立③	８月 16 日（月） 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・保健教育の充実、学習指導要領の理解（ICTの活用を含む） ・学習指導案の立案 ・アレルギー疾患への対応	○				○
	島しょ都立⑦⑧	島しょ公立④⑤	８月 17 日（火） 9:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・健康相談の理論と実際（いじめ・虐待の予防及び対応、不登校を含む） ・配慮を要する児童・生徒への関わり（障害のある児童・生徒との関わりを含む） ・学校保健計画の作成・活用 ・救急処置の理論と実際	○	○	○	○	○
	島しょ都立⑨⑩	島しょ公立⑥⑦	８月 18 日（水） 9:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・模擬授業の発表 ・保健室経営の充実	○			○	

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力、保健管理に関する力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(2) 新規採用者研修

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２１４３〕

研修番号	2511									
研修名	東京都公立学校　新規採用養護教諭研修（小・中学校）									
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（申込確認）	○						
ねらい	東京都公立学校の新規採用養護教諭に対して、養護教諭の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得ることができるようにする。									
対象教員	令和３年度に採用された養護教諭のうち、島しょ地区以外の東京都公立小・中学校に在籍する者									
受講上の留意点	◇研修テキスト、名札は①回に研修会場で配布します。 ◇大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症防止対策等でやむを得ず変更する場合は、別途通知します。									
研修に関する動画										
日程等	回	実施日時 会場（予定）		内　容		指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
	① ②	５月 17 日(月) 9:30-16:30 オンライン研修	演習他	・研修ガイダンス ・新規採用養護教諭に求められること ・定期健康診断と学校保健事務 ・普通救命講習		○			○	○
	③	５月 31 日(月) 13:30-16:30 オンライン研修	演習他	・学習指導案の立案と授業の実際 ・ICT の活用 ・アレルギー疾患への対応		○				○
	④	７月５日(月) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・救急処置の理論と実際 ・保健教育の充実、学習指導要領の理解		○				○
	⑤ ⑥	８月 18 日(水) 9:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・模擬授業の発表 ・保健室経営の充実		○			○	
	⑦	９月 16 日(木) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・健康相談の理論と実際（いじめ・虐待の予防及び対応を含む） ・健康上配慮を要する児童・生徒への関わり（不登校への対応含む）		○	○	○		○
	⑧	10 月 20 日(水) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・障害のある児童・生徒との関わり及び関係機関との連携 ・保護者とのよりよい関係のつくり方				○		○
	⑨	12 月１日(水) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・学校保健計画の作成と活用 ・新規採用養護教諭研修のまとめ					○	

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力、保健管理に関する力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(2) 新規採用者研修

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２１４３〕

研修番号	2141, 2521									
研修名	東京都公立学校　新規採用栄養教諭研修									
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	都立	「別途通知」（申込確認）	公立						
ねらい	栄養教諭の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を身に付けます。									
対象教員	令和３年度に採用された栄養教諭									
受講上の留意点	◇研修テキストは初回の参加時、名札は都立④回公立①回に研修会場で配布します。 ※都立①②③回は、都立学校の受講者のみ参加となります。 ◇大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症防止対策等でやむを得ず変更する場合は、別途通知します。									
研修に関する動画										

日程等	回		実施日時 会場（予定）	内　容		指標との関連				
						学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
	都立①	―	４月１日(木) 14:00-16:30 高等学校・中等教育学校・附属中学校：国立オリンピック記念青少年総合センター（参宮橋） 特別支援学校：教職員研修センター（水道橋）	演習他	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育					○
	都立②③	―	４月２日(金) 9:30-16:30 高等学校・中等教育学校・附属中学校：国立オリンピック記念青少年総合センター（参宮橋） 特別支援学校：教職員研修センター（水道橋）	演習他	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度　等		○	○	○	
	都立④	公立①	５月７日(金) 13:30-16:30 オンライン研修	演習他	・研修ガイダンス ・食に関する指導の実践 ・学習指導要領に基づいた計画の作成	○				
	都立⑤	公立②	５月31日(月) 13:30-16:30 オンライン研修	演習他	・学習指導案の立案と授業の実際 ・ＩＣＴの活用 ・アレルギー疾患への対応 ＊新規採用養護教諭研修と合同	○				○
	都立⑥	公立③	６月下旬（別途通知） 13:30-16:30 学校会場（別途通知）	演習他	・授業研究 ・本時の授業について学習指導案から学ぶ食に関する指導の工夫	○				
	都立⑦	公立④	７月12日(月) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・学習指導案の検討	○				
	都立⑧	公立⑤	８月19日(木) 9:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・模擬授業 ・協議の進め方	○				
	都立⑩	公立⑦	９月８日(水) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・教員に求められる４つの力と栄養教諭に期待すること ・研修のまとめ				○	

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力・学校給食の管理に関する力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(2) 新規採用者研修

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２１４３〕

研修番号	2531			
研修名	東京都公立幼稚園　新規採用幼稚園教諭研修			
申込方法等	「マイ・キャリア・ノート」		「別途通知」（申込確認）	○
ねらい	東京都公立幼稚園の新規採用幼稚園教諭に対して、教諭の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得ることができるようにします。			
対象教員	令和３年度に採用された幼稚園教諭			
受講上の留意点	◇名札・研修テキストを毎回持参してください。 ◇①回には人権教育プログラム（学校教育編）を持参してください。 ◇名札、研修テキストは①回の研修会場で配布予定です。 ◇⑦⑧回はいずれか一日を選択して参加します。 ◇大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症防止対策等でやむを得ず変更する場合は、別途通知します。			
研修に関する動画				

日程等	回	実施日時 会場（予定）	内容		指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
	①	4月22日(木) 13:30-16:30 オンライン研修	演習他	・研修ガイダンス ・幼稚園教諭としての心構え ・人権教育の推進（いじめ、体罰、児童虐待等）					
	②	5月20日(木) 13:30-16:30 オンライン研修	演習他	・指導計画の作成と保育記録の方法 ・食物アレルギーへの対応					
	③ ④	6月10日(木) 9:00-16:30 オンライン研修	保育観察	・保育観察Ⅰ 「教師の援助と環境の構成」－自己の課題解決に向けて－					
	⑤	7月8日（木） 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・教材研究の実際 ・保護者との連携					
	⑥	10月7日(木) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・幼児理解に基づいた評価（観察研究、ビデオカンファレンス等） ・指導要録の作成					
	⑦ ⑧	11月4日(木) または 18日(木) 9:00-16:30 園会場（別途通知）	保育観察	・保育観察Ⅱ 「教師の援助と環境の構成」－保育のねらいと評価－					
	⑨	12月9日(木) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・配慮を要する幼児の理解と指導					
	⑩	1月13日(木) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・これからの幼児教育について ・１年間の自己の成果と課題の明確化、課題解決に向けての方策					

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(2) 新規採用者研修

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２１４３〕

研修番号	2161								
研修名	東京都立学校　新規採用実習助手・寄宿舎指導員研修								
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」（申込確認）						
ねらい	新任の実習助手・寄宿舎指導員に対して、実習助手・寄宿舎指導員の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得られるようにします。								
対象教員	令和３年度に採用された実習助手・寄宿舎指導員のうち、都立学校に在籍する者								
受講上の留意点	◇名札・研修テキストを毎回持参してください。 ◇研修にふさわしい服装で参加し、名札を着用してください。 ◇研修テキストは①回、名札は④回に研修会場で配布します。 ◇研修テキスト等を活用するなど、「校内における研修」との関連を図ってください。 ◇その他の詳細については、研修テキスト等で確認してください。 ◇大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症防止対策等でやむを得ず変更する場合は、別途通知します。								
研修に関する動画									
日程等	回	実施日時 会場（予定）	内　容		指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
	①	4月1日(木) 14:00-16:30 高等学校・中等教育学校・附属中学校： 国立オリンピック記念青少年総合センター（参宮橋） 特別支援学校：教職員研修センター（水道橋）	演習他	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育					
	② ③	4月2日(金) 9:30-16:30 高等学校・中等教育学校・附属中学校： 国立オリンピック記念青少年総合センター（参宮橋） 特別支援学校：教職員研修センター（水道橋）	演習他	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度　等					
	④	6月24日（木） 13:30-16:30 都立工芸高等学校	授業観察・協議	授業観察 「授業準備の視点」 ・危機管理 ・機材管理 ・教場の整備 ・実習助手の役割					
	⑤	7月15日（木） 13:30-16:30 都立志村学園	授業観察・協議	授業観察 「授業準備の視点」 ・危機管理 ・機材管理 ・教場の整備 ・実習助手の役割					
	⑥	9月27日（月） 13:30-16:30 都立町田工業高等学校	授業観察・協議	授業観察 「組織的な学校運営」 ・授業のねらいに即した教育活動 ・新規採用実習助手研修のまとめ					

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(3) 期限付任用教員任用時研修

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２１４３〕

研修番号	2401								
研修名	東京都公立学校　期限付任用教員（教諭）任用時研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校)								
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」（申込確認）						
ねらい	東京都公立学校の期限付任用教員(教諭)の資質の向上を目指し、教諭としての使命感、幅広い知見、実践的指導力等を得られるようにします。								
対象教員	令和３年度に都立高等学校・中等教育学校・附属中学校に任用された期限付任用教員のうち、これまでに本研修を受講していない者 ※ 詳細は実施の手引を確認してください。								
受講上の留意点	◇「火曜日コース」、「金曜日コース」に分かれて実施します。ただし、①・②・③回は両コース同時に実施します。 ◇⑦・⑧回は集合研修を中止し、代替課題の提出をもって出席と見なします。 ◇大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症防止対策等でやむを得ず変更する場合は、別途通知します。								
研修に関する動画									
日程等	回	実施日時 会場（予定）	内　容			指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
	①	4月1日(木) 14:00-16:30 国立オリンピック記念青少年総合センター（参宮橋）	演習他	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育					○
	② ③	4月2日(金) 9:30-16:30 国立オリンピック記念青少年総合センター（参宮橋）	演習他	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度　等		○	○	○	
	④	5月11日(火)・5月14日(金) 13:30-16:30 オンライン研修	演習他	・学習指導要領と教育課程 ・学習指導案の作成（単元の構想）	○				
	⑤	6月11日(金)・6月15日(火) 13:30-16:30 オンライン研修	演習他	・不登校・中退、自殺防止の取組 ・学習指導案の作成（本時案の検討）	○				○
	⑥	7月2日(金)・7月6日(火) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・授業改善のＰＤＣＡ ・自己診断 ・研究協議の進め方	○				
	⑦ ⑧	集合研修中止 オンライン研修	演習他	・後日通知	○				
	⑨	9月10日(金)・9月14日(火) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・保護者との望ましい関係の在り方 ・生活指導の充実		○	○		
	⑩	10月8日(金)・10月12日(火) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・ＩＣＴの活用・情報モラル教育 ・主体的・対話的で深い学びの実現	○			○	○
	⑪	11月12日(金)・11月16日(火) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・特別支援教育 ・個に応じた指導の充実	○				○
	⑫	1月11日(火)・1月14日(金) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・入学者選抜 ・学習評価の充実 ・1年次（初任者）研修のまとめ	○			○	

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(3) 期限付任用教員任用時研修

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２１４３〕

研修番号	2411
研修名	東京都公立学校　期限付任用教員（教諭）任用時研修(都立特別支援学校)
申込方法等	「研修受講申込受付システム」　都立　／　「別途通知」（申込確認）　区立
ねらい	東京都公立学校の期限付任用教員(教諭)の資質の向上を目指し、教諭としての使命感、幅広い知見、実践的指導力等を得られるようにします。
対象教員	・令和３年度に任用された期限付任用教員のうち、都立特別支援学校に在籍する者 ・令和３年度に都立特別支援学校に任用された期限付任用教員のうち、これまでに本研修を受講していない者 ・区立特別支援学校に在籍する者は、専門性に関わる内容の研修については、東京都教職員研修センターで実施する研修を受講することができます(受講する回については区教育委員会の通知に従ってください)。 ※詳細は実施の手引を確認してください。
受講上の留意点	◇「火曜日コース」、「金曜日コース」に分かれて実施します。ただし、①・②・③回は両コース同時に実施します。 ◇⑦・⑧回は集合研修を中止し、代替課題の提出をもって出席と見なします。 ◇大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症防止対策等でやむを得ず変更する場合は、別途通知します。
研修に関する動画	

日程等

回	実施日時 会場（予定）	内容		指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
①	4月1日(木) 14:00-16:30 教職員研修センター(水道橋)	演習他	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育					○
② ③	4月2日(金) 9:30-16:30 教職員研修センター(水道橋)	演習他	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度　等		○	○	○	
④	5月18日(火)・5月21日(金) 13:30-16:30 オンライン研修	演習他	・特別支援教育の基礎・基本 ・障害のある児童・生徒の理解					○
⑤	6月22日(火)・6月25日(金) 13:30-16:30 教職員研修センター(水道橋)	演習他	・学習指導要領の理解と学習指導案の作成 ・個別指導計画を生かした学習指導の実際	○				
⑥	7月13日(火)・7月16日(金) 13:30-16:30 教職員研修センター(水道橋)	演習他	・自己診断Ⅰ ・不登校・中退、自殺防止の取組 ・学習指導案の検討	○				○
⑦ ⑧	集合研修中止 オンライン研修	演習他	・後日通知	○				
⑨	9月24日(金)・9月28日(火) 13:30-16:30 教職員研修センター(水道橋)	演習他	・個別の教育支援計画を活用した児童・生徒の支援の充実 ・授業改善のＰＤＣＡ	○		○		
⑩	10月19日(火)・10月22日(金) 13:30-16:30 教職員研修センター(水道橋)	演習他	・特別支援学校における危機管理・対応 ・個別指導計画に基づく学習評価	○	○			○
⑪	12月3日(金)・12月7日(火) 13:30-16:30 教職員研修センター(水道橋)	演習他	・保護者・地域・関係機関との連携 ・特別支援学校における生活指導		○	○		
⑫	1月28日(金)・2月1日(火) 13:30-16:30 教職員研修センター(水道橋)	演習他	・特別支援学校における情報モラル教育とＩＣＴ活用 ・1年次研修のまとめ・自己診断Ⅱ ・特別支援教育の推進者として若手教員に期待すること	○			○	○

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(3) 期限付任用教員任用時研修

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２１４３〕

研修番号	2502
研修名	東京都公立学校　期限付任用教員（教諭）任用時研修(小・中学校特別支援学級等)
申込方法等	「研修受講申込受付システム」 ／ 「別途通知」（申込確認） ○
ねらい	東京都公立学校の期限付任用教員(教諭)の資質の向上を目指し、教諭としての使命感、幅広い知見、実践的指導力等を得られるようにします。
対象教員	令和３年度に区市町村立学校の特別支援学級等に期限付任用教員として任用された者のうち、各区市町村教育委員会が定める者 ※詳細は、各区市町村教育委員会にお問い合わせください。
受講上の留意点	◇全３回とも固定学級・通級指導学級・特別支援教室等にかかわらず合同で実施します。 ◇本研修については、各区市町村教育委員会が実施する研修の内容等に応じて、各教育委員会が東京都教育委員会に申込みます。 ◇名札（所属で使用のもの）・研修テキストを毎回持参してください。 ◇研修にふさわしい服装で参加し、名札を着用してください。 ◇研修テキストは、区市町村教育委員会を通じて配布されたものを持参してください。 ◇研修終了後、東京都教職員研修センターＷｅｂページにある様式で受講記録を作成し、所属校で指導を受け、５年間保存してください。受講記録の東京都教職員研修センターへの提出は不要ですが、区市町村教育委員会への提出は各教育委員会の指示に従ってください。 ◇研修テキスト等を活用するなど、「校内における研修」との関連を図ってください。 ◇その他の詳細については、研修テキスト等で確認してください。 ◇大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症防止対策等でやむを得ず変更する場合は、別途通知します。
研修に関する動画	

日程等	回	実施日時 会場（予定）	内容		指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
	①	6月17日(木) 13:30-16:30 オンライン研修	演習他	・障害のある児童・生徒の医療と心理 ・障害のある児童・生徒に対する教育について			○		○
	②	10月27日(水) 13:30-16:30 教職員研修センター(水道橋)	演習他	・特別支援学級の教育課程 ・特別支援学級における授業づくり	○			○	
	③	12月10日(金) 13:30-16:30 教職員研修センター(水道橋)	演習他	・個別の教育支援計画を活用した児童・生徒の支援の充実 ・授業改善のＰＤＣＡ～学習指導案の作成を通して～	○				○

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(3) 期限付任用教員任用時研修

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２１４３〕

研修番号	2421 他									
研修名	東京都公立学校　期限付任用教員（教諭）任用時研修（島しょ都立学校、小・中学校）									
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	都立	「別途通知」（申込確認）	小・中						
ねらい	東京都公立学校の期限付任用教員(教諭)の資質の向上を目指し、教諭としての使命感、幅広い知見、実践的指導力等を得られるようにします。									
対象教員	令和３年度に島しょ地区の都立学校、公立小・中学校に任用された期限付任用教員のうち、これまでに本研修を受講していない者									
受講上の留意点	◇研修テキストは初回の参加時、名札は都立④回小・中①回に研修会場で配布します。 ※都立①②③⑧⑨⑩回は都立学校の受講者のみ参加となります。 ※都立学校においては、下記 10 回の研修のほか、島しょでの研究会等を２回受講してください。 ※小笠原を除く小・中学校においては、下記４回の研修のほか、各出張所が実施する「教育センターにおける研修」を６回以上受講してください。 ◇大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症防止対策等でやむを得ず変更する場合は、別途通知します。									
研修に関する動画										

日程等	回		実施日時 会場（予定）		内　容		指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
	都立①	－	４月１日（木） 14:00-16:30 高等学校・中等教育学校・附属中学校： 国立オリンピック記念青少年総合センター（参宮橋） 特別支援学校：教職員研修センター（水道橋）	演習他	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育						○
	都立②③	－	４月２日（金） ９：30-16:30 高等学校・中等教育学校・附属中学校： 国立オリンピック記念青少年総合センター（参宮橋） 特別支援学校：教職員研修センター（水道橋）	演習他	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度　等			○	○	○	
	都立④⑤	小・中①②	８月 19 日（木） 9:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・学習指導要領と教育課程 ・学習指導案の作成 ・授業改善の PDCA ・研究協議の進め方		○				
	都立⑥⑦	④小・中③	８月 20 日（金） 9:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・保護者との望ましい関係の在り方 ・生活指導の充実 ・特別支援教育 ・個に応じた指導の充実			○	○		○
	都立⑧⑨	－	高等学校等　８月 25 日（水） 9:30-16:30 未定 特別支援学校　７月 27 日（火） ７月 28 日（水） 9:30-16:30 未定	演習他	・模擬授業、協議　等 ・模擬授業、協議　等 ＊いずれか指定された日程（1日）を受講する。		○				
	都立⑩	－	高等学校等　１月 11 日（火） １月 14 日（金） 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋） 特別支援学校　１月 28 日（金） ２月　１日（火） 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・入学者選抜 ・学習評価の充実 ・１年次（初任者）研修のまとめ ＊いずれか指定された日程（1日）を受講する。 ・特別支援学校における情報モラル教育とICT活用 ・１年次研修のまとめ・自己診断Ⅱ ＊いずれか指定された日程（1日）を受講する。		○			○	

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(3) 期限付任用教員任用時研修

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２１４３〕

研修番号	2431								
研修名	東京都公立学校　期限付任用教員（養護教諭）任用時研修（都立学校）								
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」（申込確認）						
ねらい	東京都公立学校の新規採用養護教諭に対して、養護教諭の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得ることができるようにする。								
対象教員	令和３年度に都立学校に任用された期限付任用教員(養護教諭)のうち、これまでに本研修を受講していない者								
受講上の留意点	◇研修テキストは①回、名札は④回に研修会場で配布します。 ◇①②③回は高等学校・中等教育学校・附属中学校籍の受講者は国立オリンピック記念青少年総合センター（参宮橋）、特別支援学校籍の受講者は教職員研修センター（水道橋）で受講します。 ◇大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症防止対策等でやむを得ず変更する場合は、別途通知します。								
研修に関する動画									

日程等 回	実施日時 会場（予定）	内容		指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
①	４月１日(木) 14:00-16:30 高等学校・中等教育学校・附属中学校：国立オリンピック記念青少年総合センター（参宮橋） 特別支援学校：教職員研修センター（水道橋）	演習他	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育					○
② ③	４月２日(金) ９：30-16:30 高等学校・中等教育学校・附属中学校：国立オリンピック記念青少年総合センター（参宮橋） 特別支援学校：教職員研修センター（水道橋）	演習他	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度　等		○	○	○	
④ ⑤	５月 17 日(月) 9:30-16:30 オンライン研修	演習他	・研修ガイダンス ・新規採用養護教諭に求められること ・定期健康診断と学校保健事務 ・普通救命講習	○			○	○
⑥	５月 31 日(月) 13:30-16:30 オンライン研修	演習他	・学習指導案の立案と授業の実際 ・ICT の活用 ・アレルギー疾患への対応	○				○
⑦	７月５日(月) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・救急処置の理論と実際 ・保健教育の充実、学習指導要領の理解	○				○
⑧ ⑨	８月 18 日(水) 9:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・模擬授業の発表 ・保健室経営の充実	○			○	
⑩	９月 16 日(木) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・健康相談の理論と実際（いじめ・虐待の予防及び対応を含む） ・健康上配慮を要する児童・生徒への関わり（不登校への対応含む）	○	○	○		○
⑪	10 月 20 日(水) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・障害のある児童・生徒との関わり及び関係機関との連携 ・保護者とのよりよい関係のつくり方			○		○
⑫	12 月１日（水） 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・学校保健計画の作成と活用 ・新規採用養護教諭研修のまとめ				○	

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力、保健管理に関する力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(3) 期限付任用教員任用時研修

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２１４３〕

研修番号	2432 他									
研修名	東京都公立学校　期限付任用教員（養護教諭）任用時研修（島しょ小・中・高）									
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	都立	「別途通知」（申込確認）	公立						
ねらい	東京都公立学校の新規採用養護教諭に対して、養護教諭の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得ることができるようにする。									
対象教員	令和３年度に島しょ地区の東京都公立小学校・中学校・高等学校に任用された期限付任用教員(養護教諭)のうち、これまでに本研修を受講していない者									
受講上の留意点	◇公立小学校・中学校に在籍する者は名札、研修テキストは①回に研修会場で配布します。 ◇都立高等学校に在籍する者は研修テキストは①回、名札は④回に研修会場で配布します。 ◇大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症防止対策等でやむを得ず変更する場合は、別途通知します。									
研修に関する動画										

日程等	回		実施日時 会場（予定）	内容		指標との関連				
						学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
	島しょ都立①	―	４月１日(木) 14:00-16:30 国立オリンピック記念青少年総合センター（参宮橋）	演習他	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育					○
	島しょ都立②③	―	４月２日(金) ９：30-16:30 国立オリンピック記念青少年総合センター（参宮橋）	演習他	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度　等		○	○	○	
	島しょ都立④⑤	島しょ公立①②	５月 17 日(月) 9:30-16:30 オンライン研修	演習他	・研修ガイダンス ・新規採用養護教諭に求められること ・定期健康診断と学校保健事務 ・普通救命講習	○			○	○
	島しょ都立⑥	島しょ公立③	８月 16 日(月) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・保健教育の充実、学習指導要領の理解（ICTの活用を含む） ・学習指導案の立案 ・アレルギー疾患への対応	○				○
	島しょ都立⑦⑧	島しょ公立④⑤	８月 17 日(火) 9:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・健康相談の理論と実際（いじめ・虐待の予防及び対応、不登校を含む） ・配慮を要する児童・生徒への関わり（障害のある児童・生徒との関わりを含む） ・学校保健計画の作成・活用 ・救急処置の理論と実際	○	○	○	○	○
	島しょ都立⑨⑩	島しょ公立⑥⑦	８月 18 日(水) 9:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・模擬授業の発表 ・保健室経営の充実	○			○	

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力、保健管理に関する力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(3) 期限付任用教員任用時研修

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２１４３〕

研修番号	2512								
研修名	東京都公立学校　期限付任用教員（養護教諭）任用時研修（小・中学校）								
申込方法等	「マイ・キャリア・ノート」		「別途通知」（申込確認）	○					
ねらい	東京都公立学校の新規採用養護教諭に対して、養護教諭の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得ることができるようにする。								
対象教員	令和３年度に島しょ地区以外の東京都公立小・中学校に任用された期限付任用教員(養護教諭)のうち、これまでに本研修を受講していない者								
受講上の留意点	◇研修テキスト、名札は①回に研修会場で配布します。 ◇大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症防止対策等でやむを得ず変更する場合は、別途通知します。								
研修に関する動画									
日程等	回	実施日時 会場（予定）	内　容			指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
	① ②	５月 17 日(月) 9:30-16:30 オンライン研修	演習他	・研修ガイダンス ・新規採用養護教諭に求められること ・定期健康診断と学校保健事務 ・普通救命講習		○			○	○
	③	５月 31 日(月) 13:30-16:30 オンライン研修	演習他	・学習指導案の立案と授業の実際 ・ICT の活用 ・アレルギー疾患への対応		○				○
	④	７月５日(月) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・救急処置の理論と実際 ・保健教育の充実、学習指導要領の理解		○				○
	⑤ ⑥	８月 18 日(水) 9:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・模擬授業の発表 ・保健室経営の充実		○			○	
	⑦	９月 16 日(木) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・健康相談の理論と実際（いじめ・虐待の予防及び対応を含む） ・健康上配慮を要する児童・生徒への関わり（不登校への対応含む）		○	○	○		○
	⑧	10 月 20 日(水) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・障害のある児童・生徒との関わり及び関係機関との連携 ・保護者とのよりよい関係のつくり方				○		○
	⑨	12 月１日(水) 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・学校保健計画の作成と活用 ・新規採用養護教諭研修のまとめ					○	

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力、保健管理に関する力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２２２６〕

研修番号	2201			
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ			
研修タイトル	教育法規等			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」（申込確認）	
ねらい	１年間の研修について見通しをもち、教育法規を法体系の中で確認し、法的側面から教育活動を実践するための認識を高めるとともに、東京都の教育課題について理解を深めます。			
対象教員	高・特			
受講上の留意点	◇４会場の中から１会場を選び、受講してください。 ◇「テキスト」を持参してください。 ※区市町村立学校教員については、区市町村教育委員会に確認してください。			

	回	実施日時 会場（予定）	内　容		指標との関連				
					学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
日程等	①	動画配信	演習	・研修概要の把握 ・教育法規の理解					○
			他	・東京都の教育課題					
	①	動画配信	演習	・研修概要の把握 ・教育法規の理解					○
			他	・東京都の教育課題					
	①	動画配信	演習	・研修概要の把握 ・教育法規の理解					○
			他	・東京都の教育課題					
	①	動画配信	演習	・研修概要の把握 ・教育法規の理解					○
			他	・東京都の教育課題					

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２２２６〕

研修番号	2211			
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ			
研修タイトル	人権教育等			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」（申込確認）	
ねらい	人権教育に関する基本的な考え方及び東京都の教育課題について理解を深めます。			
対象教員	高・特			
受講上の留意点	◇４会場の中から１会場を選び、受講してください。 ◇「テキスト」及び「人権教育プログラム」を持参してください。 ※区市町村立学校教員については、区市町村教育委員会に確認してください。			

	回	実施日時 会場（予定）	内　容		指標との関連				
					学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
日程等	①	動画配信	演習他	・人権教育の推進 ・東京都の教育課題					○
	①	動画配信	演習他	・人権教育の推進 ・東京都の教育課題					○
	①	動画配信	演習他	・人権教育の推進 ・東京都の教育課題					○
	①	動画配信	演習他	・人権教育の推進 ・東京都の教育課題					○

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２２２６〕

研修番号	2221			
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ			
研修タイトル	服務等			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」（申込確認）	
ねらい	教職員の服務に関する法令、服務の厳正、セクシュアル・ハラスメントや体罰等の服務事故の防止及び東京都の教育課題について理解を深めます。			
対象教員	高・特			
受講上の留意点	◇４会場の中から１会場を選び、受講してください。 ◇「テキスト」を持参してください。 ※区市町村立学校教員については、区市町村教育委員会に確認してください。			

日程等	回	実施日時 会場（予定）	内　容		指標との関連				
					学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
	①	動画配信	演習他	・教育公務員の使命と職責 ・関係法令の理解、服務の厳正と服務事故の防止 ・東京都の教育課題					○
	①	動画配信	演習他	・教育公務員の使命と職責 ・関係法令の理解、服務の厳正と服務事故の防止 ・東京都の教育課題					○
	①	動画配信	演習他	・教育公務員の使命と職責 ・関係法令の理解、服務の厳正と服務事故の防止 ・東京都の教育課題					○
	①	動画配信	演習他	・教育公務員の使命と職責 ・関係法令の理解、服務の厳正と服務事故の防止 ・東京都の教育課題					○

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２２２６〕

研修番号	2231			
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ			
研修タイトル	授業研究			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」（申込確認）	
ねらい	授業研究を通して授業力の向上を図るとともに、中堅教員としての若手教員への助言・支援等に生かす力を高めます。			
対象教員	高・特			
受講上の留意点	◇「テキスト」を持参してください。 ※区市町村立学校教員については、区市町村教育委員会に確認してください。			

	回	実施日時 会場（予定）	内　容		指標との関連				
					学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
日程等	①	高：Web 会議 6 月 23 日（水） 特：Web 会議 6 月 25 日（金）	演習他	・授業研究の進め方 ・学習指導案の作成 ・授業力の 6 要素の理解	○				
	②	高：Web 会議 10 月 4 日（月）又は Web 会議 10 月 6 日（水） 特：Web 会議 9 月 17 日（金）又は Web 会議 9 月 22 日（水）	演習他	・研究授業の参観 ・授業分析と付箋を活用した研究協議 ・授業改善の具体策	○				
	③	高：Web 会議 11 月 4 日（木）又は Web 会議 11 月 10 日（水） 特：Web 会議 10 月 28 日（木）又は Web 会議 11 月 1 日（月）	演習他	・研究授業の参観 ・授業分析と付箋を活用した研究協議 ・授業改善の具体策	○				
	④	高：Web 会議 11 月 29 日（月） 特：Web 会議 11 月 25 日（木）	協議他	・授業力向上の実践等 ・若手教員への助言・支援の在り方	○				

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２２２６〕

研修番号	2234 他			
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ			
研修タイトル	授業研究（島しょ都立）			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」（申込確認）	
ねらい	授業研究を通して授業力の向上を図るとともに、中堅教員としての若手教員への助言・支援等に生かす力を高めます。			
対象教員	島しょ高			
受講上の留意点	◇「テキスト」を持参してください。			

日程等	回	実施日時 会場（予定）	内容		指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
	① ②	8月16日（月） 9:30-12:30 13:30-16:30 教職員研修センター （水道橋）	演習他	・授業力の６要素の理解 ・OJT による授業改善 ・学習指導案の作成 ・発達障害の理解と学習指導 ・模擬授業 ・授業分析 ・付箋を活用した研究協議 ・授業改善の具体策	○				
	③ ④	8月17日（火） 9:30-12:30 13:30-16:30 教職員研修センター （水道橋）	演習他	・模擬授業 ・授業分析 ・付箋を活用した研究協議 ・授業改善の具体策 ・学習指導案の修正 ・改善模擬授業 ・更なる改善策の検討	○				

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２２２６〕

研修番号	2241 他			
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ			
研修タイトル	課題別選択研修			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」（申込確認）	○
ねらい	企業等での見学や講義、体験活動から経営理念に基づいた経営戦略、顧客対応、ボランティアマインド、組織の中堅として果たすべき役割等を学び、校務運営や授業改善に生せるようにします。			
対象教員	高・特・島しょ（島しょ地区は在勤地での研修実施が可能）			
受講上の留意点	＊　ボランティア活動・異校種参観等について 研修計画書に基づき校長が認めた活動や参観等を単位として認定します。 ＜研修会場の決定について＞ ◇決定通知にて会場を確認してください。 ◇決定された研修会場を変更することはできません。 ＜研修前の準備＞ ◇７月に通知される研修プログラムより、集合時刻、集合場所、研修内容等を確認し、時間に十分な余裕をもって受講してください。また、研修プログラムは教職員研修センターWebページに掲載する予定です。 ◇事前に、受講する企業等の Ｗｅｂページなどを確認してください。 ◇企業等の概要を把握し、学びたい内容などを明確にし、課題意識をもって研修に臨んでください。 ＜研修中の心構え＞ ◇教職公務員としての服務の遵守に加え、受け入れ企業等の就業規則・社内規定などを遵守してください。 ＜その他＞ ◇研修について不明な点等がある場合は、企業等に直接連絡せず、教職員研修センター授業力向上課にお問合わせください。 ※区市町村立学校教員については区市町村教育委員会に確認してください。			

	回	実施日時 会場（予定）	内　容		指標との関連				
					学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
日程等	① ～ ⑥	主に７月～８月 企業　等	実習体験・協議他	・研修概要の把握 ・企業理念、業界の動向 ・コンプライアンス ・社会貢献活動 ・実習体験　等 ＊ボランティア活動 ＊異校種参観等	○		○	○	

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２２２６〕

研修番号	2251			
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ			
研修タイトル	事例研究			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」（申込確認）	
ねらい	生活指導･進路指導に関わる事例の検討･協議等により、組織的な対応について理解を深め、課題解決の能力を高めます。			
対象教員	高・特			
受講上の留意点	◇４会場の中から１会場を選び、受講してください。 ◇「テキスト」を持参してください。 ※区市町村立学校教員については、区市町村教育委員会に確認してください。			

	回	実施日時 会場（予定）	内　容		指標との関連				
					学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
日程等	①	高：　Web 会議 10 月 13 日（水）	演習他	・生活指導に関する事例研究 ・進路指導に関する事例研究		○			
	①	特：　Web 会議 10 月 14 日（木）	演習他	・生活指導に関する事例研究 ・進路指導に関する事例研究		○			
	①	高：　Web 会議 10 月 18 日（月）	演習他	・生活指導に関する事例研究 ・進路指導に関する事例研究		○			
	①	特：　Web 会議 10 月 20 日（水）	演習他	・生活指導に関する事例研究 ・進路指導に関する事例研究		○			

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２２２６〕

研修番号	2261			
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ			
研修タイトル	学習指導向上研修			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」（申込確認）	
ねらい	講義、演習、協議、研究授業等を通して、学習指導案の作成や学習指導の工夫・改善等について理解を深め、指導技術の向上を図ります。			
対象教員	高・特の「学習指導」がｉ段階の者			
受講上の留意点	◇「テキスト」を持参してください。			

	回	実施日時 会場（予定）	内　容		指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
日程等	①	６月 18 日（金） 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	講義・演習等	・授業力の６要素の理解 ・学習指導案の作成 ・模擬授業 ・改善策の検討	○				
	② ③	８月　５日（木） 9:30-12:30 13:30-16:30 都立多摩図書館（西国分寺）	講義・演習等	・授業力の６要素の理解 ・学習指導案の作成 ・模擬授業 ・改善策の検討	○				
	④	９月～１２月 午前　又は　午後 受講者 所属校	授業研究等	・①～③に基づいた所属校 における研究授業の実施 ・更なる改善策の検討	○				

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２２２６〕

研修番号	2262			
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ			
研修タイトル	生活指導等向上研修			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」（申込確認）	
ねらい	児童･生徒理解に基づいた生活指導･進路指導について、講義や演習、事例研究等を通して、基礎的な内容･方法等の理解を深め、指導技術の向上を図ります。			
対象教員	高・特の「生活指導」がｉ段階の者			
受講上の留意点	◇「テキスト」を持参してください。			

日程等	回	実施日時 会場（予定）	内容		指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
	① ②	7月28日（水） 9:30-12:30 13:30-16:30 都立多摩図書館（西国分寺）	演習他	・生活指導・進路指導の事例研究 ・グループ協議と発表 ・コミュニケーションの在り方 ・ロールプレイングの手法を用いた児童・生徒理解		○			
	③ ④	7月29日（木） 9:30-12:30 13:30-16:30 都立多摩図書館（西国分寺）	演習他	・生活指導・進路指導の事例研究 ・グループ協議と発表 ・コミュニケーションの在り方 ・ロールプレイングの手法を用いた児童・生徒理解		○			

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２２２６〕

研修番号	2671			
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ			
研修タイトル	幼稚園運営			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」（申込確認）	
ねらい	事例研究等を通して、幼稚園運営の在り方について理解を深めます。			
対象教員	幼			
受講上の留意点	◇「テキスト」、「就学前教育カリキュラム改訂版ハンドブック」を持参してください。			

	回	実施日時 会場（予定）	内　容		指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
日程等	① ②	8月19日（木） 9:30-12:30 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・事例の個人研究 ・グループ協議と発表 ・幼稚園教育の現状と課題					

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２２２６〕

研修番号	2672			
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ			
研修タイトル	保育内容			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」（申込確認）	
ねらい	保育指導案作成、保育研究等を通して、指導方法の改善を図ります。			
対象教員	幼			
受講上の留意点	◇「テキスト」､「就学前教育カリキュラム改訂版ハンドブック」を持参してください。			

	回	実施日時 会場（予定）	内　容		指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
日程等	①	6月21日（月） 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・保育指導案の作成と指導方法の改善					
	② ③	9月～11月 全日 園会場 （未定）	保育研究・協議	・研究保育の観察と記録 ・改善策の検討					

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２２２６〕

研修番号	2281			
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ			
研修タイトル	保健室経営			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」（申込確認）	
ねらい	養護教諭としての専門性を高めるとともに、児童･生徒の心身の健康に関する相談活動についての理解を深めます。			
対象教員	高・特の養護教諭			
受講上の留意点	◇「テキスト」を持参してください。			

日程等	回	実施日時 会場（予定）	内容		指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
	① ②	8月23日（月） 9:30-12:30 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・健康課題に対する理解と対策				○	

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２２２６〕

研修番号	2291			
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ			
研修タイトル	食に関する指導等			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」（申込確認）	
ねらい	栄養教諭としての専門性を高めるとともに、食に関する指導等の一層の向上を図ります。			
対象教員	高・特の栄養教諭			
受講上の留意点	◇「テキスト」を持参してください。			

日程等	回	実施日時 会場（予定）	内容		指標との関連				
					学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
	① ②	7月30日（金） 9:30-12:30 13:30-16:30 都立多摩図書館（西国分寺）	演習他	・健康課題に対する理解と対策				○	

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅱ

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２２２６〕

研修番号	2301 他			
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅱ			
研修タイトル	中堅教諭等資質向上研修Ⅱ			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」	○	「別途通知」（申込確認）	
ねらい	中堅教諭等として必要とされる専門知識や幅広い教養、学校運営に参画するための企画立案能力、教育課題への対応力等を身に付けます。			
対象教員	教職経験 21・22・23 年目のいずれかに該当する小・中・高・特の主任教諭及び教諭並びに主任養護教諭及び養護教諭			
受講上の留意点	◇①から１単位、②から１単位選択し、合計２単位受講してください。			

日程等	回	実施日時 会場（予定）	内　容		指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
	①	未定　後日通知	演習他	・東京都の教育課題と解決策 ・若手教員等への助言・支援					○
	①	未定　後日通知	演習他	・東京都の教育課題と解決策 ・若手教員等への助言・支援					○
	①	未定　後日通知	演習他	・東京都の教育課題と解決策 ・若手教員等への助言・支援					○
	②	未定　後日通知	演習他	・東京都の教育課題と解決策 ・若手教員等への助言・支援					○
	②	未定　後日通知	演習他	・東京都の教育課題と解決策 ・若手教員等への助言・支援					○
	②	未定　後日通知	演習他	・東京都の教育課題と解決策 ・若手教員等への助言・支援					○

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２２２６〕

研修番号	2661			
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ			
研修タイトル	学習指導向上研修			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（申込確認）	○
ねらい	講義、演習、協議、研究授業等を通して、学習指導案の作成や学習指導の工夫・改善等について理解を深め、指導技術の向上を図ります。			
対象教員	小・中の「学習指導」がｉ段階の者			
受講上の留意点	◇「テキスト」を持参してください。			

	回	実施日時 会場（予定）	内　容		指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
日程等	①	６月 18 日（金） 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	講義・演習等	・授業力の６要素の理解 ・学習指導案の作成 ・模擬授業 ・改善策の検討	○				
	② ③	８月　５日（木） 9:30-12:30 13:30-16:30 都立多摩図書館（西国分寺）	講義・演習等	・授業力の６要素の理解 ・学習指導案の作成 ・模擬授業 ・改善策の検討	○				
	④	９月～１２月 午前　又は　午後 受講者 所属校	授業研究等	・①～③に基づいた所属校 における研究授業の実施 ・更なる改善策の検討	○				

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２２２６〕

研修番号	2662			
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ			
研修タイトル	生活指導等向上研修			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（申込確認）	○
ねらい	児童･生徒理解に基づいた生活指導･進路指導について、講義や演習、事例研究等を通して、基礎的な内容･方法等の理解を深め、指導技術の向上を図ります。			
対象教員	小・中の「生活指導」がｉ段階の者			
受講上の留意点	◇「テキスト」を持参してください。			

	回	実施日時 会場（予定）	内　容		指標との関連				
					学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
日程等	① ②	7月28日（水） 9:30-12:30 13:30-16:30 都立多摩図書館（西国分寺）	演習他	・生活指導・進路指導の事例研究 ・グループ協議と発表 ・コミュニケーションの在り方 ・ロールプレイングの手法を用いた児童・生徒理解		○			
	③ ④	7月29日（木） 9:30-12:30 13:30-16:30 都立多摩図書館（西国分寺）	演習他	・生活指導・進路指導の事例研究 ・グループ協議と発表 ・コミュニケーションの在り方 ・ロールプレイングの手法を用いた児童・生徒理解		○			

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２２２６〕

研修番号	2681			
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ			
研修タイトル	保健室経営			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（申込確認）	○
ねらい	養護教諭としての専門性を高めるとともに、児童･生徒の心身の健康に関する相談活動についての理解を深めます。			
対象教員	小・中の養護教諭			
受講上の留意点	◇「テキスト」を持参してください。			

日程等	回	実施日時 会場（予定）	内容		指標との関連 学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
	① ②	8月23日（月） 9:30-12:30 13:30-16:30 教職員研修センター（水道橋）	演習他	・健康課題に対する理解と対策				○	

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

(4) 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅱ

〔担当課：授業力向上課０３－５８０２－２２２６〕

研修番号	2691			
研修名	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ			
研修タイトル	食に関する指導等			
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（申込確認）	○
ねらい	栄養教諭としての専門性を高めるとともに、食に関する指導等の一層の向上を図ります。			
対象教員	小・中の栄養教諭			
受講上の留意点	◇「テキスト」を持参してください。			

	回	実施日時 会場（予定）	内　容		指標との関連				
					学習指導	生活進路	外部連携	学校運営	教育課題
日程等	① ②	7月30日（金） 9:30-12:30 13:30-16:30 都立多摩図書館（西国分寺）	演習他	・健康課題に対する理解と対策				○	

＊指標との関連＊教員が身に付けるべき力

1…学習指導力　2…生活指導力・進路指導力　3…外部との連携・折衝力　4…学校運営力・組織貢献力　5…教育課題に関する対応力

リーダー養成研修

１　受講対象者

各講座のねらいに沿って、本人の希望を受けた管理職の推薦により申込をします。

２　各講座

研修等名	担当課	電話番号	申込等
特別支援教育リーダー養成研修	専門教育向上課	03-5802-0296	専門性向上研修と同様
独立行政法人教職員支援機構等派遣研修	企画課	03-5802-0268	別途、担当課から所属長宛てに通知
大学院派遣研修	教育開発課（大学院派遣担当）	03-5802-0307	
東京都教員研究生	教育開発課（東京都教員研究生担当）	03-5802-0319	
東京教師道場	授業力向上課	03-5802-2236	

(1)特別支援教育リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="3">研修番号</td><td>3001</td><td>研修名</td><td colspan="5">特別支援教育コーディネーターＡ</td></tr>
<tr><td colspan="3">研修タイトル</td><td colspan="6">特別支援教育コーディネーターＡ
－ベーシックコース－</td></tr>
<tr><td colspan="3">ねらい</td><td colspan="6">特別支援教育コーディネーターとして指名された教員が、特別支援教育に関する知識及び課題解決の手法を身に付け、ニーズに応じた具体的な支援策を実行できる能力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="3">対象校種・定員</td><td colspan="6">幼・小・中・高　　100名まで</td></tr>
<tr><td colspan="3">対象教員</td><td colspan="6">特別支援教育コーディネーターの経験が２年以下で基礎・基本を身に付けたい教員（都立高等学校の教員で特別支援教育コーディネーターに新規に指名された者は、必ず受講申込みをすること。）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td colspan="2" rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="3">講師</td><td colspan="6">講師は、
①独立行政法人国立特別支援教育総合研究所の主任研究員
②帝京大学大学院教職研究科の藤井靖史教授
③東京学芸大学の奥住秀之教授を予定</td></tr>
<tr><td colspan="3">特色</td><td colspan="6">◇特別支援教育コーディネーターの役割について理解を深める研修
◇特別支援教育コーディネーターに必要な基本的な内容を学ぶ研修</td></tr>
<tr><td colspan="3">研修に関する動画</td><td colspan="6">参考：５-（８）、５-(31)</td></tr>
<tr><td colspan="3">持ち物・事前課題等</td><td colspan="6">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・第３回は、「発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する教育支援体制整備ガイドライン～発達障害等の可能性の段階から、教育的ニーズに気付き、支え、つなぐために～」（平成29年３月文部科学省）を印刷して、持参</td></tr>
<tr><td rowspan="6">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">6月18日(金)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="3">ルネこだいら（小平）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習他</td><td colspan="5">○特別支援教育コーディネーターの役割</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">7月7日(水)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="3">ルネこだいら（小平）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義</td><td colspan="5">○障害の医学的理解</td></tr>
<tr><td rowspan="2">③</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2"><s>9月10日(金)</s>
9月21日(火)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="3"><s>教職員研修センター</s>
ルネこだいら（小平）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習他</td><td colspan="5">○校内支援体制整備ガイドライン</td></tr>
</table>

(1)特別支援教育リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>3002</td><td>研修名</td><td colspan="3">特別支援教育コーディネーターＢ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">特別支援教育コーディネーターＢ
－スキルアップコース－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">特別支援教育コーディネーターの経験を積んだ教員のスキルアップを図り、関係機関と連携して地域や学校において児童・生徒を支援する技術の習得を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">特別支援教育コーディネーターの経験が３年以上の教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、
①国立精神・神経医療研究センター病院の中川栄二特命副院長
②目白大学の後藤多可志准教授
③星槎大学の藤堂栄子特任教授を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇第１回については、特別支援教育コーディネーターＣと合同開催
◇関係機関等と連携した支援の技術の習得を図る研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-(８)、５-(31)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>6月23日(水)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">ルネこだいら（小平）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義</td><td colspan="4">○障害の医学的理解</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>8月17日(火)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習他</td><td colspan="4">○発達性読み書き障害のアセスメント結果に基づく支援方法の検討</td></tr>
<tr><td rowspan="2">③</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>9月21日(火)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習他</td><td colspan="4">○特別支援教育コーディネーターへの期待</td></tr>
</table>

(1)特別支援教育リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="3">研修番号</td><td>3003</td><td>研修名</td><td colspan="5">特別支援教育コーディネーターＣ</td></tr>
<tr><td colspan="3">研修タイトル</td><td colspan="7">特別支援教育コーディネーターＣ
－特別支援学校における特別支援教育コーディネーターの役割－</td></tr>
<tr><td colspan="3">ねらい</td><td colspan="7">特別支援教育コーディネーターとして指名された教員が、地域における特別支援教育のセンターとして、各学校等の要請に応じて、特別な支援を必要とする児童・生徒等への必要な助言又は援助を行うことができる技術の習得を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="3">対象校種・定員</td><td colspan="7">特　　50名まで（小・中・高）</td></tr>
<tr><td colspan="3">対象教員</td><td colspan="7">特別支援学校の特別支援教育コーディネーターで、センター的機能の充実を図りたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td></td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">基礎形成期【Ⅰ】　伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="3">講師</td><td colspan="7">講師は、
①国立精神・神経医療研究センター病院の中川栄二特命副院長
②教育庁指導部統括指導主事
　目白大学の後藤多可志准教授
③都立学校教育部指導主事を予定</td></tr>
<tr><td colspan="3">特色</td><td colspan="7">◇第１回については、特別支援教育コーディネーターＢと合同開催
◇特別支援学校のセンター的機能について理解を深める研修</td></tr>
<tr><td colspan="3">研修に関する動画</td><td colspan="7">参考：５-(８)、５-(31)</td></tr>
<tr><td colspan="3">持ち物・事前課題等</td><td colspan="7">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">6月23日(水)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="3">ルネこだいら（小平）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義</td><td colspan="5">○障害の医学的理解</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">8月20日(金)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="3">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習他</td><td colspan="5">○特別支援学校における特別支援教育コーディネーターの役割
○言語発達障害のアセスメント結果に基づく支援方法の検討</td></tr>
<tr><td rowspan="2">③</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">9月30日(木)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="3">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習他</td><td colspan="5">○特別支援学校のセンター的機能</td></tr>
</table>

(1)特別支援教育リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="3">研修番号</td><td>3011</td><td>研修名</td><td colspan="3">特別支援教室
担当教員養成講座</td></tr>
<tr><td colspan="3">研修タイトル</td><td colspan="5">はじめての特別支援教室
－ベーシックコース－</td></tr>
<tr><td colspan="3">ねらい</td><td colspan="5">特別支援教室の担当教員が、指導に生かせる基礎・基本及び課題解決の手法を身に付け、ニーズに応じた具体的な支援策を実行できる能力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="3">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="3">対象教員</td><td colspan="5">特別支援教室での指導経験が２年以下で基礎・基本を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td colspan="2" rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="3">講師</td><td colspan="5">講師は、
①指導部指導主事
②群馬大学の霜田浩信教授
③独立行政法人国立特別支援教育総合研究所の主任研究員を予定</td></tr>
<tr><td colspan="3">特色</td><td colspan="5">◇特別支援教室における指導の基礎・基本を学ぶ研修
◇小グループの協議を取り入れた研修</td></tr>
<tr><td colspan="3">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-(７)、５-(８)、５-(31)</td></tr>
<tr><td colspan="3">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・第３回は、「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説　自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）」（平成30年３月　文部科学省）を持参</td></tr>
<tr><td rowspan="6">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">6月23日(水)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習他</td><td colspan="4">○特別支援教室の教育課程の基礎</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">7月6日(火)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習他</td><td colspan="4">○発達障害の基礎</td></tr>
<tr><td rowspan="2">③</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">9月16日(木)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">都立多摩図書館（西国分寺）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習他</td><td colspan="4">○自立活動と個別指導計画の作成</td></tr>
</table>

(1)特別支援教育リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="3">研修番号</td><td>3012</td><td>研修名</td><td colspan="3">特別支援学級
担当教員養成講座</td></tr>
<tr><td colspan="3">研修タイトル</td><td colspan="5">はじめての特別支援学級
－ベーシックコース－</td></tr>
<tr><td colspan="3">ねらい</td><td colspan="5">特別支援学級の担当教員が、指導に生かせる基礎・基本及び課題解決の手法を身に付け、ニーズに応じた具体的な支援策を実行できる能力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="3">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="3">対象教員</td><td colspan="5">特別支援学級での指導経験が２年以下で基礎・基本を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td colspan="2" rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td colspan="2">基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td colspan="2">○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="3">講師</td><td colspan="5">講師は
①教育庁指導部統括指導主事
②独立行政法人国立特別支援教育総合研究所の主任研究員
③東京学芸大学の奥住秀之教授を予定</td></tr>
<tr><td colspan="3">特色</td><td colspan="5">◇特別支援学級（知的障害）における指導の基礎・基本を学ぶ研修
◇小グループの協議を取り入れた研修</td></tr>
<tr><td colspan="3">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-(８)、５-(31)</td></tr>
<tr><td colspan="3">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>6月21日(月)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="3">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習他</td><td colspan="5">○特別支援学級の教育課程の基礎</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td><s>8月23日(月)</s>
8月16日(月)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="3"><s>都立多摩図書館（西国分寺）</s>
教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習他</td><td colspan="5">○知的障害の理解</td></tr>
<tr><td rowspan="2">③</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td><s>9月21日(火)</s>
9月10日(金)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="3"><s>ルネこだいら（小平）</s>
教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習他</td><td colspan="5">○学校生活支援シートと個別指導計画の作成</td></tr>
</table>

(2)独立行政法人教職員支援機構等派遣研修

〔担当課：企画課０３－５８０２－０２６８〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td colspan="11">3101</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修名</td><td colspan="11">派遣研修（研究所等）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="11">独立行政法人教職員支援機構　教職員等中央研修（校長研修）</td></tr>
<tr><td colspan="2">申込方法等</td><td colspan="3">「研修受講申込受付システム」</td><td></td><td colspan="4">「別途通知」（推薦）</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="11">校長等が、教育改革の最新動向や適切な学校運営、学校組織マネジメント等の重要課題に関する高度な知識等を習得し、今後の職務に生かすとともに、研修成果を東京都の学校教育に活用します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種</td><td colspan="11">小・中・高・特</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="11">校長</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td>職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任</td><td>指導</td><td>主幹</td><td>管候補</td><td colspan="3">副校長</td><td colspan="2">校長</td></tr>
<tr><td></td><td>基礎形成期</td><td>伸長期</td><td>充実期</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3"></td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>（教諭・主任教諭・指導教諭・主幹教諭）教員が身に付けるべき力</td><td>学習指導</td><td>生活指導進路指導</td><td>連携折衝</td><td>学校運営組織貢献</td><td>教育課題対応</td><td>学校経営</td><td>外部折衝</td><td>人材育成</td><td>高い見識</td><td>教育課題対応</td></tr>
<tr><td>（管候補・副校長・校長）学校マネジメント能力</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="11">・文部科学省の講師から、直接、教育施策や法規などの最新の情報を手に入れることができます。
・グループ演習などワークショップ型の演習を多く取り入れ、参加型の研修を行います。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修内容</td><td colspan="11">・教育施策の諸動向　・学校組織マネジメント
・カリキュラム・マネジメント　・スタッフ・マネジメント
・コミュニティ・マネジメント　・学校マネジメントプランの設計
・リスク・タイムマネジメント　・タイムマネジメント
・学校改善プランの設計 等</td></tr>
<tr><td rowspan="5">日程等</td><td>区分</td><td colspan="4">実施日時</td><td colspan="2">会場（予定）</td><td colspan="4">内容</td></tr>
<tr><td>小</td><td colspan="4">6月14日(月)～6月18日（金）</td><td colspan="2">つくば市</td><td colspan="4">※</td></tr>
<tr><td>中</td><td colspan="4">9月6日(月)～9月10日（金）</td><td colspan="2">つくば市</td><td colspan="4">※</td></tr>
<tr><td>高・特</td><td colspan="4">7月5日(月)～7月9日（金</td><td colspan="2">つくば市</td><td colspan="4">※</td></tr>
<tr><td>小・中</td><td colspan="4">11月8日(月)～11月12日（金）</td><td colspan="2">つくば市</td><td colspan="4">※</td></tr>
</table>

(2)独立行政法人教職員支援機構等派遣研修

〔担当課：企画課０３－５８０２－０２６８〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td colspan="11">3101</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修名</td><td colspan="11">派遣研修（研究所等）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="11">独立行政法人教職員支援機構　教職員等中央研修（副校長・教頭等研修）</td></tr>
<tr><td colspan="2">申込方法等</td><td colspan="3">「研修受講申込受付システム」</td><td></td><td colspan="4">「別途通知」（推薦）</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="11">副校長等が、教育改革の最新動向や適切な学校運営、学校組織マネジメント等の重要課題に関する高度な知識等を習得し、今後の職務に生かすとともに、研修成果を東京都の学校教育に活用します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種</td><td colspan="11">幼・小
中・高・特</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="11">副校長・指導主事等</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任</td><td rowspan="2">指導</td><td rowspan="2">主幹</td><td rowspan="2">管候補</td><td colspan="2" rowspan="2">副校長</td><td colspan="2" rowspan="2">校長</td></tr>
<tr><td>基礎形成期</td><td>伸長期</td><td>充実期</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">○</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>（教諭・主任教諭・指導教諭・主幹教諭）教員が身に付けるべき力

（管候補・副校長・校長）学校マネジメント能力</td><td>学習指導</td><td>生活指導進路指導</td><td>連携折衝</td><td>学校運営組織貢献</td><td>教育課題対応</td><td>学校経営</td><td>外部折衝</td><td>人材育成</td><td>高い見識</td><td>教育課題対応</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="11">・文部科学省の講師から、直接、教育施策や法規などの最新の情報を手に入れることができます。
・グループ演習などワークショップ型の演習を多く取り入れ、参加型の研修を行います。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修内容</td><td colspan="11">・教育施策の諸動向　・教育法規
・スクール・コンプライアンス　・学校組織マネジメント
・カリキュラム・マネジメント　・スタッフ・マネジメント
・コミュニティ・マネジメント　・財務マネジメント
・学校ビジョンの構築　・リスクマネジメント
・タイムマネジメント　・メンタルヘルス・マネジメント
・道徳教育の推進　・生徒指導の推進
・インクルーシブ教育の推進　・校内研修プログラムの開発 等</td></tr>
<tr><td rowspan="6">日程等</td><td>区分</td><td colspan="3">実施日時</td><td colspan="3">会場（予定）</td><td colspan="4">内容</td></tr>
<tr><td>小・中・特</td><td colspan="3">８月２日(月)～８月６日（金）</td><td colspan="3">つくば市</td><td colspan="4">※</td></tr>
<tr><td>高・特</td><td colspan="3">９月 13 日(月)～９月 17 日（金）</td><td colspan="3">つくば市</td><td colspan="4">※</td></tr>
<tr><td>小・中・高・特</td><td colspan="3">９月 27 日(月)～10 月１日（金）</td><td colspan="3">つくば市</td><td colspan="4">※</td></tr>
<tr><td>幼・小・中</td><td colspan="3">10 月 18 日(月)～10 月 22 日（金）</td><td colspan="3">つくば市</td><td colspan="4">※</td></tr>
<tr><td>小・中・高・特</td><td colspan="3">１月 31 日(月)～２月４日（金）</td><td colspan="3">つくば市</td><td colspan="4">※</td></tr>
</table>

⑵ 独立行政法人教職員支援機構等派遣研修

〔担当課：企画課０３－５８０２－０２６８〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td colspan="10">3101</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修名</td><td colspan="10">派遣研修（研究所等）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="10">独立行政法人教職員支援機構　教職員等中央研修（中堅教員研修）</td></tr>
<tr><td colspan="2">申込方法等</td><td colspan="3">「研修受講申込受付システム」</td><td></td><td colspan="3">「別途通知」（推薦）</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="10">中堅教諭等が、教育改革の最新動向や適切な学校運営、学校組織マネジメント等の重要課題に関する高度な知識等を習得し、今後の職務に生かすとともに、研修成果を東京都の学校教育に活用します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種</td><td colspan="10">小・中・高・特</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="10">主幹教諭・指導教諭・主任教諭・教諭(概ね 10 年～20 年の者)</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td>職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任</td><td>指導</td><td>主幹</td><td>管候補</td><td colspan="2">副校長</td><td colspan="2">校長</td></tr>
<tr><td></td><td>基礎形成期</td><td>伸長期</td><td>充実期</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>(教諭・主任教諭・指導教諭・主幹教諭)
教員が身に付けるべき力

(管候補・副校長・校長)
学校マネジメント能力</td><td>学習指導</td><td>生活指導
進路指導</td><td>連携
折衝</td><td>学校運営
組織貢献</td><td>教育課題
対応</td><td>学校
経営</td><td>外部
折衝</td><td>人材
育成</td><td>高い
見識</td><td>教育課題
対応</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="10">・文部科学省の講師から、直接、教育施策や法規などの最新の情報を手に入れることができます。
・グループ演習などワークショップ型の演習を多く取り入れ、参加型の研修を行います。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修内容</td><td colspan="10">・教育施策の諸動向　・教育法規
・スクール・コンプライアンス　・学校組織マネジメント
・カリキュラム・マネジメント　・スタッフ・マネジメント
・コミュニティ・マネジメント　・学校ビジョンの構築
・リスクマネジメント　・タイムマネジメント
・メンタルヘルス　・マネジメント　・新しい学びの推進
・道徳教育の推進　・生徒指導の推進
・インクルーシブ教育の推進　・校内研修プログラムの開発 等</td></tr>
<tr><td rowspan="7">日程等</td><td>区分</td><td colspan="4">実施日時</td><td colspan="2">会場（予定）</td><td colspan="3">内容</td></tr>
<tr><td>高・特</td><td colspan="4">５月 24 日(月)～５月 28 日（金）</td><td colspan="2">つくば市</td><td colspan="3">※</td></tr>
<tr><td>小・中</td><td colspan="4">６月 28 日(月)～７月２日（金）</td><td colspan="2">つくば市</td><td colspan="3">※</td></tr>
<tr><td>小</td><td colspan="4">７月 26 日(月)～７月 30 日（金）</td><td colspan="2">つくば市</td><td colspan="3">※</td></tr>
<tr><td>中</td><td colspan="4">８月 16 日(月)～８月 20 日（金</td><td colspan="2">つくば市</td><td colspan="3">※</td></tr>
<tr><td>小・中・高・特</td><td colspan="4">11 月 15 日(月)～11 月 19 日（金）</td><td colspan="2">つくば市</td><td colspan="3">※</td></tr>
<tr><td>小・中・高・特</td><td colspan="4">１月 24 日(月)～１月 28 日（金）</td><td colspan="2">つくば市</td><td colspan="3">※</td></tr>
</table>

(2)独立行政法人教職員支援機構等派遣研修

〔担当課：企画課０３－５８０２－０２６８〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td colspan="11">3101</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修名</td><td colspan="11">派遣研修（研究所等）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="11">独立行政法人教職員支援機構　教職員等中央研修（次世代リーダー育成研修）</td></tr>
<tr><td colspan="2">申込方法等</td><td colspan="3">「研修受講申込受付システム」</td><td></td><td colspan="3">「別途通知」（推薦）</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="11">中堅教諭等が、教育改革の最新動向や適切な学校運営、学校組織マネジメント等の重要課題に関する高度な知識等を習得し、今後の職務に生かすとともに、研修成果を東京都の学校教育に活用します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種</td><td colspan="11">小・中・高・特</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="11">主幹教諭・指導教諭・主任教諭・教諭(概ね 10 年前後の者)</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td>職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任</td><td>指導</td><td>主幹</td><td>管候補</td><td colspan="2">副校長</td><td colspan="2">校長</td></tr>
<tr><td></td><td>基礎形成期</td><td>伸長期</td><td>充実期</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>(教諭・主任教諭・指導教諭・主幹教諭)
教員が身に付けるべき力

(管候補・副校長・校長)
学校マネジメント能力</td><td>学習指導</td><td>生活指導
進路指導</td><td>連携
折衝</td><td>学校運営
組織貢献</td><td>教育課題
対応</td><td>学校
経営</td><td>外部
折衝</td><td>人材
育成</td><td>高い
見識</td><td>教育課題
対応</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="11">・文部科学省の講師から、直接、教育施策や法規などの最新の情報を手に入れることができます。
・グループ演習などワークショップ型の演習を多く取り入れ、参加型の研修を行います。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修内容</td><td colspan="11">・教育施策の諸動向　・教育法規
・スクール・コンプライアンス　・学校組織マネジメント
・カリキュラム・マネジメント　・スタッフ・マネジメント
・コミュニティ・マネジメント　・学校ビジョンの構築
・リスクマネジメント　・タイムマネジメント
・メンタルヘルス　・マネジメント　・新しい学びの推進
・道徳教育の推進　・生徒指導の推進
・インクルーシブ教育の推進　・校内研修プログラムの開発 等</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td>区分</td><td colspan="4">実施日時</td><td colspan="3">会場（予定）</td><td colspan="3">内容</td></tr>
<tr><td>小・中・高・特</td><td colspan="4">６月 21 日(月)～６月 25 日（金）</td><td colspan="3">つくば市</td><td colspan="3">※</td></tr>
<tr><td>小・中・高・特</td><td colspan="4">８月 23 日(月)～８月 27 日（金）</td><td colspan="3">つくば市</td><td colspan="3">※</td></tr>
<tr><td>小・中・高・特</td><td colspan="4">１月 17 日(月)～１月 21 日（金）</td><td colspan="3">つくば市</td><td colspan="3">※</td></tr>
</table>

⑵ 独立行政法人教職員支援機構等派遣研修

〔担当課：企画課０３－５８０２－０２６８〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td colspan="11">3101</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修名</td><td colspan="11">派遣研修（研究所等）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="11">独立行政法人教職員支援機構　教職員等中央研修（４～８年目教員育成研修）</td></tr>
<tr><td colspan="2">申込方法等</td><td colspan="3">「研修受講申込受付システム」</td><td></td><td colspan="4">「別途通知」（推薦）</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="11">若手、中堅教諭等が、教育改革の最新動向や適切な学校運営、学校組織マネジメント等の重要課題に関する高度な知識等を習得し、今後の職務に生かすとともに、研修成果を東京都の学校教育に活用します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種</td><td colspan="11">小・中・高・特</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="11">主任教諭・教諭（４年目～8年目）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td>職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任</td><td>指導</td><td>主幹</td><td>管候補</td><td colspan="2">副校長</td><td colspan="2">校長</td></tr>
<tr><td></td><td>基礎形成期</td><td>伸長期</td><td>充実期</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>（教諭・主任教諭・指導教諭・主幹教諭）教員が身に付けるべき力
（管候補・副校長・校長）学校マネジメント能力</td><td>学習指導</td><td>生活指導
進路指導</td><td>連携
折衝</td><td>学校運営
組織貢献</td><td>教育課題
対応</td><td>学校
経営</td><td>外部
折衝</td><td>人材
育成</td><td>高い
見識</td><td>教育課題
対応</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="11">・文部科学省の講師から、直接、教育施策や法規などの最新の情報を手に入れることができます。
・グループ演習などワークショップ型の演習を多く取り入れ、参加型の研修を行います。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修内容</td><td colspan="11">・教育施策の諸動向　・教育法規
・スクール・コンプライアンス　・学校組織マネジメント
・カリキュラム・マネジメント　・スタッフ・マネジメント
・コミュニティ・マネジメント　・学校ビジョンの構築
・リスクマネジメント　・タイムマネジメント
・メンタルヘルス　・マネジメント　・新しい学びの推進
・道徳教育の推進　・生徒指導の推進
・インクルーシブ教育の推進　・校内研修プログラムの開発 等</td></tr>
<tr><td rowspan="3">日程等</td><td>区分</td><td colspan="4">実施日時</td><td colspan="3">会場（予定）</td><td colspan="3">内容</td></tr>
<tr><td>小・中・高・特</td><td colspan="4">６月７日(月)～６月 11 日（金）</td><td colspan="3">つくば市</td><td colspan="3">※</td></tr>
<tr><td>小・中・高・特</td><td colspan="4">10 月４日(月)～10 月８日（金）</td><td colspan="3">つくば市</td><td colspan="3">※</td></tr>
</table>

⑵独立行政法人教職員支援機構等派遣研修

〔担当課：企画課０３－５８０２－０２６８〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td colspan="11">3102</td></tr>
<tr><td>研修名</td><td colspan="11">派遣研修（研究所等）</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="11">独立行政法人教職員支援機構　指導者養成研修等</td></tr>
<tr><td>申込方法等</td><td colspan="3">「研修受講申込受付システム」</td><td></td><td colspan="3">「別途通知」（推薦）</td><td>○</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="11">教員等が、学校組織マネジメント、カリキュラム・マネジメント、生徒指導、いじめ問題等の教育課題について、各学校や地域における研修のマネジメントを推進する力を習得し、研修成果を東京都の学校教育に活用します。</td></tr>
<tr><td>対象校種</td><td colspan="11">小・中・高・特</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="11">校長・副校長・主幹教諭・指導教諭・主任教諭・教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td>職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任</td><td>指導</td><td>主幹</td><td>管候補</td><td colspan="2">副校長</td><td colspan="2">校長</td></tr>
<tr><td></td><td>基礎形成期</td><td>伸長期</td><td>充実期</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>（教諭・主任教諭・指導教諭・主幹教諭）教員が身に付けるべき力
（管候補・副校長・校長）学校マネジメント能力</td><td>学習指導</td><td>生活指導進路指導</td><td>連携折衝</td><td>学校運営組織貢献</td><td>教育課題対応</td><td>学校経営</td><td>外部折衝</td><td>人材育成</td><td>高い見識</td><td>教育課題対応</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="11">・研修テーマによって、受講者のニーズや地域の実態に応じたコース別の研修の設定があります。
・各地域の課題を基にした講義・グループ協議など、参加型の研修を行います。</td></tr>
<tr><td>研修内容</td><td colspan="11">①学校組織マネジメント研修
②カリキュラム・マネジメント開発研修
③生徒指導基幹研修
④教育相談基幹研修
⑤いじめ問題理解基幹研修
⑥幼児教育専門研修
⑦道徳教育推進研修
⑧人権教育推進研修
⑨体力向上マネジメント指導者養成研修
⑩健康教育指導者養成研修
⑪食育指導者養成研修
⑫学校安全指導者養成研修
⑬外国人児童生徒等への日本語指導指導者養成
⑭小学校における外国語教育指導者養成研修研修
⑮学校教育の情報化指導者養成研修
⑯キャリア教育指導者養成研修</td></tr>
</table>

(2)独立行政法人教職員支援機構等派遣研修

〔担当課：企画課０３－５８０２－０２６８〕

	研修内容番号	実施日時	会場等
日程等	①	9月21日（火）～9月24日（金） 11月29日(月)～12月1日(水)	リアルタイムによるオンライン研修
	②	10月13日(水)～10月15日(金) 11月24日(水)～11月26日(金)	リアルタイムによるオンライン研修
	③	５月18日(火)～5月20日(木)	リアルタイムによるオンライン研修
	④	６月２日(水)～6月４日(金)	リアルタイムによるオンライン研修
	⑤	８月２日(月)～8月31日(火)	リアルタイムによるオンライン研修
	⑥	12月1日(水)～12月28日(火)	リアルタイムによるオンライン研修
	⑦	8月2日(月)～8月31日(火) 12月1日(水)～12月28日(火)	リアルタイムによるオンライン研修
	⑧	6月8日(火)～6月10日(木)	リアルタイムによるオンライン研修
	⑨	8月10日(火)～8月12日(木)	リアルタイムによるオンライン研修
	⑩	11月2日(火)～11月5日(金)	リアルタイムによるオンライン研修
	⑪	10月25日(月)～10月27日(水)	リアルタイムによるオンライン研修
	⑫	8月2日(月)～8月31日(火)	リアルタイムによるオンライン研修
	⑬	10月4日(月)～10月7日(木)	三重県津市
	⑭	１月12日（水）～1月14日（金）	リアルタイムによるオンライン研修
	⑮	８月２日（月）～８月31日（火）	講義動画配信
	⑯	８月23日（月）～８月27日（金）	富山県富山市

(2)独立行政法人教職員支援機構等派遣研修

〔担当課：企画課０３－５８０２－０２６８〕

研修番号	3111									
研修名	派遣研修（研究所等）									
研修タイトル	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所　特別支援教育専門研修									
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（推薦）	○						
ねらい	教員等が、一定期間勤務地を離れて特別支援教育の充実に資する最新の専門性の高い内容について宿泊を原則とする研修を行い、今後の職務に生かすとともに、東京都におけるリーダーとしての資質を高めます。									
対象校種	小・中・高・特									
対象教員	主幹教諭・指導教諭・主任教諭・教諭									
指標との関連	職層	教諭		主任	指導	主幹	管候補	副校長		校長
		基礎形成期	伸長期	充実期						
			○	○	○	○	○			
	（教諭・主任教諭・指導教諭・主幹教諭）教員が身に付けるべき力	学習指導	生活指導進路指導	連携折衝	学校運営組織貢献	教育課題対応	学校経営	外部折衝	人材育成	高い見識	教育課題対応
	（管候補・副校長・校長）学校マネジメント能力	○	○			○					
特色	・３つのコースから１つを選択し、約２か月間の宿泊研修を行います。									
研修内容※	・視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱教育コース等、障害種の教育 ・発達障害、情緒障害、言語障害教育コース等、障害種の教育 ・通級による指導における教育及び通常の学級における教育									

日程等	期	実施日時	会場（予定）	内容
	①発達障害・情緒障害・言語障害教育コース	５月 10 日（月）～７月９日（金）	横須賀市	※
	②知的障害教育コース	９月８日（水）～11 月 12 日（金）	横須賀市	※
	③視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース	１月 11 日（火）～３月 16 日(水)	横須賀市	※

(2)独立行政法人教職員支援機構等派遣研修

〔担当課：企画課〕

研修番号	3112									
研修名	派遣研修（研究所等）									
研修タイトル	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所　インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会・セミナー									
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（推薦）	○						
ねらい	教員等が、短期間勤務地を離れて、特別支援教育の充実に資する最新の専門性の高い内容について研修し、東京都におけるリーダーとしての資質を高めます。									
対象校種	小・中・高・特									
対象教員	主幹教諭・指導教諭・主任教諭・教諭									
指標との関連	職層	教諭		主任	指導	主幹	管候補	副校長		校長
		基礎形成期	伸長期	充実期						
			○	○	○	○	○			
	（教諭・主任教諭・指導教諭・主幹教諭）教員が身に付けるべき力	学習指導	生活指導進路指導	連携折衝	学校運営組織貢献	教育課題対応	学校経営	外部折衝	人材育成	高い見識	教育課題対応
	（管候補・副校長・校長）学校マネジメント能力		○			○					
特色	・協議会では、インクルーシブ教育システムの理念の実現、充実に向け、専門的知識及び技能の向上を図ります。									
研修内容※	① 特別支援教育におけるICT 活用に関わる指導者研究協議 ② 高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議 ③ 交流及び共同学習推進指導者協議 ④ 発達障害教育実践セミナー									

日程等	区分	実施日時	会場（予定）	内容
	①	７月中旬	横須賀市	※
	②	９月上旬（１日）	横須賀市	※
	③	11月中旬（1日）	横須賀市	※
	④	未定	横須賀市	※

〔担当課：教育開発課 03－5802－0307〕

<table>
<tr><td>研修番号</td><td colspan="5">3201</td></tr>
<tr><td>研修名</td><td colspan="5">派遣研修（大学院）</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="5">新教育大学大学院派遣研修</td></tr>
<tr><td>申込方法等</td><td colspan="2">「研修受講申込受付システム」</td><td></td><td>「別途通知」（推薦）</td><td>○</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="5">現職教員を新教育大学大学院（２年）に派遣し、教科等及び教育課題における高い専門性や識見を養うことにより、優れた教育実践を展開できる力を身に付けた指導的役割を果たせる教員の育成を図る。</td></tr>
<tr><td>対象校種</td><td colspan="5">小・中・高・特</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="5">○原則として、主幹教諭、指導教諭、主任教諭、主任養護教諭である者
○修士課程の就学にふさわしい教育実践、研究実績を有する者
○令和３年度　教育管理職選考を受験しない者
●教職大学院派遣研修に出願しない者</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td>職層</td><td colspan="2">教諭
基礎形成期　伸長期</td><td>主任
充実期</td><td>指導</td><td>主幹</td><td>管候補</td><td colspan="2">副校長</td><td colspan="2">校長</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>（教諭・主任教諭・指導教諭・主幹教諭）教員が身に付けるべき力（管候補・副校長・校長）学校マネジメント能力</td><td>学習指導</td><td>生活指導進路指導</td><td>連携折衝</td><td>学校運営組織貢献</td><td>教育課題対応</td><td>学校経営</td><td>外部折衝</td><td>人材育成</td><td>高い見識</td><td>教育課題対応</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="5">○派遣期間は２年間、修学期間は２年間
○派遣先　新教育大学大学院（兵庫教育大学大学院、上越教育大学大学院、鳴門教育大学大学院）の修士課程又は専門職学位課程（教職大学院）
○教科等及び教育課題における専門性や識見を養うことにより、優れた教育実践を展開できる力を身に付けることを目指して研究を行う。</td></tr>
<tr><td>研修内容</td><td colspan="5">○派遣先の大学院の定めたカリキュラム等に基づき、所属校を離れ２年間にわたり研修を行う。
○修士又は教職修士（専門職）の学位取得を目指す。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">日程等</td><td>区分</td><td colspan="2">実施日時・内容</td><td>会場（予定）</td><td colspan="2">備考等</td></tr>
<tr><td>派遣前年度</td><td>５月中旬</td><td>応募締切</td><td></td><td colspan="2">○大学院のリサーチ
○書類の準備・応募</td></tr>
<tr><td></td><td>５月～７月</td><td>選考
大学院受験
派遣予定者決定</td><td>教職員研修センター（水道橋）
各大学院</td><td colspan="2">○書類審査、面接審査
○大学院受験</td></tr>
<tr><td></td><td>３月上旬～中旬</td><td>発令通知書交付式
事前研修会</td><td>教職員研修センター（水道橋）</td><td colspan="2">大学院入学手続き
※学費等は自己負担</td></tr>
<tr><td>派遣年度（１年次）</td><td>４月</td><td>研修開始</td><td>各大学院</td><td colspan="2">研究・研修</td></tr>
<tr><td>派遣年度（２年次）</td><td>３月上旬</td><td>大学院派遣研修報告会</td><td>教職員研修センター（水道橋）</td><td colspan="2">研究・研修報告</td></tr>
<tr><td></td><td>３月下旬</td><td>研修終了</td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>派遣研修修了後</td><td>３月上旬</td><td>大学院派遣研修報告会</td><td>教職員研修センター（水道橋）</td><td colspan="2">○報告会への参加</td></tr>
</table>

〔担当課：教育開発課 03－5802－0307〕

研修番号	3202										
研修名	派遣研修（大学院）										
研修タイトル	大学院設置基準第 14 条適用大学院派遣研修										
申込方法等	「研修受講申込受付システム」			「別途通知」（推薦）	○						
ねらい	現職教員を大学院設置基準第 14 条を適用している大学院（２年）又は教職大学院（２年）に派遣し、教員の資質向上に資することのできる、教科等又は教育課題における高い専門性や識見を身に付けた指導的役割を果たせる教員の育成を図る。										
対象校種	小・中・高・特										
対象教員	○原則として、主幹教諭、指導教諭、主任教諭、主任養護教諭である者 ○修士課程の就学にふさわしい教育実践、研究実績を有する者 ○令和３年度　教育管理職選考を受験しない者 ●教職大学院派遣研修に出願しない者										
指標との関連 職層	教諭		主任	指導	主幹	管候補	副校長		校長		
	基礎形成期	伸長期	充実期								
			○	○	○						
指標との関連 (教諭・主任教諭・指導教諭・主幹教諭)教員が身に付けるべき力 (管候補・副校長・校長)学校マネジメント能力	学習指導	生活指導進路指導	連携折衝	学校運営組織貢献	教育課題対応	学校経営	外部折衝	人材育成	高い見識	教育課題対応	
	○	○	○	○	○						
特色	○派遣期間は１年間、修学期間は２年間 ○派遣先　大学院設置基準第 14 条を適用している大学院の修士課程又は専門職学位課程（教職大学院） ○教科等又は教育課題に関する高い専門性や識見を身に付けることを目指して研究を行う。										
研修内容	○派遣先の大学院の定めたカリキュラム等に基づき、１年目は所属校を離れ研修を行う。 ○２年目は、所属校に戻り、夏季休業中や夜間を利用して研修を行い、修士又は教職修士（専門職）の学位取得を目指す。										

日程等 区分	実施日時・内容		会場（予定）	備考等
派遣前年度	５月中旬	応募締切		○大学院のリサーチ ○書類の準備・応募
	５月～７月	選考 大学院受験 派遣予定者決定	教職員研修センター（水道橋） 各大学院	○書類審査、面接審査 ○大学院受験
	３月上旬～中旬	発令通知書交付式 事前研修会	教職員研修センター（水道橋）	大学院入学手続き ※学費等は自己負担
派遣年度（１年次）	４月	研修開始	各大学院	研究・研修
	９月	長期派遣研修合同研修会	教職員研修センター（水道橋）	研究テーマ及び研究内容の報告
派遣年度（２年次）	４月	研修開始	所属校 各大学院	研究・研修 ※休日・夜間等勤務時間外の通学
	３月上旬	大学院派遣研修報告会	教職員研修センター（水道橋）	研究・研修報告
	３月下旬	研修終了		
派遣研修修了後	３月上旬	大学院派遣研修報告会	教職員研修センター（水道橋）	○報告会への参加

〔担当課：教育開発課 03－5802－0307〕

研修番号	3203				
研修名	派遣研修（大学院）				
研修タイトル	教職大学院派遣研修				
申込方法等	「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（推薦）	○	
ねらい	現職教員を教職大学院（１年）に派遣し、確かな指導理論と優れた実践力や応用力を身に付けた、各地域や学校における指導的役割を果たせる教員の育成を図る。				
対象校種	小・中・高・特				
対象教員	○昭和 54 年４月２日以降の出生の者で、令和４年３月 31 日（以下「基準日」という。）現在で、学校教育法第１条に定める国公私立学校（ただし、大学及び高等専門学校を除く。）の正規任用としての教職経験を通算して７年以上有し（複数の校種教科の通算も可とする。）、そのうち基準日現在において東京都公立学校での教諭経験（臨時的任用を除く。）を３年以上有する者 ○令和３年度　教育管理職選考を受験しない者 ●新教育大学大学院及び大学院設置基準第 14 条適用大学院派遣研修に出願しない者				

指標との関連	職層	教諭		主任	指導	主幹	管候補	副校長		校長	
		基礎形成期	伸長期	充実期							
				○	○	○					
	（教諭・主任教諭・指導教諭・主幹教諭）教員が身に付けるべき力	学習指導	生活指導進路指導	連携折衝	学校運営組織貢献	教育課題対応	学校経営	外部折衝	人材育成	高い見識	教育課題対応
	（管候補・副校長・校長）学校マネジメント能力	○	○	○	○	○					

特色	○派遣期間は１年間、修学期間は１年間 ○派遣先 創価大学教職大学院、玉川大学教職大学院、帝京大学教職大学院 東京学芸大学教職大学院、早稲田大学教職大学院 ※派遣者が研修先を志望できる。（第一志望通りとは限らない） ○確かな指導理論と優れた実践力や応用力を身に付けることを目指して研究を行う。
研修内容	○派遣先の教職大学院の定めたカリキュラム等に基づき研修を行い、教職修士（専門職）の学位取得を目指す。 「教育課程の編成・実施」、「各教科の実践的指導方法」、「生徒指導、教育相談」、「学級経営、学校経営」、「学校教育と教員の在り方」 ☆選択科目等で自分の興味・関心のある分野について学ぶことができる。 ○学校課題研究 学校教育に関わる課題解決を図る研究を１年間かけて行う。

日程等 区分	実施日時・内容		会場（予定）	備考等
派遣前年度	５月末	応募締切		○大学院のリサーチ ○書類の準備・応募
	６月～８月	選考 大学院受験 派遣予定者決定	教職員研修センター（水道橋） 各大学院	○書類審査、論文審査、面接審査 ○教職大学院受験
	３月上旬～中旬	発令通知書交付式 事前研修会	教職員研修センター（水道橋）	大学院入学手続き ※学費等は原則として自己負担
派遣年度	４月	研修開始	各教職大学院	研究・研修
	７月～９月	実務実習	教職員研修センター（水道橋）等	教育行政の実務、研修等の運営
	９月	長期派遣研修 合同研修会	教職員研修センター（水道橋）	研究テーマ及び研究内容の報告
	３月上旬	大学院派遣研修 報告会	教職員研修センター（水道橋）	研究・研修報告
	３月下旬	研修終了		
派遣研修修了後	３月上旬	大学院派遣研修 報告会	教職員研修センター（水道橋）	○報告会への参加

(4)東京都教員研究生

<table>
<tr><td>研修番号</td><td colspan="11">3204</td></tr>
<tr><td>研修名</td><td colspan="11">派遣研修（教職員研修センター）</td></tr>
<tr><td>研修タイトル</td><td colspan="11">東京都教員研究生</td></tr>
<tr><td>申込方法等</td><td colspan="3">「研修受講申込受付システム」</td><td></td><td colspan="4">「別途通知」（推薦）</td><td>○</td></tr>
<tr><td>ねらい</td><td colspan="11">東京都公立学校の教員が、教職員研修センターにおいて研究・研修を行うことにより、学校経営力や学習指導力等について高い専門性を備え、指導的役割を担う学校教育のリーダーの育成を図ります。</td></tr>
<tr><td>対象校種</td><td colspan="11">幼・小・中・高・特</td></tr>
<tr><td>対象教員</td><td colspan="11">○令和４年３月 31 日現在、教職経験年数を６年以上有し、そのうち東京都公立学校での教職経験年数を３年以上有する者
○令和３年度　教育管理職選考を受験しない者</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td>職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任</td><td>指導</td><td>主幹</td><td>管候補</td><td colspan="3">副校長</td><td colspan="2">校長</td></tr>
<tr><td></td><td>基礎形成期</td><td>伸長期</td><td>充実期</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td colspan="3"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>（教諭・主任教諭・指導教諭・主幹教諭）教員が身に付けるべき力
（管候補・副校長・校長）学校マネジメント能力</td><td>学習指導</td><td>生活指導進路指導</td><td>連携折衝</td><td>学校運営組織貢献</td><td>教育課題対応</td><td>学校経営</td><td>外部折衝</td><td>人材育成</td><td>高い見識</td><td>教育課題対応</td></tr>
<tr><td>特色</td><td colspan="11">学校を離れ、教職員研修センターで教員としての今までの実践を振り返り、研究と修養に努めることができる。</td></tr>
<tr><td>研修内容</td><td colspan="11">①教育課題研究　②カリキュラム開発研究　③実務研修　④教員研究生全体研修</td></tr>
<tr><td>日程等</td><td colspan="11">◇派遣期間　　１年間
◇派遣先　　教職員研修センター（水道橋）
◇研修の主な流れ
（派遣前年度）
８月上旬　　応募締切
９月～10 月　選考、派遣研修予定者決定
２月下旬　　事前研修会
（派遣年度）
４月１日　　教員研究生研修開始
４月上旬　　入所式
４月～３月　全体研修会
９月上旬　　長期派遣研修合同研修会
10 月中旬　　カリキュラム開発研究中間報告会
２月下旬　　カリキュラム開発研究発表会
３月下旬　　修了式</td></tr>
</table>

研修番号	9001										
研修名	東京教師道場										
研修タイトル	東京教師道場（１年次）										
申込方法等	「マイ・キャリア・ノート」		「別途通知」（推薦）								
ねらい	東京都公立学校の児童・生徒の学力向上を図るため、２年間にわたる授業研究等を通して、教員の授業力を一層高めるとともに、他の教員の指導的役割を担うことができる資質・能力を磨きます。										
対象校種	小・中・高・特										
対象教員	東京教師道場の部員又はリーダーとして決定した小・中・高・特の教員 （令和３年度の受講者は既に決定済）										
指標との関連	職層	教諭		主任	指導	主幹	管候補	副校長		校長	
		基礎形成期	伸長期	充実期							
			○	○	○	○					
	（教諭・主任教諭・指導教諭・主幹教諭）教員が身に付けるべき力	学習指導	生活指導進路指導	連携折衝	学校運営組織貢献	教育課題対応	学校経営	外部折衝	人材育成	高い見識	教育課題対応
	（管候補・副校長・校長）学校マネジメント能力	○									
特色											
研修内容											

日程等	回	実施日時		会場（予定）	内容	
	①	４月 15 日(木)	13:30 ～ 16:30	教職員研修センター	全体会	開講式 年間の研修計画
	②	５月	13:30 ～ 16:45	リーダー所属校	授業研究	リーダーによる模範授業、協議
	③・④	６月・７月	13:30 ～ 16:45	部員所属校等	授業研究	部員による授業及び協議
		夏季休業日 ２日間	9:30 ～ 16:30	部員又はリーダー所属校等	夏季集中協議	模擬授業・協議、リーダーによる講座、ワークショップ、異校種間の情報交換等
	⑤～⑩	９月～２月	13:30 ～ 16:45	部員所属校等	授業研究	部員による授業及び協議

専門性向上研修
（教科等・教育課題）

１ 受講対象者

「マイ・キャリア・ノート」の「専門性向上研修（教科等・教育課題）」のページを参照してください。
受講を希望する場合は、管理職にその旨を相談し、管理職の承認に基づいて受講してください。

２ 受講申込方法

受講申込みは、「研修受講申込受付システム」で行ってください。

３ 受講の可否

受講可否については、管理職及び受講申込み者本人が「研修受講申込受付システムト」で確認してください。文書での通知は行いません。

４ 研修受講前後

研修受講前は、「マイ・キャリア・ノート」を確認し、研修の日時・会場等について確認してください。
研修受講後は、「研修記録（受講者用）」等を適宜活用するなどして、所属長に研修内容を報告するとともに、成果還元を行ってください。

５ 研修修了認定

修了認定結果は、２月下旬に「研修受講申込受付システム」に掲載します。管理職及び受講者本人が「研修受講申込受付システム」で確認してください。文書での通知は行いません。

６ 研修受講に当たっての留意事項

(1) 受講前日まで

文書での開催通知等はありません。
研修講座の開催については、「マイ・キャリア・ノート」に掲載します。

◇ 「マイ・キャリア・ノート」で、研修の日時・会場・内容・課題や報告書の有無・持ち物などについて確認してください。

◇ 「マイ・キャリア・ノート」の掲載内容については、必要に応じて受講者が印刷して、管理職に提出してください。

◇ 研修によって開始・終了時刻等が異なる場合があります。

◇ 直前に会場等が変更になる場合があります。研修前日には再度、「マイ・キャリア・ノート」の掲載内容を確認してください。

(2) 受講当日

◇　研修時間は、原則として次のとおりです。
　13：30～16：30

◇　研修の受付は、原則研修開始の30分前から行います。立川合同庁舎で行う研修の受付は、研修開始の15分前からとします。

◇　研修講座は、全ての回、全ての時間の受講が原則です。実施日時等を十分に確認の上、申込みください。

◇　欠席・遅刻・早退する場合

・校務等の関係でやむを得ず欠席・遅刻・早退する場合は、管理職を通じて研修実施前に担当課に電話連絡してください。
・大学、学校等、研修会場へ直接電話をすることは絶対にしないでください。
・「研修（欠席・遅刻・早退）届（様式２）」をホームページからダウンロードして、必要事項を記入の上、管理職を通じて専門教育向上課に電子メール又は交換便等により提出してください。
・公共交通機関の遅延等による場合は、公共交通機関の発行した遅延証明書を提出してください。
・育児短時間勤務等の教員は、管理職を通じてその旨を事前にお知らせください。

◇　その他

・自動車、バイク、自転車等での研修会場への来場は、原則として禁止です。
・手話通訳者の手配等、特別の措置が必要な場合は、管理職を通じてお問い合わせください。研修日の１か月前には申請をお願いします。
・受付は、一部の研修を除き各研修室前で行います。受講前に押印簿への押印をしてください。
・研修中は、自校で使用している名札を身に付けてください。
・携帯電話・スマートフォンは電源を切るか、マナーモードに設定してください。
・別途許可がある場合を除き、写真撮影・録画・録音は禁止です。
・受講者アンケートは、原則１日単位で記入し、研修終了後に提出してください。
・ペットボトル、弁当等のゴミは持ち帰ってください。
・研修運営の担当者の指示に従ってください。

(3) 受講後

専門性向上研修Ⅱ及びⅢは、研修成果を踏まえて若手教員へ指導・助言する力や学校・地域に普及・還元する力を身に付けることをねらいとしています。研修受講後は、学んだ内容を校内や研究会等で活用してください。

7　研修受講に当たっての留意事項

(1) 大学や関係機関との連携について

最新かつ高度な学術情報を提供できる指導者や優れた施設・設備等を活用した研修を行います。

(2) 各種研究団体との連携について

各種研究団体と連携し、その優れた研究成果や実践事例等を活用した研修を行います。

(3) 英語力向上研修について

教員の英語力を高めるために、外部委託者所属の外国人講師等による研修を実施します。詳細は、「マイ・キャリア・ノート」の「専門性向上研修（教科等・教育課題）」のページ（研修番号 5201～5215）を参照してください。

なお、この研修の運営は、外部委託者が行います。

(4) 英語教育推進リーダー中央研修還元研修（平成 27 年度から平成 31 年度事業）について

平成 31 年度末（2019 年度末）に未修了で受講対象者となっている都立高等学校（都立中学校及び中等教育学校を含む）教員の所属校長宛に別途通知をしています。

当該教員は通知の内容に基づき本研修を受講してください。詳細は、「マイ・キャリア・ノート」の「専門性向上研修（教科等・教育課題）」のページ（研修番号 5134）を参照してください。

(5) 小学校英語教育中核教員養成講座 Advanced について

受講対象者は平成 30 年度から令和２年度までの英語教員中核教員養成講座 Basic　　修了者で、受講を希望する者です。英語の専科教員、文部科学省が認定する英語教育推進リーダー、平成 28・29 年度教育庁指導部の事業における都が指定した英語教育推進リーダー等も受講可能です。詳細は、「マイ・キャリア・ノート」の「専門性向上研修（教科等・教育課題）」のページ（研修番号 5112）を参照してください。

(6) 理数系教員指導力向上研修について

「理数系教員指導力向上研修」は、東京学芸大学が所管する研修です。受講を希望する場合は、管理職にその旨を申請し、管理職の承認に基づいて申込みしてください。申込みは、東京学芸大学のホームページから直接行います。(URL は下記に記載)

なお、東京都教職員研修センターが実施する研修ではないため、東京都教職員研修センターによる修了認定は行いません。

【東京学芸大学　理科教員高度支援センター】

http://www.u-gakugei.ac.jp/~ascest/program.html

(7) 研修の修了認定について

専門性向上研修では、原則として全回数の３分の２以上の出席をもって、修了を認定します。ただし、課題の提出状況等によっては、出席回数を満たしていても修了を認定しない場合があります。

研修１回あたり、遅刻及び早退の合計時間が30分間を超えた場合は、欠席扱いとします。（公共交通機関が発行した遅延証明書提出の場合は除く）。

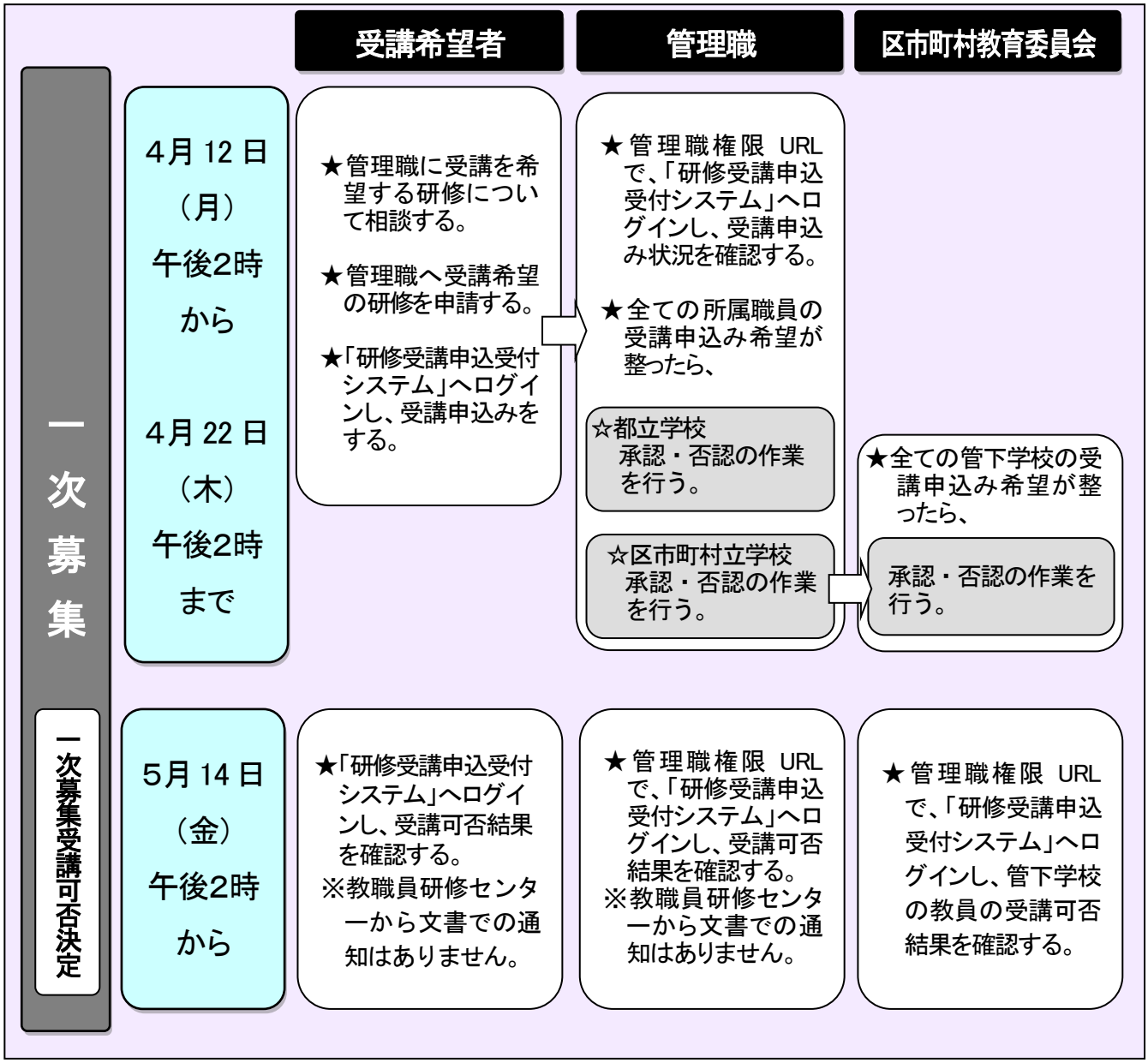
８　問合せ先

専門性向上研修に関する問合せは、所属校の管理職を通じて以下の各担当までお願いします。

研修	問合せ先	電話
専門性向上研修（教科等）	専門教育向上課	03-5802-0344
専門性向上研修（教育課題）	専門教育向上課	03-5802-0296

９　専門性向上研修の研修受講申込みから研修修了までの主な流れ

－「研修受講申込受付システム」から申請します －



★以下の研修は、申込み状況に応じて、募集期間終了前に募集を締め切る場合があります。

研修番号	研修名
5201～5207	英語力向上研修

★一次募集の応募状況により、二次募集をする場合があります。

★二次募集対象の研修が決定し次第、文書で通知します。

		受講希望者	管理職	区市町村教育委員会
二次募集	5月19日（水）午後2時から 5月28日（金）午後2時まで	★管理職に受講を希望する研修について相談する。 ★管理職へ受講希望の研修を申請する。 ★「研修受講申込受付システム」へログインし、受講申込みをする。	★管理職権限 URLで、「研修受講申込受付システム」へログインし、受講申込み状況を確認する。 ★全ての所属職員の受講申込み希望が整ったら、 ☆都立学校 承認・否認の作業を行う。 ☆区市町村立学校 承認・否認の作業を行う。	★全ての管下学校の受講申込み希望が整ったら、 承認・否認の作業を行う。
二次募集受講可否決定	6月11日（金）午後2時から	★「研修受講申込受付システム」へログインし、受講可否結果を確認する。 ※教職員研修センターから文書での通知はありません。	★管理職権限 URLで、「研修受講申込受付システム」へログインし、受講可否結果を確認する。 ※教職員研修センターから文書での通知はありません。	★管理職権限 URLで、「研修受講申込受付システム」へログインし、管下学校の教員の受講可否結果を確認する。

研修の実施	実施前	★文書による開催通知はありません。 ★「研修受講申込受付システム」で、日程、会場、内容、持ち物、課題等について確認してください。
	当日	★受講の際に持参するもの（「名札（所属校で使用のもの）」「二次元コード」「筆記用具」「研修受講申込受付システム」に記載されているもの」）
	実施後	★「研修記録（受講者用）」等を活用して、所属長に受講状況を報告するとともに成果還元を行ってください。
研修修了認定	2月下旬	★研修修了等の研修実施結果は「研修受講申込受付システム」から確認してください（IDとパスワードは一次募集と同じ）。

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4011</td><td>研修名</td><td colspan="3">国語Ｉ（小・特）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">国語科授業づくり入門（小学校）
－基本的な授業展開や指導法の理解 －</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">国語科の指導事項のポイントや学習評価等について理解し、国語科の授業づくりの基礎・基本を身に付けます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、文部科学省の教科調査官等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇学習指導等に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修
◇第１回は、学習指導要領等について理解を深め、授業改善を図る研修
◇第２回は、指導教諭等の授業から学び、指導力の向上を図る研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(１)、４-(５)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　国語編・使用している教科用図書</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>7月12日（月）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○学習指導要領を踏まえた授業づくりの工夫
○学習評価についての理解
○指導計画作成を通した指導内容と指導法の理解</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">9月～11月</td><td>13:30-16:30</td><td>未定</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>授業研究</td><td colspan="3">○授業展開、教材活用等の実際</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4012</td><td>研修名</td><td colspan="4">国語Ⅰ（中・高・特）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">国語科授業づくり入門（中・高等学校）
－基本的な授業展開や指導法の理解 －</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">国語科の指導事項のポイントや学習評価等について理解し、国語科の授業づくりの基礎・基本を身に付けます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、國學院大學の高山実佐教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇学習指導等に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修
◇第１回は、学習指導要領等について理解を深め、授業改善を図る研修
◇第２回は、指導教諭等の授業から学び、指導力の向上を図る研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：２-（１）、３-（２）、４-（６）</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・校種に応じた学習指導要領（平成29・30年告示）解説　国語編・使用している教科用図書</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>6月29日（火）</td><td colspan="2">13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○学習指導要領を踏まえた授業づくりの工夫
○学習評価についての理解
○指導計画作成を通した指導内容と指導法の理解</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">9月～11月</td><td colspan="2">13:30-16:30</td><td>未定</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>授業研究</td><td colspan="4">○授業展開、教材活用等の実際</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4013</td><td>研修名</td><td colspan="3">国語Ｉ（書写）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">書写の指導入門
－実技を通して学ぶ指導の基本－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">学習指導要領のねらいや内容、指導事項等について、実技・指導法研修及び研究授業を通して学び、学習指導における基礎的・基本的な力を身に付けます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ｉ】</td><td>伸長期【Ｉ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、東京学芸大学の長野秀章名誉教授、横浜国立大学の青山浩之教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇学習指導に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修
◇第１回は、水書用筆等の実技を通して書写の指導の基本について学ぶ研修
◇第２回は、東京都小学校書写研究会所属の教員による授業研究
◇東京都小学校書写研究会と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-（１）、２-（１）、３-（２）</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・＜第１回のみ＞・書道道具一式（小筆・半紙を含む）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>8月23日(月)</td><td colspan="2">13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実習等</td><td colspan="4">○国語科書写のねらい及び関連について
○毛筆及び水書用筆の実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">9月～11月</td><td colspan="2">13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>授業研究</td><td colspan="4">○小学校における書写の指導の実際
○学習指導要領等のポイントを踏まえた授業づくり</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4021</td><td>研修名</td><td colspan="3">国語Ⅱ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">主体的・対話的で深い学びを実現する国語科の授業づくり
－学習改善、指導改善につながる学習評価－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">学習指導要領における学習評価の考え方について理解し、主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善について学び、国語科の指導力向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、東京女子体育大学の田中洋一教授を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修
◇学習指導要領における学習評価の考え方について理解し、学習評価を児童・生徒の学習改善や教師の指導改善、学校の組織運営の改善につなげる研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-（１）、２-（１）、３-（２）</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・校種に応じた学習指導要領（平成29・30年告示）解説　国語編・使用している教科用図書</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>7月1日(木)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○学習指導要領における学習評価の考え方
○育成すべき資質・能力を踏まえた課題解決型の授業づくり</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4031</td><td>研修名</td><td colspan="4">国語Ⅲ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">国語科を要とした言語活動の充実
－校内における組織的な取組の工夫－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">校内において必要な言語活動を整えるとともに、国語科を要としつつ各教科等の特質に応じて、児童・生徒の言語活動の充実を図る力を身に付けます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、東京学芸大学の中村和弘教授を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇言語活動の充実に向けて、習得した知識・技能、内容を発展させ、学校・地域に普及・還元する力を身に付ける研修
◇言語に関する能力を育成する国語科を要として、国語科以外の各教科等においても、言語活動の充実を図ることのできる高い専門性と優れた指導力を身に付けることのできる研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-（１）、２-（１）、３-（２）、４-（４）</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・校種に応じた学習指導要領（平成29・30年告示）解説　国語編・使用している教科用図書</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>7月9日(金)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習他</td><td colspan="3">○「言葉による見方・考え方」を働かせた国語科の授業
○校内において言語活動を充実させるための工夫</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4111</td><td>研修名</td><td colspan="3">社会Ⅰ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">小学校社会科、授業づくりの基礎・基本
－見方・考え方を働かせて考えるー</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">小学校社会科の社会的事象の見方・考え方を働かせた学習活動や学習評価、具体的な授業展開や指導法の基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、国士舘大学の澤井陽介教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇学習指導等に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修
◇社会的事象の見方・考え方を働かせた学習活動のポイントを理解する研修
◇第２回は、指導教諭等による授業研究</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-（２）、４-（７）</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　社会編・使用している教科用図書※第２回で、事前課題があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>7月1日(木)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○社会的事象の見方・考え方を働かせた学習活動の理解
・学習指導要領の指導事項のポイント
・問題解決的な学習の進め方
・目標に準拠した評価による観点別学習状況の評価、評定</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>9月30日(木)
または
10月22日(金)
※日程は、第１回研修時に希望調査をします。</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>授業研究</td><td colspan="4">○問題解決的な学習の充実を図る指導の実際、学習評価の実際
・授業研究、協議</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4112</td><td>研修名</td><td colspan="3">社会・公民Ⅰ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">生徒が主体的に行動する公民科の指導
－持続可能な社会の構築に向けた法教育、消費者教育の充実－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">中学校社会科（公民的分野）及び高等学校公民科の「現代社会の見方・考え方」、「人間と社会の在り方についての見方・考え方」を働かせて考える学習の基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、政策研究大学院大学の小野太一教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇学習指導等に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修
◇現代の諸課題に対応した法教育、消費者教育、社会保障教育に関する指導の工夫等、公民的内容を学ぶ研修
◇第１回は、法務省及び厚生労働省と連携した研修
◇第２回は、指導教諭等による授業研究
◇動画視聴を事前課題とした研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">事前課題：２-（２）、３-（４）　参考：４-（７）</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・校種に応じた学習指導要領（平成29・30年告示）解説　社会編、公民編※第２回の授業研究には事前課題があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">6月24日（木）</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義等</td><td colspan="3">○法教育、消費者教育等の充実
・「現代社会の諸課題」に対する考え方
・消費者教育の実践
・法教育の普及・推進に向けた取組
・実践事例　等
○社会保障教育等の充実
・社会保障教育の必要性と現状
・実践事例　等
○「社会的な見方・考え方」を働かせ考察させる指導の充実について</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">9月～11月</td><td>13:30-16:30</td><td>未定</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>授業研究</td><td colspan="3">○「社会的な見方・考え方」を働かせ考察させる指導の実際
○学習評価の実際</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4121</td><td>研修名</td><td colspan="4">社会Ⅱ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">社会科の資質・能力を育成する問題解決的な学習
－主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">主体的・対話的で深い学びを実現する、問題解決的な学習過程の充実について学び、小学校社会科の指導力の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、文部科学省の教科調査官を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇専門的な知識・技能を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修
◇問題解決的な学習の充実を図る指導計画についての演習を含む研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：学習指導要領のポイント（小学校）社会（30教研セ）2020.04.01
https://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.lg.jp/staff/movie_training/01_primary-school/02.html</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　社会編・担当している学年で使用している教科用図書（社会科）・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料　小学校社会編（令和２年３月　文部科学省国立教育政策研究所）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">7月13日（火）</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○主体的・対話的で深い学びを実現する、問題解決的な学習過程の充実について
・問題解決的な学習の充実を図る単元指導計画の作成</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4122</td><td>研修名</td><td colspan="3">社会・地理歴史Ⅱ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">過去と今と未来をつなぐ社会科授業（地理的・歴史的内容）
－学びを深める「社会的な見方・考え方」－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">中学校社会科（地理的・歴史的分野）及び高等学校地理歴史科の指導の充実を図るために、適切な課題を設けて生徒に追究させる学習、学習評価、具体的な授業展開、指導ができる力の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、文部科学省初等中等教育局視学官等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇専門的な知識・技能を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修
◇東京都地理教育研究会と連携した研修
◇申込時に後半の分科会を選択</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：２-(２)、３-(４)、４-(７)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・校種に応じた学習指導要領（平成29・30年告示）解説　社会編、地理歴史編</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">9月13日（月）　13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
実践発表等</td><td colspan="3">○「社会的な見方・考え方」を働かせて考察させる指導の充実
・学習指導要領改訂のポイント
・「社会的事象の見方・考え方」について
＜中学校歴史分科会＞
○「社会的事象の歴史的な見方・考え方」を働かせて考察させる指導についての実践発表
＜高等学校地理分科会＞
○「社会的事象の地理的な見方・考え方」を働かせて考察させる指導についての実践発表</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4131</td><td>研修名</td><td colspan="3">社会・地理歴史・公民Ⅲ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">専門家や関係諸機関と連携した社会科授業
－公共施設を生かした教材開発－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">外部の専門家や関係諸機関と連携し、教材開発や授業改善を行うことについて理解を深め、校内で社会科教育を推進する力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　60名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td colspan="2">基礎形成期【Ⅰ】　伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、文部科学省の教科調査官等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇授業改善の視点や方法について助言する力を高め、学校・地域に還元・普及する力を身に付ける研修
◇第２回は博物館等を会場とした研修とし、希望する分科会を受講申込時に選択
◇第２回で事前課題があります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：４-(７)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・校種に応じた学習指導要領（平成29・30年告示）解説　社会編、地理歴史編、公民編※第２回で、事前課題があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>7月6日（火）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義等</td><td colspan="4">○社会科系教科の教材開発の視点と授業改善について
・学習指導要領を踏まえた資料や公共施設の活用について
・教科横断的な取り組みについて
○児童・生徒が資料を活用し、思考・判断・表現する学習活動について</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>9月～11月</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">江戸東京博物館（両国）等を予定</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>演習等</td><td colspan="4">○各会場の資料を活用した教材開発
・事前課題を基にしたフィールドワークと教材開発</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4211</td><td>研修名</td><td colspan="4">算数Ｉ（小・特）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">児童が主体的に取り組む算数科指導の基礎・基本
－「数学的活動が回りだす」授業づくり－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">数学的活動について理解を深め、算数の授業づくりの基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・特　　40名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、国立教育政策研究所教育課程調査官等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇学習指導等に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修
◇数学的活動について学習指導要領等に基づいて理解し、授業改善について考える研修
◇第２回は、指導教諭等による授業研究</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(３)、４-(８)、４-(13)、４-(14)、４-(15)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　算数編</td></tr>
<tr><td rowspan="6">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>6月28日(月)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○数学的活動の充実に向けた算数の授業づくりの理解
・学習指導要領の指導事項のポイント
・問題解決的な学習の進め方
・目標に準拠した評価による観点別学習状況の評価、評定</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②Ａ</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>9月27日（月）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>授業研究</td><td colspan="4">○児童が学習場面から問題を見いだし解決する活動を取り入れた授業の実際
・授業研究、協議</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②Ｂ</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>9月30日（木）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>授業研究</td><td colspan="4">○児童が学習場面から問題を見いだし解決する活動を取り入れた授業の実際
・授業研究、協議</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4212</td><td>研修名</td><td colspan="3">数学Ⅰ（中・特）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">数学科指導スキルアップ講座(中学校)
ー数学科　授業づくりの基礎･基本ー</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">数学的活動について理解を深め、学習指導案の協議等を通して数学の授業づくりの基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">中・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、都内公立学校の管理職等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇各自の学習指導案を用いたグループ協議実施後、助言者による個々の教員への指導・助言
◇学習指導に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修
◇東京都中学校数学教育研究会と連携した研修
◇学習指導要領改訂の趣旨についての動画視聴を事前課題とした研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">事前課題：２-(３)
参考：３-(５)、４-(９)、４-(13)、４-(14)、４-(15)、４-(16)、４-(17)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの)・上履き・くつ袋・事前課題（後日､「研修受講申込受付サイト」に掲載)・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　数学編</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">8月23日（月）</td><td>13:30-16:30</td><td>北区立王子桜中学校</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○授業づくりの基礎・基本
・中学校学習指導要領に基づく指導改善
・中学校における数学の授業づくり
・指導技術を高める方法について</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4213</td><td>研修名</td><td colspan="3">数学Ⅰ（高・特）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">数学科指導スキルアップ講座(高等学校)
ー数学科　授業づくりの基礎･基本ー</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">数学的活動について理解を深め、数学の授業づくりの基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">高・特　　30名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、文部科学省の視学官等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇第１回は、学習指導要領のポイント等について理解を深め、生徒が中学校までの「数学的活動の楽しさ」､「数学のよさ」を実感し粘り強く考えてきたことを踏まえ、高等学校の学習内容における「数学のよさ」や「数学の有用性や実用性」を認識させるための指導法及び評価方法を学ぶ研修
◇第２回は、指導教諭等による授業研究
◇学習指導に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：３-(５)、４-(９)、４-(13)、４-(14)、４-(15)、４-(16)、５-(５)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・高等学校学習指導要領（平成29年告示）解説　数学編</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>７月12日(月)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○数学的に考える資質・能力を育成する指導の充実
・学習指導要領改訂のポイント
・数学的活動の充実と評価について</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>９月～11月</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>授業研究</td><td colspan="3">○数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する授業の実際
・授業研究、協議</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4221</td><td>研修名</td><td colspan="3">算数Ⅱ（小・特）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">数学のよさを児童とともに味わおう
－算数科、数学的な表現の質を高める指導の工夫－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力の育成を目指した指導力の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、都留文科大学の滝井章特任教授を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修
◇算数科の主体的・対話的で深い学びの実現について、学習指導要領等に基づいて理解を深め、自身や若手教員の授業改善に生かす研修
◇学習指導要領改訂の趣旨についての動画視聴を事前課題とした研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-（３）、４-（８）、４-(13)、４-(14)、４-(15)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　算数編</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">6月24日（木）</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">【講義・演習】
○数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する指導の充実
・問題発見・解決の過程において、統合的・発展的に考えることができる児童を育成する指導について
・主体的・対話的で深い学びの実現について</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4222</td><td>研修名</td><td colspan="3">数学Ⅱ（中・特）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">生徒が統合的・発展的に考察する授業の工夫
－演習を通して「理解する、数学的に考える」資質・能力－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力の育成を目指した指導力の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">中・特　　40名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、文部科学省の教科調査官を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇学習指導要領のポイント等について理解を深め、数学的に考える資質・能力を育成する授業づくりと評価のための研修
◇生徒が数学を活用して事象を論理的に考察する力を育成するために必要な指導法及び評価方法を学ぶ研修
◇専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：２-（３）、４-（９）、４-(13)、４-(14)、４-(15)、４-(16)、４-(17)、５-（５）</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　数学編</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">6月28日(月)　13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○数学的に考える資質・能力を育成する数学の指導と評価について
・学習指導要領改訂のポイント
・数学的な見方・考え方を働かせた学習活動の工夫</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4223</td><td>研修名</td><td colspan="5">数学Ⅱ（中・高・特）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="6">生徒が数学の有用性や実用性を認識する指導の工夫</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="6">学習指導要領の目標を踏まえ、多様な生徒の実態に対応した授業展開や指導の工夫について学び、指導力の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="6">中・高・特　　30名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="6">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td colspan="2">主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="3">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td colspan="2">教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="6">講師は、明治大学の阿原一志教授を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="6">◇今後の数学教育の方向性や課題解決のヒントについて理解を深め、授業づくりのために、数学指導技術の専門性を高める研修
◇専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="6">参考：２-（３）、３-（５）、４-（９）、４-(13)、４-(14)、４-(15)、４-(16)、４-(17)、５-（５）</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="6">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・校種に応じた学習指導要領（平成29・30年告示）解説　数学編</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">9月30日（木）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義等</td><td colspan="5">○新学習指導要領で求められる数学の授業展開と指導の工夫</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4231</td><td>研修名</td><td colspan="3">数学Ⅲ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">数学体験館ってどんなとこ？
－数学的に考える資質・能力を育成する指導の充実－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">数学の専門的知識・理解を深め、数学的に考える資質・能力の育成に向けた指導力の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、東京理科大学の秋山仁教授、清水克彦教授を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇「数学における基本的な概念や原理・法則のよさ」や「数学的な表現や処理のよさ」、数学が生活に役に立っていることや数学が科学技術を支え相互に関わって発展してきたこと等、社会における数学の有用性や実用性を認識させる事ができる授業づくりのための研修
◇東京理科大学にある数学体験館での演習を通して、生徒に数学的に考える資質・能力を育成する指導の新たな視点を学ぶ研修
◇習得した知識・技能、内容を発展させ、学校・地域に普及・還元する力を身に付ける研修
◇東京理科大学と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：２-（３）、３-（５）、４-（９）、４-(13)、４-(14)、４-(15)、４-(16)、４-(17)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">9月24日（金）</td><td>13:30-16:30</td><td>東京理科大学（飯田橋）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習・
協議</td><td colspan="3">○数学教育が担うべき役割について
・数学と実社会との関わりについて</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4311</td><td>研修名</td><td colspan="3">理科Ⅰ（小・中・特）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">問題解決の力を養う理科の授業づくり
－理科の資質･能力を育てる授業－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">児童・生徒に問題解決の力を育成する学習について理解を深め、理科の見方・考え方を働かせるための具体的な指導の基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、文部科学省の教科調査官等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇第１回は、学習指導要領等のポイント等について理解を深め、小学校・中学校理科の資質・能力を育てる授業づくりのための研修
◇第２回は、指導教諭等による授業研究（小学校・中学校から選択）
◇学習指導に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(４)、２-(４)、４-(10)、４-(11)、４-(13)、４-(14)、４-(15)、４-(16)、４-(17)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・校種に応じた学習指導要領（平成29年告示）解説　理科編</td></tr>
<tr><td rowspan="6">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>6月28日(月)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義等</td><td colspan="4">○問題解決の力を養うための理科の授業づくり</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②Ａ</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>9月21日（火）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>授業研究</td><td colspan="4">○児童・生徒が主体的に学ぶ授業の実際</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②Ｂ</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>10月7日（木）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>授業研究</td><td colspan="4">○児童・生徒が主体的に学ぶ授業の実際</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4312</td><td>研修名</td><td colspan="3">理科Ⅰ（中・高・特）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">Biology　神秘の世界を求めて
－生物の探究的な実習と探究活動の充実を図る講座－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">生徒が理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うこと等を通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するための基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">中・高・特　　30名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、東京理科大学の武村政春教授を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇最先端の研究成果を基にした、生物の内容理解及び生徒の関心を高めるための教材や指導法についての実習
◇生徒の探究活動を指導する基礎的・基本的な力を身に付ける研修
◇東京都生物教育研究会と連携した研修
◇学習指導要領改訂の趣旨についての動画視聴を事前課題とした研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">事前課題：２-(４)、３-(６)
参考：４-(10)、４-(11)、４-(13)、４-(14)、４-(15)、４-(16)、４-(17)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>9月28日（火）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">未定</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義等</td><td colspan="4">○最新の生物学における研究の動向について
○生物に関する観察実験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>11月4日（木）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>授業研究</td><td colspan="4">○生徒が探究的な学びをする授業の工夫</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4321</td><td>研修名</td><td colspan="3">理科Ⅱ（小・中・特）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">深い学びにつなげる理科の教材開発
ー児童･生徒の主体性を高める授業づくりー</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">理科（「エネルギー」領域）に関する最新の研究成果を踏まえ、自然の事物・現象に対する関心や探究心を高めるための指導力の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・特　　30名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭及び主任教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、大学教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇エネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究する力を育成するための指導法を学ぶ研修
◇専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修
◇東京学芸大学と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(４)、２-(４)、４-(10)、４-(11)、４-(13)、４-(14)、４-(15)、４-(16)、４-(17)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">8月17日（火）　13:30-16:30</td><td colspan="2">東京学芸大学（武蔵小金井）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義等</td><td colspan="3">○エネルギー領域に関する研究の動向
・放射線に関する内容の教材の理解
・理科（「エネルギー」を柱とする領域）と日常生活や社会との関連
○深い学びにつなげる観察・実験の指導について</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4322</td><td>研修名</td><td colspan="3">理科Ⅱ（中・高・特）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">化学を探究する
－深い学びに導く「粒子」に関する教材開発のための授業づくり講座－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">化学に関する最新の研究成果を踏まえ、生徒が自然の事物・現象に対する関心や探究心を高めるための指導力の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">中・高・特　　20名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、お茶の水女子大学の相川京子教授を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇生体分子に関する学術研究成果と応用を学び、ヘパリンの抗凝固活性についての観察・実験
◇専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修
◇お茶の水女子大学と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：２-(４)、３-(６)、３-(27)、４-(10)、４-(11)、４-(13)、４-(14)、４-(15)、４-(16)、４-(17)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・白衣</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">9月22日（水）</td><td>13:30-16:30</td><td>お茶の水女子大学（茗荷谷）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
実習</td><td colspan="3">○生体分子に関する学術研究成果と応用
○科学的に探究する力を育てる教材開発のポイント
・生化学分野の観察・実験</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4331</td><td>研修名</td><td colspan="4">理科Ⅲ（小・特）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">日本科学未来館で科学への関心を高める
－外部機関を効果的に活用した実践講座－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">理科の学習指導の改善に必要な専門的な知識及び技能の習得を図るとともに、外部機関と連携して科学の面白さや有用性を教員や児童へ伝えたり、研修会の企画力を高めたりする等、校内・地域で理科教育を推進する力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、日本科学未来館の職員等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇日本科学未来館と所属校が育成を目指す資質・能力を共有し、相互の独自性を生かした学習プログラムを基に、児童に科学の面白さや有用性を感じさせる学習内容を更に発展させるための研修
◇小学校理科教育推進教員の養成講座
◇習得した知識・技能、内容を発展させ、学校・地域に普及・還元する力を身に付ける研修
◇日本科学未来館と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(４)、４-(10)、４-(11)、４-(13)、４-(15)、４-(16)、４-(17)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">10月18日（月）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">日本科学未来館（テレコムセンター）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○理科教育推進のための校外研修等の取組について
・児童が主体的に学ぶための博物館等の利用のポイント</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4332</td><td>研修名</td><td colspan="3">理科Ⅲ（小・中・高・特）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">ＪＡＸＡツアーに行こう！
－外部機関を効果的に活用した理科教育の実践講座－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">理科の学習指導の改善に必要な専門的な知識及び技能の習得を図るとともに、外部機関と連携して科学の面白さや有用性を教員や児童・生徒へ伝えたり、研修会の企画力を高めたりする等、校内・地域で理科教育を推進する力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、ＪＡＸＡの職員等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇「宇宙教育の授業への取り入れ方」、「素材の活用法」等の講義や演習を通して科学の面白さや有用性を学び、生徒の学習内容を更に発展させるための研修
◇習得した知識・技能、内容を発展させ、学校・地域に普及・還元する力を身に付ける研修
◇ＪＡＸＡ（宇宙航空研究開発機構）宇宙教育センターと連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-（４）、２-（４）、３-（６）、４-(10)、４-(11)、４-(13)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">８月 23 日（月）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">ＪＡＸＡ相模原キャンパス（淵野辺）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>演習・
実習・
協議・</td><td colspan="4">○科学への関心を高める外部施設の活用の実際
・ＪＡＸＡ（宇宙航空研究開発機構）及び宇宙科学研究所の概要
・宇宙開発の成果
・宇宙開発の手法を活用した理科教育の推進</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4411</td><td>研修名</td><td colspan="3">総合的な学習の時間・総合的な探究の時間Ⅰ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">「総合的な学習の時間」から「総合的な探究の時間」へ
－「探究的な見方・考え方」を働かせて、自己の生き方を考える－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">「総合的な学習の時間」及び「総合的な探究の時間」のねらいを理解し、育成する資質・能力を明らかにした学習活動を充実させるための基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、文部科学省の教科調査官等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇「総合的な学習の時間」及び「総合的な探究の時間」の指導に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修
◇後半は＜小・中学校分科会＞及び＜高等学校分科会＞に分かれて実践発表から学ぶ研修
◇申込時に後半の分科会を選択</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(13)、２-(12)、３-(27)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・校種に応じた学習指導要領（平成29・30年告示）解説　総合的な学習の時間編、総合的な探究の時間編</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">9月9日(木)</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
実践発表</td><td colspan="3">＜全体会＞
○「総合的な学習の時間」及び「総合的な探究の時間」の指導の充実のための基礎・基本
・学習指導要領等のポイント
・総合的な学習の時間で育成する資質・能力について

＜小・中学校分科会＞
○「総合的な学習の時間」で育成する資質・能力を明らかにした学習活動について
・実践発表
・協議、まとめ
＜高等学校分科会＞
○「総合的な探究の時間」で育成する資質・能力を明らかにした学習活動について
・実践発表
・協議、まとめ</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4611</td><td>研修名</td><td colspan="3">音楽Ⅰ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">音楽科、授業づくりの基礎・基本
－「見方・考え方」を働かせる、題材構成や指導の工夫－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">音楽科の指導の充実を図るために、題材構成の方法や、思考、判断し、表現する一連の過程を大切にした学習の基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、文部科学省の教科調査官等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇音楽科の題材構成や指導の工夫について学ぶ研修
◇学習指導に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修
◇第２回は、指導教諭等による授業研究
◇東京都中学校音楽教育研究会と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(６)、２-(５)、３-(８)、３-(24)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・校種に応じた学習指導要領（平成29・30年告示）解説　音楽編　※第２回の授業研究には事前課題があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>6月29日（火）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習等</td><td colspan="3">○音楽科の指導の充実のための基礎・基本
・学習指導要領等のポイント
・「音楽的な見方・考え方」を働かせた学習活動について
○演習・協議</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">9月～11月</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>授業研究</td><td colspan="3">○思考、判断し、表現する一連の過程を大切にした学習の実際</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4621</td><td>研修名</td><td colspan="3">音楽Ⅱ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">児童・生徒に多様な音楽体験を
－我が国の音楽についての指導の充実－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">和楽器の実習や実践事例を通して、児童・生徒が多様な音楽活動を幅広く学ぶ授業をつくる力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">４年目以上の教諭及び主任教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、大学講師等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇和楽器の実技研修を通して、専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修（実践事例は、小学校の内容を中心とする）
◇申込時に箏または三味線の分科会を選択
◇東京都小学校音楽教育研究会と連携した研修
◇学習指導要領改訂の趣旨についての動画視聴を事前課題とした研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">事前課題：１-（６）、２-（５）、３-(24)　参考：３-（８）</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）※分科会ごとの持ち物は後日「研修受講申込受付システム」でお知らせします。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">8月23日（月）</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・実習等</td><td colspan="4">○我が国の伝統的な音楽の特徴と背景
・我が国の音楽文化の背景となる文化・歴史の理解
○学習指導要領に基づく和楽器の実技指導のポイント
・我が国の音楽文化を尊重する態度を養うための指導の工夫
・和楽器の指導</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4631</td><td>研修名</td><td colspan="3">音楽Ⅲ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">音や音楽、音楽文化と豊かに関わる力を育む音楽科の指導
－学びの連続性や系統性をねらった授業づくり－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">多様な角度から学習指導要領の趣旨を踏まえた音楽の授業づくりを推進する力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　80名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、国立音楽大学の教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇講義と実習を通して、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりについて幅広く学ぶ研修
◇習得した知識・技能、内容を発展させ、学校・地域に普及・還元する力を付ける研修
◇第２回は、申し込み時に分科会を選択
◇国立音楽大学と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-（６）、２-（５）、３-（８）、３-(24)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・箏の分科会は箏爪を持参</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>7月20日（火）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習等</td><td colspan="3">○学習指導要領に基づく授業づくりのポイント
・学習指導要領と第２回の演習とのかかわりのポイント</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>9月3日（金）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">国立音楽大学（玉川上水）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実習等</td><td colspan="3">※申込時に選択した分科会に分かれて受講
○実技を通した音楽文化や指導方法等の実践的理解
・授業づくりを充実するために必要となる知識や技能について</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4711</td><td>研修名</td><td colspan="3">図画工作・美術Ⅰ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">造形的なよさや美しさに気付き、感じ取り、思考する児童・生徒の育成
－表現と鑑賞を関わらせた図画工作・美術科の指導の工夫－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">図画工作・美術科の指導の充実を図るために、表現と鑑賞の関連を図った授業、地域の美術館等と連携した授業の基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、文部科学省教科調査官等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇学習指導に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修
◇美術館と連携した授業実践について学ぶ研修
◇第２回は、指導教諭等による授業研究
◇東京都図画工作研究会と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(７)、２-(６)、３-(８)、３-(25)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・校種に応じた学習指導要領（平成29・30年告示）解説　図画工作編、美術編</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>7月7日（水）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習等</td><td colspan="3">○学習指導要領を踏まえた授業改善
・表現したり鑑賞したりする資質・能力を相互に関連させながら育成する指導の工夫
・指導と評価の在り方
○現代美術館と学校が連携した授業実践について</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">9月～11月</td><td>13:30-16:30</td><td>未定</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>授業研究</td><td colspan="3">○表現と鑑賞の関連を図った指導と評価の実際</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4721</td><td>研修名</td><td colspan="3">図画工作・美術Ⅱ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">自分自身をつくりだす図画工作・美術科の学び
－創造性を育む授業づくりの工夫－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">創造的な技能、豊かな発想力を育む指導方法、授業展開等について学び、学校・地域に普及・還元する力を身に付けます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">４年目以上の教諭及び主任教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、東京造形大学の教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇「造形的な見方・考え方」を働かせた学習活動について、講義と実習を通して学ぶ研修
◇専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修
◇東京造形大学と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-（７）、２-（６）、３-（８）、３-(25)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・校種に応じた学習指導要領（平成29・30年告示）解説　図画工作・美術編※その他の持ち物については後日「研修受講申込受付システム」に掲載します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">10月29日（金）　13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習等</td><td colspan="3">○学習指導要領のポイント
・学習指導要領の理解
・教科横断的な指導の工夫について
○表現と鑑賞を関連付けた取組
・実習を通した材料や用具の取扱い
・事例を通した授業展開の理解</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２―０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4811</td><td>研修名</td><td colspan="3">体育Ⅰ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">運動の楽しさと喜びを味わう
－実技を通して学ぶ体育の授業づくり－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるための授業づくりについて学び、学習指導における基礎的・基本的な力を身に付けます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・特　　40名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、日本体育大学の白旗和也教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇学習指導に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修
◇実技や協議、演習を通して、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ることのできる研修
◇日本体育大学と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(９)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　体育編・運動ができる服装・体育館シューズ・飲料水・タオル等</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>10月12日(火)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">都立光明学園（梅ヶ丘）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
実習</td><td colspan="3">○学習指導要領等のポイント
○実技を通した授業づくりの実践的な理解</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>11月15日(月)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>協議・
演習</td><td colspan="3">○単元指導計画づくり</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２―０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4821</td><td>研修名</td><td colspan="3">体育・保健体育Ⅱ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">コオーディネーショントレーニングの基礎と実践
－脳と体幹を刺激する指導法を学ぶ－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">児童・生徒一人一人の体力向上を図るための専門的な技能を習得し、実践的指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　80名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、NPO 法人日本コオーディネーショントレーニング協会の職員等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修
◇運動生理学や脳科学の研究から考案されたコオーディネーショントレーニングについて学び、児童・生徒の体力向上を図る取組を計画・推進できるようにする研修
◇同一内容の研修を２会場で実施、いずれかの会場を選択</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(９)、２-(７)、３-(７)、６-(１)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・運動ができる服装・体育館シューズ・飲料水・タオル等</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">10月13日（水）</td><td>13:30-16:30</td><td>※会場選択
都立水元小合学園
（水元総合スポーツセンター）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実習</td><td colspan="4">○コオーディネーショントレーニングの実践</td></tr>
<tr><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">11月17日（水）</td><td>13:30-16:30</td><td>※会場選択
都立光明学園（梅ヶ丘）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実習</td><td colspan="4">○コオーディネーショントレーニングの実践</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>4911</td><td>研修名</td><td colspan="3">家庭Ⅰ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">未来の食文化を担う子供たちへ
－家庭科の特質を生かした食育－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">家庭科における発達段階に応じた食育の充実を図り、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造させるための実践的指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　60名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、女子栄養大学の教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇持続可能な社会の構築など社会的課題に対応した指導の充実について学ぶ研修
◇学習指導に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修
◇女子栄養大学と連携した研修

【事前課題】
・家庭科御自身で授業実践される（実践された）「食生活」（小・中学校）、「フードデザイン」または「食文化」（高等学校）分野の学習指導案を作成する。（本時案のみ）（所定の様式を使用）
・研修当日に、４部印刷し持参する。事前課題を用いた研修実施を予定。

【事前課題の様式について】
・東京都教職員研修センターホームページ「研修受講申込受付システム」にログインしていただき、「研修関連文書・リーフレット等」の「4911_家庭Ⅰ　事前課題」の様式を御活用ください。

※事前課題の参考に、下記「研修に関する動画」も御視聴ください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">東京都教職員研修センターホームページ「マイ・キャリア・ノート」内、「研修動画一覧」の動画を参照ください。
・学習指導要領のポイント（小学校）家庭（30教研セ）
・学習指導要領のポイント（中学校）技術・家庭（家庭）（30教研セ）
https://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.lg.jp/staff/movie_training/index.html</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）※その他の持ち物が必要な場合は後日「研修受講申込受付システム」に掲載します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">9月21日（火）　13:30～16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・演習等</td><td colspan="4">○食育や食文化に関する学習活動の充実
・日本の食文化についての理解
・「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習活動の工夫
・教科横断的な学習について
※調理実習は実施しません。</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5011</td><td>研修名</td><td colspan="4">技術Ⅰ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">もっと知りたい!「技術による問題解決」
－プログラミング的思考等の育成を目指した学習活動の工夫－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">技術によって問題を解決できる力や技術を工夫し創造しようとする態度を育成する技術・家庭科（技術分野）指導の基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">中・特　　20名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、東京学芸大学大学院の大谷忠教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇小学校でのプログラミング教育の成果を踏まえた技術科指導の工夫について学ぶ研修
◇学習指導に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：２-（８）、５-(26)、５-(27)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　技術編</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>7月12日(月)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="3">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○技術・家庭科（技術分野）指導の充実のための基礎・基本
○「技術による問題解決」と思考力、判断力、表現力等の育成について</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">9月～11月</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">都立多摩図書館（西国分寺）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>授業研究</td><td colspan="4">○授業展開、教材活用等の実際</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="3">研修番号</td><td>5111</td><td>研修名</td><td colspan="3">外国語活動Ｉ（外活基礎）</td></tr>
<tr><td colspan="3">研修タイトル</td><td colspan="5">楽しい外国語活動の授業づくり【基礎】
－具体的な教材や１単位時間の授業づくり、指導法－</td></tr>
<tr><td colspan="3">ねらい</td><td colspan="5">外国語の音声や表現に慣れ親しむための具体的な教材や授業展開、指導法の基礎・基本について学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="3">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・特　　70名まで</td></tr>
<tr><td colspan="3">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td colspan="2">基礎形成期【Ⅰ】　伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td colspan="2">○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">講師</td><td colspan="5">講師は、拓殖大学教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="3">特色</td><td colspan="5">◇教諭１年目から８年目を対象とした、学習指導要領の趣旨を踏まえ、ねらいに迫るための指導計画の作成及び学習指導の力を高める研修
◇“Let’s Try!”及び“Welcome to Tokyo”の活用や授業展開が理解できる研修
◇拓殖大学と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="3">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(10)、１-(12)、４-(３)、４-(15)、５-(28)</td></tr>
<tr><td colspan="3">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　外国語活動・外国語編</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">8月19日(木)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○学習指導要領を踏まえた授業づくりの基礎・基本
・音声や表現に慣れ親しませる指導の在り方
・言語活動の理解と充実
○小学校外国語活動における１単位時間の授業づくりの基礎・基本
・１単位時間の指導の工夫</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">9月14日(火)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実践発表・
演習</td><td colspan="4">○文部科学省　“Let’s Try!”、東京都独自教材“Welcome to Tokyo”等を活用した中学年外国語活動の授業の実際
・映像資料による実践事例紹介
・具体的なアクティビティーの紹介
○具体的な指導方法の理解
・グループワークによる指導実践</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5112</td><td>研修名</td><td colspan="3">外国語Ｉ（小基礎）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">小学校外国語科の授業づくり【基礎】
－教科書を効果的に活用した授業展開、指導法、学習評価－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">小学校学習指導要領外国語科の目標及び内容等を理解し、具体的な教材や授業展開、指導法、学習評価の基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、文部科学省の教科調査官等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇学習指導等に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修
◇第１回は、授業展開や指導法、学習評価等に関する授業研究(授業映像を用いた実践発表)
◇第２回は、文部科学省視学官等による学習指導要領等を踏まえた授業展開、指導法、学習評価等に関する講義・演習及び事前課題を用いた協議</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(10)、４-(３)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　外国語活動・外国語編
※第２回で、事前課題があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">9月14日（火）</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実践発表・
演習</td><td colspan="3">○教科書等を効果的に使った外国語科の授業展開
・１単位時間の授業の実際（授業映像を用いた実践発表）
・学習評価に関する事例</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">10月12日(火)</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○学習指導要領を踏まえた外国語科の授業づくりの基礎・基本
・検定教科書等を使用した指導法
・学習評価の進め方と工夫</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5113</td><td>研修名</td><td colspan="3">英語Ⅰ（中基礎）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">中学校外国語科の授業づくり【基礎】
－学習指導要領改訂のポイントを踏まえた授業展開、指導法、学習評価－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">中学校学習指導要領の目標及び内容等を理解し、授業展開や指導法、学習評価の基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">中・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、文部科学省の教科調査官等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇学習指導等に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修
◇第１回は、授業展開、指導法、学習評価等に関する授業研究（授業映像を用いた実践発表）
◇第２回は、文部科学省の教科調査官等による学習指導要領を踏まえた授業展開、指導法、学習評価等に関する講義・演習及び事前課題を用いた協議</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：２-(10)、４-(３)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　外国語編
※第２回で、事前課題があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>9月27日（月）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実践発表・
演習</td><td colspan="3">○生徒に英語を積極的に使用させる授業展開、教材活用等の実際
・英語で行う授業の実践事例（授業映像を用いた実践発表）
・パフォーマンス評価の実施例</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">11月5日(金)</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○学習指導要領を踏まえた授業づくりの基礎・基本
・学習指導要領の趣旨
・生徒の英語によるスピーキングやライティング等のパフォーマンスを高めるための指導と評価</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5114</td><td>研修名</td><td colspan="3">英語Ⅰ（高基礎）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">高等学校外国語科の授業づくり【基礎】
－学習指導要領改訂を見据えた授業展開、指導法、学習評価、ＡＬＴ等との連携－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">高等学校学習指導要領の目標及び内容等を理解し、授業展開や指導法、学習評価、ＡＬＴ等との連携についての基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、文部科学省の教科調査官等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇第１回は、授業展開、指導法、学習評価、ＡＬＴ等を効果的に活用したティーム・ティーチングに関する授業研究（授業映像を用いた実践発表）
◇第２回は、文部科学省の教科調査官等による授業展開、指導法、学習評価に関する講義・演習及び事前課題を用いた協議</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：３-（９）、４-（３）</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説　外国語編　英語編
※第２回で、事前課題があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">9月28日（火）</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実践発表・
演習</td><td colspan="3">○生徒に英語を積極的に使用させる授業展開、教材活用等の実際
・ＡＬＴ等とのティーム・ティーチングの実践事例（授業映像を用いた実践発表）
・ＡＬＴ等の効果的な活用
・パフォーマンス評価の実施例</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">11月9日（火）</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○学習指導要領を踏まえた授業づくりの基礎・基本
・新学習指導要領の趣旨
・生徒の英語によるスピーキングやライティング等のパフォーマンスを高めるための指導と評価</td></tr>
</table>

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5121</td><td>研修名</td><td colspan="4">外国語活動・外国語Ⅱ（Basic）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">英語教育中核教員養成講座【Basic】</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">教員が、外国語活動及び外国語科の授業実践に必要な指導技術を身に付けられるよう、大学と連携した研修をすることにより、東京都における英語教育を推進する上での中核となる資質・能力の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">校内で外国語教育推進の中核としての役割を期待されている教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td colspan="2">基礎形成期【Ⅰ】　伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、成蹊大学の小野尚美教授を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇東京学芸大学と連携して開発した研修プログラム
◇英語力編・指導力編で構成し、受講者が段階的にそれぞれの力を向上させることができるよう、具体的な目標を設定
◇文部科学省教材“Let’s Try!”、東京都作成教材“Welcome to Tokyo”を活用
◇成蹊大学と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(10)、１-(12)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　外国語活動・外国語編</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">6月18日(金)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">STEP３　英語力編・指導力編
○授業での児童とのやり取りを想定し、児童の発話に対して適切な対応ができる。
・絵本の読み聞かせをする。
・基本の表現を使って英語で会話をする。
○授業づくりのポイントや、ねらいを実現するための指導の手だてを理解する。
・児童の発話を引き出す活動を考える。
・読み書きの指導のポイントを理解する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">7月2日(金)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">STEP４　英語力編・指導力編
○児童に聞かせる内容の質を高くするための自分の課題に気付き、自主的に英語力アップに取り組むことができる。
・基本の表現を使って英語で会話をする。
○１単位時間の指導の組み立て方を理解する。
・マイクロティーチングを通して、活動の目的を理解する。</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5122</td><td>研修名</td><td colspan="3">外国語活動・外国語Ⅱ（小応用）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">小学校外国語科の授業づくり【応用】
－外国語活動から外国語科へつなげる授業づくり－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">小学校中学年から高学年までの系統的な指導の在り方について学び、小学校外国語活動及び外国語科の指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・特　　100名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、上智大学教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭を対象とした、専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修
◇小学校外国語活動及び外国語科の学習指導の系統性が理解できる研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(10)、１-(12)、２-(10)、４-(３)、４-(15)、５-(28)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　外国語活動・外国語編</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">8月17日(火)</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実践発表・
演習</td><td colspan="3">○学習指導要領改訂のポイントの理解
○中学年から高学年までの系統的な指導の実際（授業映像を用いた実践発表）
・学習指導のポイント
・実践発表者による実践紹介</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">9月28日(火)</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○小学校外国語活動及び外国語科で育成を目指す資質能力と教員の指導力向上
・中学年から高学年までの系統的な指導のポイント
・「慣れ親しみ」から「定着」への具体的な指導方法等</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5123</td><td>研修名</td><td colspan="3">外国語・英語Ⅱ（小・中応用）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">外国語科の授業づくり【応用】
－小学校と中学校の学びのつながりを意識した外国語科の指導－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">小学校から中学校までの系統的な指導の在り方について学び、小学校及び中学校の外国語科の指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、文部科学省の視学官等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭を対象とした、専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修
◇小学校及び中学校の外国語科の目標や内容、小中連携や学習内容の接続のポイントについて理解できる研修
◇英語教育推進リーダー等による授業映像を用いた実践発表等</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(10)、１-(12)、２-(10)、４-(３)、４-(15)、４-(17)、５-(５)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　外国語活動・外国語編
・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　外国語編</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">9月22日（水）</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実践発表・
演習等</td><td colspan="3">○学習指導要領改訂のポイント
○系統的な学習指導の実際
・授業映像を用いた実践事例紹介
・中学校との連携を踏まえた指導や取組の実際
・小中連携のポイントと指導の工夫（ワークショップ）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">10月19日(火)</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○小学校及び中学校の学習指導要領の目標と内容のつながり
・円滑に接続するための指導のポイント
・言語活動の充実について</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5124</td><td>研修名</td><td colspan="3">英語Ⅱ（中・高応用）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">外国語科の授業づくり【応用】
－中学校・高等学校　生徒の４技能を高める指導法－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">五つの領域の言語活動を通して、生徒の４技能を養い、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する指導法や授業づくりについて学び、中学校・高等学校英語教員の指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、一般社団法人実用英語推進機構の安河内哲也代表理事等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇第１回は、中高一貫教育校英語教育推進リーダー等による実践事例発表
◇第２回は、外部講師による授業づくりの在り方に関する講義・演習</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：２-(10)、３-(９)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>８月 23 日（月）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実践発表・演習</td><td colspan="4">○中高一貫教育校の実践事例から学ぶ指導の工夫
・中高連携を意識した指導計画・指導の工夫
・言語活動を通した指導の工夫</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">９月９日(木)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・演習</td><td colspan="4">○実践事例から学ぶ指導方法の理解
・「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の指導
・「話すこと」におけるパフォーマンス評価の実践例</td></tr>
</table>

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5131</td><td>研修名</td><td colspan="3">外国語活動・外国語Ⅲ（Advanced）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">英語教育中核教員養成講座【Advanced】</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">教員が、外国語活動及び外国語科の授業実践に必要な指導技術を身に付け、東京都における英語教育を推進する上での中核となる資質・能力の一層の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・特　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">・平成30年度英語教育中核教員養成講座又は平成31年度・令和2年度英語教育中核教員養成講座（Basic）の修了者で、受講を希望する者
・外国語活動の専科教員や会計年度任用職員で、受講を希望する者
・文部科学省が認定する英語教育推進リーダーで、受講を希望する者
・平成28・29年度教育庁指導部の事業における都が指定した英語教育推進リーダーで、受講を希望する者</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、東京学芸大学の粕谷恭子教授、文部科学省の視学官等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇平成30年度「英語教育中核教員養成講座」又は平成31年度「英語教育中核教員養成講座（Basic)」の修了者を対象とした発展編の研修
◇英語力編・指導力編で構成し、受講者が段階的にそれぞれの力を向上させることができるよう、具体的な目標を設定
◇東京学芸大学と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(10)、１-(12)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　外国語活動・外国語編</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>6月21日(月)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○外国語活動及び外国語科の授業実践に必要な高度な理論と発展的な指導技術（指導力編）
・学習評価についての最新情報の理解
・外国語科の単元指導計画から評価の総括までの理解</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>6月29日(火)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">都立多摩図書館（西国分寺）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○外国語活動及び外国語科の授業実践に必要な高度な理論と発展的な指導技術（英語力編）
・授業で扱う語彙や英語表現の理解
・授業場面を想定した英語使用の理解</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5132</td><td>研修名</td><td colspan="4">英語Ⅲ（中発展）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">中学校外国語科の授業づくり【発展】
－「話すこと」におけるパフォーマンス評価－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">「話すこと」の領域において設定する目標の実現を目指した指導と評価の一体化を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する指導法を学び、校内で英語教育を推進する力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">中・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">11年目以上の主任教諭、主幹教諭及び指導教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、文部科学省教科調査官等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇高い専門性と優れた指導力を身に付け、校内で英語教育を推進するリーダーを育成する研修
◇即興で情報を交換したり、考えや気持ちなどを伝え合ったりする力を育成する指導法を身に付ける研修
◇都内公立中学校指導教諭による「話すこと」におけるパフォーマンス評価の実施例の紹介
◇第1回は、指導教諭等による授業研究（授業映像を用いた実践発表）
◇第2回は、文部科学省教科調査官等による学習指導要領等を踏まえた講義・演習</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：2-(10)、４-(15)、４-(17)、５-(28)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・校種に応じた学習指導要領（平成29・30年告示）解説　外国語編</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">9月6日（月）</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実践発表</td><td colspan="4">○「話すこと」の目標の実現を目指した指導法の実際
・授業映像を用いた実践発表
・教科書等のテキストを「話すこと」の活動につなげていく指導事例</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">10月8日（金）</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○学習指導要領における学習評価の考え方
・観点別学習状況の評価、評定
・「話すこと」におけるパフォーマンス評価の在り方
・指導計画及び評価計画の作成</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5133</td><td>研修名</td><td colspan="3">英語Ⅲ（高発展）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">高等学校外国語科の授業づくり【発展】
－「話すこと」におけるパフォーマンス評価－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">「話すこと」の領域において設定する目標の実現を目指した指導と評価の一体化を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する指導法を学び、校内で英語教育を推進する力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">11年目以上の主任教諭、主幹教諭及び指導教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、文部科学省教科調査官等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇高い専門性と優れた指導力を身に付け、校内で英語教育を推進するリーダーを育成する研修
◇即興で情報を交換したり、考えや気持ちなどを伝え合ったりする力を育成する指導法を身に付ける研修
◇都内公立高等学校指導教諭による「話すこと」におけるパフォーマンス評価の実施例の紹介
◇第１回は、指導教諭等による授業研究（授業映像を用いた実践発表）
◇第２回は、文部科学省教科調査官等による学習指導要領等を踏まえた講義・演習</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：３-(９)、３-(26)、４-(15)、４-(17)、５-(28)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・校種に応じた学習指導要領（平成29・30年告示）解説　外国語編</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">９月～10月</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実践発表</td><td colspan="4">○「話すこと」の目標の実現を目指した指導法の実際
・授業映像を用いた実践発表
・教科書等のテキストを「話すこと」の活動につなげていく指導事例</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">11月11日(木)</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○学習指導要領における学習評価の考え方
・観点別学習状況の評価、評定
・「話すこと」におけるパフォーマンス評価の在り方
・指導計画及び評価計画の作成</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td colspan="2">5134</td><td>研修名</td><td colspan="3">英語還元（高・特）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="6">英語教育推進リーダー中央研修還元研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="6">最新の指導理論や方法について研修することにより、東京都における英語教育を推進する力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="6">高・特　　40名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="6">都立高等学校附属中学校及び都立高等学校、中等教育学校の外国語（英語）科教員のうち、平成31年度末時点の未修了者で受講対象となっている者</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="6">講師は、英語教育推進リーダー等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="6">◇平成27年度から平成31年度までの文部科学省による「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」と同じ内容の研修
◇英語教育推進リーダー中央研修修了者を講師とした研修
◇令和3年度から令和4年度の2年間での受講修了が可能</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="6">参考：3-(9)、3-(26)、4-(15)、4-(17)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="6">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="8">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">8月19日(木)</td><td>13:30-17:00</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・演習</td><td colspan="5">○文部科学省が定めた内容（高）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">9月8日(水)</td><td>13:30-17:00</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・演習</td><td colspan="5">○文部科学省が定めた内容（高）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">③</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">10月21日(木)</td><td>13:30-17:00</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・演習</td><td colspan="5">○文部科学省が定めた内容（高）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">④</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">11月29日(月)</td><td>13:30-17:00</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・演習</td><td colspan="5">○文部科学省が定めた内容（高）</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5201</td><td>研修名</td><td colspan="3">英語 ONE DAY（Basic）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">ＯＮＥ　ＤＡＹはじめての小学校英語講座【Basic】
ー英会話にチャレンジ―</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">コミュニケーション体験を通して英語に対する苦手意識を克服し、指導に役立つ英語表現を習得します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・特　　300 名まで（各回 50 名　6 回）</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">コミュニケーション能力の基礎・基本を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、外部委託者講師を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇英語の授業に必要な基本的な表現の習得
◇講師等と小グループでの歌や絵カード等を使ったコミュニケーション体験</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(10)、１-(12)、４-(３)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">日程等</td><td rowspan="3">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>9 月～11 月
(全６回の日程のうち１回選択)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター(4 回)
都立多摩図書館(2 回)</td></tr>
<tr><td colspan="4">※英語力向上研修（予定表）を御覧ください。</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○クラスルームイングリッシュや英語表現の理解
・“Let’s　Try!”や“Welcome to Tokyo”で扱われている表現、文法事項の復習
・伝わる英語表現の習得と実践
○学んだ表現を活用した英会話
・学んだ表現を活用した実用的な英会話レッスン</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5202</td><td>研修名</td><td colspan="3">英語 ONE DAY（Advanced）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">ＯＮＥ ＤＡＹはじめての小学校英語講座【Advanced】
－英語でコミュニケーション－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">コミュニケーション体験を通して英語に対する自信を高め、指導に役立つ発展的な英語表現を習得します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・特　　80 名まで（各回 40 名　2 回）</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">コミュニケーション能力を高めたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、外部委託者講師を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇英語で指示や発問を行うために必要な発展的な表現の習得
◇ネイティブ・スピーカーと小グループでの実際の状況や場面を想定したコミュニケーション体験
◇新たに発展的な内容のクラスとして開設</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(10)、１-(12)、４-(３)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">日程等</td><td rowspan="3">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>10 月
(全２回の日程のうち１回選択)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター(1 回)
都立多摩図書館(1 回)</td></tr>
<tr><td colspan="5">※英語力向上研修（予定表）を御覧ください。</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○クラスルームイングリッシュや英語表現の理解
・“Let’s Try!”や“Welcome to Tokyo”で扱われている表現、文法事項の復習
・伝わる英語表現の習得と実践
○英語でコミュニケーション実践
・学んだ表現を用いたコミュニケーション
・英語力を高める対話型レッスン</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5203</td><td>研修名</td><td colspan="3">英語ガイド</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">東京イングリッシュガイド養成のための指導者養成研修
－東京の名所を英語で紹介しようー</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">東京の名所等を巡って、英語でガイドをするポイントを学び、東京を英語で案内できる高校生ボランティア「東京イングリッシュガイド」を育成する力を身に付けます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">高・特　　30名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">基礎形成期【Ⅰ】から発展期【Ⅲ】までの英語力向上を目指したい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、外部委託者講師を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇「準備」「実施」「振り返り」「再実施」のサイクルで英語力を向上させる研修
◇“Welcome To Tokyo”を活用した研修
◇半日実施全３回の研修（第１回、３回は研修センターでの研修。第２回は実地研修を予定）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：３-(９)、３-(26)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・第１回のみ、“Welcome to Tokyo Intermediate”
※事前課題があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>9月13日（月）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>演習</td><td colspan="4">○東京イングリッシュガイド養成のための指導者養成事前研修
・実地研修に向けた事前研修
・東京イングリッシュガイド養成のための協議</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>10月５日（火）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">都内名所（国立競技場周辺を予定）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実地研修</td><td colspan="4">○実地研修
・外国人講師によるガイド研修
・東京の名所を英語で紹介
・講師からのフィードバックを踏まえた英語力向上の実践</td></tr>
<tr><td rowspan="2">③</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>10月11日（月）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>演習</td><td colspan="4">○東京イングリッシュガイド養成のための指導者養成研修
・東京イングリッシュガイド養成のための実践計画作成
・研修のまとめ</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5204</td><td>研修名</td><td colspan="3">英語力ＵＰ講座Ａ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">英語力ＵＰ！　集中講座【英検準２級程度】
ー「聞く力」「読む力」「話す力」「書く力」を高めようー</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">外国人講師等の英語による講義・演習を通して、コミュニケーションに必要な英語力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　60名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">英語力向上を目指したい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、外部委託者講師を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇英語検定準２級一次試験対策・二次試験スピーキング対策
◇授業を行うために必要な英語力の育成
◇半日３回の研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(10)、１-(12)、２-(10)、３-(９)、３-(26)、４-(３)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">９月～11月</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td colspan="4">※英語力向上研修（予定表）を御覧ください。</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○「聞く力」「読む力」を高める演習
・語彙、表現、文法事項等について
・英語で説明しよう。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">９月～11月</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td colspan="4">※英語力向上研修（予定表）を御覧ください。</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○「話す力」「書く力」を高める演習
・英語によるプレゼンテーション・ディスカッション等</td></tr>
<tr><td rowspan="2">③</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">９月～11月</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td colspan="4">※英語力向上研修（予定表）を御覧ください。</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○授業を行うために必要な英語力を高める演習
・授業における言語活動（マイクロティーチング等）</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5205</td><td>研修名</td><td colspan="3">英語力ＵＰ講座Ｂ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">英語力ＵＰ！　集中講座【英検２級程度】
ー「聞く力」「読む力」「話す力」「書く力」を高めようー</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">外国人講師等の英語による講義・演習を通して、コミュニケーションに必要な英語力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　60名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">英語力向上を目指したい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td>教諭</td><td colspan="2">主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td colspan="2">充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、外部委託者講師を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇英語検定２級一次試験対策・二次試験スピーキング対策
◇授業を行うために必要な英語力の育成
◇半日３回の研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(10)、１-(12)、２-(10)、３-(９)、３-(26)、４-(３)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>９月～11月</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td colspan="5">※英語力向上研修（予定表）を御覧ください。</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○「聞く力」「読む力」を高める演習
・語彙、表現、文法事項等について
・英語で説明しよう。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>９月～11月</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td colspan="5">※英語力向上研修（予定表）を御覧ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">③</td><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○「話す力」「書く力」を高める演習
・英語によるプレゼンテーション・ディスカッション等</td></tr>
<tr><td>実施日時
会場(予定)</td><td>９月～11月</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td colspan="5">※英語力向上研修（予定表）を御覧ください。</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○授業を行うために必要な英語力を高める演習
・授業における言語活動（マイクロティーチング等）</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5206</td><td>研修名</td><td colspan="3">英語力ＵＰ講座Ｃ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">英語力ＵＰ！　集中講座【英検準１級・TOEIC730 点程度】
ー「聞く力」「読む力」「話す力」「書く力」を高めようー</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">外国人講師等の英語による講義・演習を通して、コミュニケーションに必要な英語力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　60 名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">英語力向上を目指したい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、外部委託者講師を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇英語検定準１級一次試験対策・二次試験スピーキング対策
◇授業を行うために必要な英語力の育成
◇半日３回の研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(10)、１-(12)、２-(10)、３-(９)、３-(26)、４-(３)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">９月～11 月</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td colspan="5">※英語力向上研修（予定表）を御覧ください。</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○「聞く力」「読む力」を高める演習
・語彙、表現、文法事項等について
・英語で説明しよう。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">９月～11 月</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td colspan="5">※英語力向上研修（予定表）を御覧ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">③</td><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○「話す力」「書く力」を高める演習
・英語によるプレゼンテーション・ディスカッション等</td></tr>
<tr><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">９月～11 月</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td colspan="5">※英語力向上研修（予定表）を御覧ください。</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○授業を行うために必要な英語力を高める演習
・授業における言語活動（マイクロティーチング等）</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5207</td><td>研修名</td><td colspan="3">英語力ＵＰ講座Ｄ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">英語力ＵＰ！　集中講座【英検１級・TOEIC860 点程度】
ー「聞く力」「読む力」「話す力」「書く力」を高めようー</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">外国人講師等の英語による講義・演習を通して、コミュニケーションに必要な英語力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　60 名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">英語力向上を目指したい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td>教諭</td><td colspan="2">主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td colspan="2">充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td colspan="2">○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td colspan="2">外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、外部委託者講師を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇英語検定１級一次試験対策・二次試験スピーキング対策
◇授業を行うために必要な英語力の育成
◇半日３回の研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(10)、１-(12)、２-(10)、３-(９)、３-(26)、４-(３)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">９月～11 月</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td colspan="5">※英語力向上研修（予定表）を御覧ください。</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○「聞く力」「読む力」を高める演習
・語彙、表現、文法事項について
・英語で説明しよう。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">９月～11 月</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td colspan="5">※英語力向上研修（予定表）を御覧ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">③</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">９月～11 月</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td colspan="5">※英語力向上研修（予定表）を御覧ください。</td></tr>
<tr><td></td><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○授業を行うために必要な英語力を高める演習
・授業における言語活動（マイクロティーチング等）</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5311</td><td>研修名</td><td colspan="3">道徳Ｉ（小・特）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">小学校、道徳科の授業で大切なこと
－道徳科の基礎・基本(小学校)－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">学習指導要領を踏まえた小学校道徳科の目標及び特質を理解するとともに、具体的な授業展開や指導法、評価の基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・特　　100名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、文部科学省の教科調査官等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇学習指導要領を踏まえた授業づくりと評価の在り方について学ぶ研修
◇道徳科指導等に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(11)、４-(1)、４-(15)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　特別の教科道徳編</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">7月14日（水）</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
実践発表等</td><td colspan="4">○学習指導要領を踏まえた道徳科の基礎・基本について
○道徳科の特質を生かした授業づくり</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5312</td><td>研修名</td><td colspan="3">道徳Ｉ（中・特）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">中学校、道徳科の授業で大切なこと
－道徳科の基礎・基本(中学校)－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">学習指導要領を踏まえた中学校道徳科の目標及び特質を理解するとともに、具体的な授業展開や指導法、評価の基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">中・特　　100名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、文部科学省の教科調査官等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇学習指導要領を踏まえた授業づくりと評価の在り方について学ぶ研修
◇道徳科指導等に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：２-(11)、４-(1)、４-(15)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　特別の教科道徳編</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">7月20日（火）</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
実践発表等</td><td colspan="4">○学習指導要領を踏まえた道徳科の基礎・基本について
○道徳科の特質を生かした授業づくり</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5321</td><td>研修名</td><td colspan="3">道徳Ⅱ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">道徳教育で大切なこと
－学校教育全体における道徳教育の推進について－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">特別の教科道徳の特質を理解するとともに、学校の教育活動全体における道徳教育を推進するための指導力の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　100名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、帝京大学大学院の赤堀博行教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇道徳教育全体計画（別葉）や年間指導計画の活用と改善について学ぶ研修
◇専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(11)、２-(11)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・校種に応じた学習指導要領（平成29・30年告示）解説　総則編、特別の教科道徳編</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">7月5日(月)</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習等</td><td colspan="4">○教育活動全体における道徳教育推進の理解
○教育活動全体における道徳教育の推進に向けた取組の工夫</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5411</td><td>研修名</td><td colspan="3">特別活動Ⅰ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">特別活動の基礎・基本
－実践発表から学ぶ、三つの視点を踏まえた資質・能力の育み方－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の三つの視点を踏まえた特別活動における学習過程の基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　100名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、文部科学省の教科調査官等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせる実践的な学習過程について学ぶ研修
◇特別活動に関する基礎的・基本的内容について理解する研修
◇東京都高等学校特別活動研究会との連携研修
◇申込時に後半の分科会を選択</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(14)、２-(13)、３-(28)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・校種に応じた学習指導要領（平成29・30年告示）解説　特別活動編</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">11月8日（月）</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
実践発表等</td><td colspan="3">＜全体会＞
○特別活動の指導の充実のための基礎・基本
・学習指導要領等のポイント
・特別活動で育成すべき資質・能力
・キャリア・パスポートの活用

＜小・中分科会＞
○三つの視点を踏まえた特別活動の学習過程の実際
・グループ協議
＜高等学校分科会＞
○三つの視点を踏まえた特別活動の学習過程の実際
・グループ協議</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5511</td><td>研修名</td><td colspan="3">農業Ⅰ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">バイオテクノロジーを生かした農業を学ぼう！
ー最新の農業と授業づくりー</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">学習指導要領の改訂のポイントや農業教育を推進する基礎・基本について学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">高・特　　30名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、東京農業大学の武田晃治教授、村上敏文教授を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇最先端テクノロジーや情報を活用した農業について体験的に習得
◇東京農業大学と連携した研修
◇学習指導要領改訂の趣旨についての動画視聴を事前課題とした研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">事前課題：５-(13)　　参考：３-(13)、３-(14)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>9月17日（金）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">東京農業大学世田谷キャンパス（経堂）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○農業教育における施策と課題
・最新の農業
○農業に関する具体的な指導の在り方や効果的な指導法の工夫</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5611</td><td>研修名</td><td colspan="3">工業Ⅰ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">実践的・体験的な学習活動から学ぶ工業教育
－分野別（情報、機械、建築、電気）の演習を通して－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">工業の各分野に関する知識や技術・技能について学び、自らの授業改善を図るとともに、工業教育、ものづくり教育の推進につながる基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">高・特　　40名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、大学教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇各分野（情報、機械、建築、電気）の最先端技術を知り、授業改善の視点を習得
◇受講する分野（情報、機械、建築、電気）は、申込時に選択
◇東海大学と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：３-(13)、３-(15)、５-(13)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">8月23日（月）　13:30-16:30</td><td colspan="2">東海大学湘南キャンパス
（東海大学前）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○新学習指導要領で求められる工業教育全般における実験・実習の役割
○工業の各分野の実験・実習に関する具体的な指導の在り方や効果的な指導法の工夫</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5621</td><td>研修名</td><td colspan="4">工業Ⅱ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">安全第一！機械加工技術を習得しよう！
－各種大型機械と測定器の使い方－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">大型機械の操作に必要な専門的技能を習得し、実践的な指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">高・特　　10名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">９年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、都立学校専修実習助手を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇大型機械の操作に関する資格取得に必要な知識・技能の習得
◇大型機械の安全な操作方法や正確な計測方法等について実習
◇東京都機械工業教育研究会と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：３-(13)、３-(15)、５-(13)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・タオル・長袖作業服（つなぎ以外）・長ズボン・保護メガネ・安全帽・安全靴</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>8月16日（月）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">都立六郷工科高等学校</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実習他</td><td colspan="4">○大型機械の基本的な操作技術や安全な作業</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>8月17日（火）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">都立六郷工科高等学校</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実習他</td><td colspan="4">○大型機械の実技指導の課題と観点</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5711</td><td>研修名</td><td colspan="4">商業Ⅰ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">これからの商業教育
－社会自立を目指す生徒たちへの指導法の工夫－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">これからの商業教育についての施策について学ぶとともに、職業人に求められる課題を発見し、合理的かつ創造的に解決するための指導の在り方について学び、教員の実践力の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">高・特　　30名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、指導部主任指導主事、都立高等学校指導教諭等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇都立高校改革推進計画に基づく指導のポイント
◇新学習指導要領のねらいと身に付けさせたい資質・能力の向上</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：３-(16)、４-(12)、４-(13)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">11月15日(月)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○新学習指導要領で求められる商業教育
・地域と連携した指導の在り方</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>5811</td><td>研修名</td><td colspan="3">情報Ⅰ</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">高等学校情報科の指導のポイント
－これからの情報科の授業づくり－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">情報社会に積極的に参画する態度を育てるための具体的な指導法の工夫について学び、校内で情報教育を推進するための基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">高・特　　40名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">１年目から８年目までの教諭</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、都立学校指導教諭等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇情報活用能力を育む具体的な指導内容や指導方法の工夫を身に付ける研修（高等学校情報科「情報Ⅰ」教員研修用教材の内容を含む。）
◇東京都高等学校情報教育研究会と連携した研修
◇学習指導要領改訂の趣旨についての動画視聴を事前課題とした研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">事前課題：５-(11)　参考：３-(11)、３-(13)、３-(20)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>8月20日（金）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">都立立川高等学校</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○高等学校情報科「情報Ⅰ」教員研修用教材第１章～第３章</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>8月23日（月）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">都立立川高等学校</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○高等学校情報科「情報Ⅰ」教員研修用教材第３章～第４章</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7111</td><td>研修名</td><td colspan="3">国際理解教育</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">国際貢献活動体験者から学ぼう
－国際理解教育とＳＤＧｓ－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">国際理解教育における教材開発や学習指導等の専門的知識を習得するとともに、各校において国際理解教育を推進するための実践的指導力の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　100名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">国際理解教育に関する指導内容や教材開発等について学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、青年海外協力協会（JOCA）の職員等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇演習を通して国際理解教育とＳＤＧｓについて理解を深める研修
◇青年海外協力協会（ＪＯＣＡ）と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：４-(15)、５-(１)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">9月6日(月)　13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○国際理解教育の実際
・青年海外協力協会（JOCA）の体験談を通した国際社会の現状と課題の理解
・教材から学ぶ国際理解教育</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7211</td><td>研修名</td><td colspan="3">日本の伝統・文化理解教育</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">味わおう、受け継ごう、日本の伝統・文化
－日本の古典芸能から学ぶ指導法の工夫－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">日本の伝統・文化理解教育に関する教材開発の方法や学習活動等への理解を深めるとともに、校内において日本の伝統・文化理解教育を推進するための指導力の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　200名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">日本の伝統・文化理解教育に関する教材開発や学習活動等について学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、ＮＰＯ法人伝統文化みらい塾の職員等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇歌舞伎の体験を通して日本の伝統・文化について理解を深める研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：４-(15)、５-(14)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">6月21日(月)</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○伝統・文化理解教育の指導方法について
・歌舞伎の味わい方
・学校での教育活動に生かす日本の伝統・文化
・実践事例の紹介</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7311</td><td>研修名</td><td colspan="3">プログラミング教育</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">これでばっちり！プログラミング教育
－小学校実践編①－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">小学校におけるプログラミング教育について、各教科で計画的に実施できる実践的な指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小　　30名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">小学校におけるプログラミング教育の必要性と各教科の学習内容を関連付けながら、計画的に実施できる実践的指導力を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、公立学校指導教諭等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇ プログラミング教育の実践紹介をし、プログラミング的思考を重視した授業づくりと教材の操作、効果的活用について演習を行うことで、実践的指導力を高める。
◇ プログラミング教育について発展的な内容を取り上げて実施する。
◇ 東京都小学校プログラミング教育研究会との連携研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-(１)、５-(10)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">8月23日（月）</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実践発表
・演習</td><td colspan="3">○プログラミング的思考を重視した実践紹介
○プログラミング演習</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7312</td><td>研修名</td><td colspan="3">プログラミング教育</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">これでばっちり！プログラミング教育
－小学校実践編②－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">小学校におけるプログラミング教育について、各教科で計画的に実施できる実践的な指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小　　30名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">小学校におけるプログラミング教育の必要性と各教科の学習内容を関連付けながら、計画的に実施できる実践的指導力を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、公立学校指導教諭等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇ プログラミング教育の実践紹介をし、プログラミング的思考を重視した授業づくりと教材の操作、効果的活用について演習を行うことで、実践的指導力を高める。
◇ プログラミング教育について基礎的な内容を取り上げて実施する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-(１)、５-(10)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>11月17日(水)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実践発表
・演習</td><td colspan="3">○プログラミング的思考を重視した実践紹介
○プログラミング演習</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7313</td><td>研修名</td><td colspan="3">プログラミング教育</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">これでばっちり！プログラミング教育
－小学校実践編③－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">小学校におけるプログラミング教育について、各教科で計画的に実施できる実践的な指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小　　30名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">小学校におけるプログラミング教育の必要性と各教科の学習内容を関連付けながら、計画的に実施できる実践的指導力を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、江戸川区立東小松川小学校教諭等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇ プログラミング教育の実践紹介をし、プログラミング的思考を重視した授業づくりと教材の操作、効果的活用について演習を行うことで、実践的指導力を高める。
◇ プログラミング教育について基礎的な内容を取り上げて実施する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-(１)、５-(10)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>９月 24 日（金）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実践発表
・演習</td><td colspan="3">○プログラミング的思考を重視した実践紹介
○プログラミング演習</td></tr>
</table>

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7314</td><td>研修名</td><td colspan="3">プログラミング教育</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">これでばっちり！プログラミング教育
－小学校実践編④－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">小学校におけるプログラミング教育について、各教科で計画的に実施できる実践的な指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小　　30名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">小学校におけるプログラミング教育の必要性と各教科の学習内容を関連付けながら、計画的に実施できる実践的指導力を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td colspan="2">○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、福生市立福生第七小学校指導教諭等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇ プログラミング教育の実践紹介をし、プログラミング的思考を重視した授業づくりと教材の操作、効果的活用について演習を行うことで、実践的指導力を高める。
◇ プログラミング教育について基礎的な内容を取り上げて実施する。
◇ 多摩地区会場での開催予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-(１)、５-(10)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">９月17日（金）　13:30-16:30</td><td colspan="2">たましんＲＩＳＵＲＵホール
第一会議室（立川）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実践発表
・演習</td><td colspan="4">○プログラミング的思考を重視した実践紹介
○プログラミング演習</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7411</td><td>研修名</td><td colspan="3">ＩＣＴ活用・オンライン学習</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">ＩＣＴを活用した授業づくり基礎講座
－小学校Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ　Ｔｅａｍｓ活用編－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">小学校におけるＩＣＴ活用の必要性と各教科の学習内容を関連付けながら、計画的に実施できる実践的な指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小　　30名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">小学校におけるＩＣＴ活用の必要性と各教科の学習内容を関連付けながら、計画的に実施できる実践的指導力を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、教職員研修センター研修部統括指導主事、公立学校指導教諭等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇ 小学校におけるＩＣＴを効果的に活用した授業実践を知り、
Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ社のアプリケーションの操作方法とＩＣＴの効果的な活用について演習を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-(１)、５-(11)、５-(26)、５-(27)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">７月２日(金)</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
実践発表
・演習</td><td colspan="3">○ＩＣＴ活用・オンライン学習について
○実践発表
○ＩＣＴツール操作説明と演習</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7412</td><td>研修名</td><td colspan="3">ＩＣＴ活用・オンライン学習</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">ＩＣＴを活用した授業づくり基礎講座
－小学校Ｇｏｏｇｌｅ Ｇ Ｓｕｉｔｅ活用編－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">小学校におけるＩＣＴ活用の必要性と各教科の学習内容を関連付けながら、計画的に実施できる実践的な指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小　　30名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">小学校におけるＩＣＴ活用の必要性と各教科の学習内容を関連付けながら、計画的に実施できる実践的指導力を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、教職員研修センター研修部統括指導主事、公立学校指導教諭等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇ 小学校におけるＩＣＴを効果的に活用した授業実践を知り、
Ｇｏｏｇｌｅ社のアプリケーションの操作方法とＩＣＴの効果的な活用について演習を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-(１)、５-(11)、５-(26)、５-(27)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">７月16日(金)</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
実践発表
・演習</td><td colspan="3">○ＩＣＴ活用・オンライン学習について
○実践発表
○ＩＣＴツール操作説明と演習</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7413</td><td>研修名</td><td colspan="3">ＩＣＴ活用・オンライン学習</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">ＩＣＴを活用した授業づくり基礎講座
－中学校Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ　Ｔｅａｍｓ活用編－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">中学校におけるＩＣＴ活用の必要性と各教科の学習内容を関連付けながら、計画的に実施できる実践的な指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">中　　30名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">中学校におけるＩＣＴ活用の必要性と各教科の学習内容を関連付けながら、計画的に実施できる実践的指導力を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、教職員研修センター研修部統括指導主事、公立学校指導教諭等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇ 中学校におけるＩＣＴを効果的に活用した授業実践を知り、
Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ社のアプリケーションの操作方法とＩＣＴの効果的な活用について演習を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-(１)、５-(11)、５-(26)、５-(27)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">７月 13 日(火)</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
実践発表
・演習</td><td colspan="3">○ＩＣＴ活用・オンライン学習について
○実践発表
○ＩＣＴツール操作説明と演習</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7414</td><td>研修名</td><td colspan="3">ＩＣＴ活用・オンライン学習</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">ＩＣＴを活用した授業づくり基礎講座
－中学校Ｇｏｏｇｌｅ Ｇ Ｓｕｉｔｅ活用編－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">中学校におけるＩＣＴ活用の必要性と各教科の学習内容と関連付けながら、計画的に実施できる実践的な指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">中　　30名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">中学校におけるＩＣＴ活用の必要性と各教科の学習内容と関連付けながら、計画的に実施できる実践的指導力を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、教職員研修センター研修部統括指導主事、公立学校指導教諭等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇ 中学校におけるＩＣＴの効果的に活用した授業実践を知り、
Ｇｏｏｇｌｅ社のアプリケーションの操作方法とＩＣＴの効果的な活用について演習を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-(１)、５-(11)、５-(26)、５-(27)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">７月８日(木)</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
実践発表
・演習</td><td colspan="3">○ＩＣＴ活用・オンライン学習について
○実践発表
○ＩＣＴツール操作説明と演習</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td colspan="2">7415</td><td>研修名</td><td colspan="3">ＩＣＴ活用・オンライン学習</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="6">ＩＣＴを活用した授業づくり基礎講座
－高等学校Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ　Ｔｅａｍｓ活用編－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="6">高等学校等におけるＩＣＴ活用の必要性と各教科の学習内容を関連付けながら、計画的に実施できる実践的な指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="6">高　　30名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="6">高等学校等におけるＩＣＴ活用の必要性と各教科の学習内容を関連付けながら、計画的に実施できる実践的指導力を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="6">講師は、教職員研修センター研修部統括指導主事、公立学校指導教諭等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="6">◇ 高等学校におけるＩＣＴを効果的に活用した授業実践を知り、Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ社のアプリケーションの操作方法とＩＣＴの効果的な活用について演習を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="6">参考：５-(１)、５-(11)、５-(26)、５-(27)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="6">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">７月７日(水)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
実践発表
・演習</td><td colspan="5">○ＩＣＴ活用・オンライン学習について
○実践発表
○ＩＣＴツール操作説明と演習</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7416</td><td>研修名</td><td colspan="3">ＩＣＴ活用・オンライン学習</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">ＩＣＴを活用した授業づくり基礎講座
－特別支援学校Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ　Ｔｅａｍｓ活用編－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">特別支援学校におけるＩＣＴ活用の必要性と各教科の学習内容を関連付けながら、計画的に実施できる実践的な指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">特　　30名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">特別支援学校におけるＩＣＴ活用の必要性と各教科の学習内容を関連付けながら、計画的に実施できる実践的指導力を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、教職員研修センター研修部統括指導主事、公立学校指導教諭等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇ 特別支援学校におけるＩＣＴを効果的に活用した授業実践を知り、Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ社のアプリケーションの操作方法とＩＣＴの効果的な活用について演習を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-(１)、５-(11)、５-(26)、５-(27)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">７月 20 日(火)</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
実践発表
・演習</td><td colspan="3">○ＩＣＴ活用・オンライン学習について
○実践発表
○ＩＣＴツール操作説明と演習</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7511</td><td>研修名</td><td colspan="3">情報モラル教育</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">情報モラル教育
－児童・生徒が効果的にＩＣＴを活用するために－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">情報モラルに関する正しい知識と情報社会に参画する態度を育むための実践的な指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　100名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">情報モラルに関する正しい知識と情報社会に参画する態度を育むための実践的な指導力を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、静岡大学の塩田真吾准教授、指導部統括指導主事等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇ 情報モラル教育に関する講義とＳＮＳ東京ノートを活用した演習を行い、児童・生徒が情報社会で適正な活動を行うための基礎となる考えと態度を身に付けられる指導方法を学ぶ。</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-(１)、５-(11)、５-(20)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">7月12日（月）</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○ＳＮＳ東京ノートについて
○新しい情報モラル教育</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7512</td><td>研修名</td><td colspan="3">キャリア教育</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">これからのキャリア教育
－子供の社会的・職業的自立を目指して－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">キャリア教育の基本的な考え方や発達段階を踏まえたキャリア教育の取り組みを学び、校内におけるキャリア教育を推進するための実践的指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　200名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">キャリア教育の基本的な考え方や発達段階に応じた指導についての実践的指導力を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、大学教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇「キャリア・パスポート」の活用について理解を深める研修
◇キャリア教育の実践について理解を深める研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-(13)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">7月8日（木）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">たましんRISURUホール</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義等</td><td colspan="4">○東京都におけるキャリア教育の推進について
・学習指導要領との関連（義務教育指導課）
・学習指導要領との関連（高等学校教育指導課）
○学校におけるキャリア教育の充実について
・キャリア教育の意義やねらい
・「キャリア・パスポート」の活用について
・キャリア教育の実践事例</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7513</td><td>研修名</td><td colspan="5">人権教育</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="6">人権課題を理解しよう
－フィールドワークから学ぶ指導法の工夫－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="6">人権課題の理解を深めるためのフィールドワークを通して、人権教育推進の指導的役割を果たすための実践的指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="6">小・中・高・特　　20名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="6">人権教育に関する指導内容や教材開発等について学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td colspan="2">主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td colspan="2">教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="6">講師は、国立ハンセン病資料館　多磨全生園の職員等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="6">◇参加体験型の研修やフィールドワークを取り入れた研修
◇東京都の人権課題について理解を深める研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="6">参考：５-（１）、５-(15)、５-(31)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="6">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・人権教育プログラム（学校教育編）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">10月15日(金)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">国立ハンセン病資料館
多磨全生園（秋津）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="5">○人権教育推進に関する基本的な考え方の理解と校内研修の運営
・人権教育プログラム（学校教育編）の活用について
・校内研修の運営について
・施設を活用した人権課題の理解
・人権教育推進に関する基本的な考え方の理解</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7514</td><td>研修名</td><td colspan="3">防災教育</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">防災教育の基礎・基本
―東日本大震災から10年の防災学習を考える―</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">東日本大震災を通した防災教育の在り方や地域や保護者と連携した防災教育活動の重要性を学び、園内及び校内で防災教育推進を図る力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">幼・小・中・高・特　　250名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">防災教育に関する指導内容や学校全体での取り組み方等について学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td>教諭</td><td colspan="2">主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td colspan="2">充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td colspan="2">○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td colspan="2">外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、宮城県石巻市教育委員会元教育長、同市内公立小学校元校長等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇災害のワークショップや地域の特性を踏まえた防災教育の推進</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>10月7日(木)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="3">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義</td><td colspan="4">○東日本大震災に学ぶ学校危機管理
・学校安全危機管理の実際と指導の工夫
○地域、保護者と連携する防災教育
・ワークショップを通した災害等への対応の実践的な理解
・東日本大震災から学ぶ、避難訓練の重要性の理解</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7515</td><td>研修名</td><td colspan="3">生活指導</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">問題行動等に対応していこう
ー課題解決に向かうためにー</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">生活指導上の諸問題を解決するための校内組織の在り方や外部機関との連携の方法について理解し、生活指導の場面における実践的指導力の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　200名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">生活指導に関する指導内容や学校全体での取り組み方等について学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、教育庁指導部統括指導主事等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇生活指導の実践事例
◇いじめ総合対策【第２次・一部改定】等を用いた研修
◇教育庁指導部と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-(17)、５-(18)、５-(20)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・東京都教育委員会いじめ総合対策【第２次・一部改定】（上巻）［学校の取組編］・東京都教育委員会いじめ総合対策【第２次・一部改定】（下巻）［実践プログラム編］</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">6月21日（月）</td><td>13:30-16:30</td><td>ルネこだいら</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義等</td><td colspan="4">○東京都の問題行動等の現状と課題
・生活指導の組織的対応の実際
・学校問題における現状の理解
・児童・生徒及び保護者対応の在り方
○いじめ防止対策の実際
・組織的対応の実際</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7516</td><td>研修名</td><td colspan="3">生き物飼育</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">やってみよう　生き物の飼育
－小動物編－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">学校における生き物飼育の教育的な意義を理解し、管理運営の専門的知識を習得するとともに、校内で生き物飼育の取組を推進するための実践的指導力の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">幼・小・特　　30名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">生き物飼育に関する指導内容や学校全体での取り組み方等について学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、井の頭自然文化園の教育普及係職員等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇協議・演習を通して学ぶ、生き物飼育の基礎・基本のポイント
◇ウサギ・モルモット等の飼育方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：４-(15)、５-(14)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・ハンドタオル・動きやすい服装</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">９月 16 日(木)</td><td>13:30-16:30</td><td>井の頭自然文化園　（吉祥寺）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○学校動物飼育の基礎・基本
・学校における飼育のポイント
・生き物に対する親しみや命を大切にする心を育む学校動物飼育の教育的意義
・生き物飼育の実践における課題と改善策についての協議</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7611</td><td>研修名</td><td colspan="3">健康教育・保健室経営</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">多様化する健康課題の解決策を学ぼう
－健康課題の最前線から学ぶ指導法の工夫－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">多様化する児童・生徒の健康課題に関する専門的な知識を習得し、校内での組織的な課題解決の取組を推進するための実践的指導力の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　200名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">健康課題の解決に関する指導内容や学校全体での取り組み方等について学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td colspan="2">○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、教育庁指導部の統括指導主事等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇がん教育、てんかんなどの健康課題に関する内容
◇「性教育の手引」に関する内容</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-(１)、５-(12)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">9月29日(水)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
実践発表・
協議</td><td colspan="4">○性教育の手引きを活用した活動の推進の実際
・東京都の健康教育の課題
・学校全体で取り組む健康教育と保健室経営
・性教育の手引を活用した実践
・性教育実践指定校の取組
○協議</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7612</td><td>研修名</td><td colspan="3">健康教育</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">児童・生徒の現代的な心身の健康課題解決を図ろう
－身近に迫る大麻、ゲーム依存の危機－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">児童・生徒の生涯にわたる健康づくりを促すための指導の専門性を高め、学校で健康教育を推進する力を高めます。
大麻に関する正しい知識について学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　200名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">健康課題の解決に関する指導内容や学校全体での取り組み方等について学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、
・厚生労働省職員
・国立精神・神経医療研究センターの嶋根卓也氏を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇現代の健康課題である薬物依存に関わる国内の第一人者から最新の知識を学ぶ研修
◇麻薬取締官から大麻に関する正しい知識を学ぶ研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-(１)、５-(12)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">10月15日(金)</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義</td><td colspan="4">○児童・生徒の健康課題とその理解</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7711</td><td>研修名</td><td colspan="3">国際バカロレア</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">国際バカロレア教育の手法について学ぼう
－海外の大学進学に向けた指導法の工夫－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">国際バカロレアを理解するとともに、国際バカロレアの教育手法に基づいた授業の実践を通して、実践的指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">中・高　　30名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">国際バカロレアについて理解し、国際バカロレアの教育手法を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、都立高等学校教員等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇国際バカロレアの手法について理解を深める研修
◇授業実践について学ぶことができる研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：４-(15)、５-(１)、５-(14)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">9月13日(月)</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○東京都における国際バカロレア教育の推進について
・国際バカロレア教育における指導法の理解
○国際バカロレア教育の手法に基づく取組について
・取組の具体例の紹介
・指導方法や評価の理解</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7712</td><td>研修名</td><td colspan="3">読書活動</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">読む楽しさや喜びを育む指導方法を学ぼう
－読書の楽しさを児童・生徒へ－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">すすんで読書に取り組む態度を育む指導の工夫について学び、校内で読書活動を推進する実践的な指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">読書活動に関する指導内容や教材開発等について学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、都立多摩図書館の職員等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇都立多摩図書館と連携した研修
◇令和２年度 子供の読書活動優秀実践校の実践発表</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：４-（４）、５-（１）</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">10月5日(火)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">都立多摩図書館（西国分寺）</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習・
実践発表</td><td colspan="4">○第四次東京都子供読書活動推進計画について
○学校図書館を活用した読書活動の推進と地域の図書館と連携した読書活動の実際
・都立図書館の紹介と利用方法
・多摩図書館における学校図書館教育の取組
・選書の実際
○学校図書館を活用した読書活動の推進
・読書意欲を喚起し、すすんで読書に取り組む態度を育む指導の工夫</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7713</td><td>研修名</td><td colspan="3">島しょ・へき地等教育</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">島しょ・へき地等教育
－少人数指導等から学ぶ指導法の工夫－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">異年齢の友達や異世代の人々との関わり、少人数指導や特別な支援が必要な児童・生徒等、多様な実態に応じた指導や工夫について学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">島しょ・へき地等に勤務している教員及び将来、島しょ・へき地等に勤務を希望する教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、帝京大学　増渕達夫教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇少人数指導について理解を深める研修
◇グループによる演習を通した教育課題の理解を深める研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-（１）、５-(14)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>8月18日(水)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実践発表・講義等</td><td colspan="4">○実践発表
・島しょの特色ある実践
・へき地の特色ある実践
○講義等
・島しょ・へき地等における教育</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7811</td><td>研修名</td><td colspan="3">日本語指導</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">日本語指導が必要な児童・生徒のための授業づくり
－基礎・基本編－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">日本語指導に関する基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">日本語指導の現状と課題に関する基礎的・基本的な知識等を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td colspan="2">○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、大学教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇日本語指導担当教員の入門・初級レベルに対応した研修
◇日本語指導に関する基礎的・基本的な知識の習得と指導力を高める研修
◇明治大学と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：４-(15)、４-(16)、５-(１)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>６月 21 日(月)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○日本語指導の現状と課題
○初期段階の日本語指導
―文字表記、語彙、文型の指導―</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>７月５日(月)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○中期・後期段階の日本語指導
―読み・書きの指導―
○日本語能力測定法（ＤＬＡ）に基づく指導計画及び評価方法</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7812</td><td>研修名</td><td colspan="4">日本語指導</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">日本語指導が必要な児童・生徒のための授業づくり
－応用編－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">日本語指導に関する基礎・基本及び発展的な指導方法の要点を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">日本語指導の現状と課題に関する基礎的・基本的な知識や発展的な指導方法を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、大学教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇日本語指導担当教員の中級レベル以上に対応した研修
◇日本語指導に関する基礎的・基本的な知識の習得とより発展的な指導力を高める研修
◇東京都中学校日本語教育研究会と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：４-(15)、４-(16)、５-(１)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・第２回は、「外国人児童生徒のためのＪＳＬ対話型アセスメントＤＬＡ」（文部科学省初等中等教育局国際教育課）を持参　※文部科学省ホームページを御参照ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>６月 24 日(木)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義
・演習</td><td colspan="3">○外国人児童・生徒等教育の新たな発展
○初期段階の日本語指導
―文字表記、語彙、文型の指導―</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>７月８日(木)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義
・演習</td><td colspan="3">○中期・後期段階の日本語指導
―読み・書きの指導―
○日本語能力測定法（ＤＬＡ）に基づく指導計画及び評価方法</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7813</td><td>研修名</td><td colspan="3">日本語指導</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">ＪＳＬカリキュラムを学ぼう
－教科と日本語指導を統合した授業実践－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">ＪＳＬカリキュラムに関する専門的な知識を習得し、教科と日本語指導を統合した授業を行う実践的な指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　30名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">ＪＳＬカリキュラムに関する専門的な知識を習得し、教科と日本語指導を統合した授業を行う実践的指導力を高めたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、東京学芸大学の齋藤ひろみ教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇ＪＳＬカリキュラムに関する専門的な知識を習得し、教科と日本語指導を統合した授業を行う実践的指導力を身に付ける研修
◇第２回は、校種・教科のグループに分かれた演習
◇第３回は、授業研究と、教科と日本語指導を統合した授業に関する演習</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：４-(15)、４-(16)、５-(１)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）
・第２・３回は、担当教科の教科用図書を持参</td></tr>
<tr><td rowspan="6">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>７月 16 日(金)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○ＪＳＬカリキュラムの概要
○ＪＳＬカリキュラムの作成とそのポイント</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>８月 20 日(金)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○教科と日本語指導を統合した授業の工夫
○ＪＳＬを活用した授業で使用する指導計画、学習指導案、教材の作成</td></tr>
<tr><td rowspan="2">③</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>10 月下旬
～11 月</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>授業研究</td><td colspan="3">○ＪＳＬカリキュラムを活用した授業づくり</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7911</td><td>研修名</td><td colspan="3">特別支援教育（7911）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">困難さを抱える幼児・児童・生徒への指導の充実
－特別支援教室との適切な連携について－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">特別支援教室の対象となる児童・生徒の理解と自立活動の実践等、具体的な指導や支援の方法を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">幼・小・中・高・特　　200名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">特別支援教室の対象となる児童・生徒の理解と自立活動の実践等、具体的な指導や支援の方法を学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、東京学芸大学の奥住秀之教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇特別支援教室について理解を深める研修
◇実践事例から特別支援教室での指導について学ぶことができる研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-(１)、５-(７)、５-(31)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">10月26日(火)</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義他</td><td colspan="3">○東京都における特別支援教室について
○学習指導要領等における特別支援教育について
○小・中学校における特別な支援が必要な児童・生徒の理解と指導</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7912</td><td>研修名</td><td colspan="3">特別支援教育（7912）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">学校教育における合理的配慮に基づいた指導の工夫</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">学校教育における合理的配慮の考え方と提供について理解を深め、一人一人に応じた教育的ニーズを把握し、正しい理解と適切な指導ができる能力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　200名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">学校教育における合理的配慮の考え方等を学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、教育研究所の職員を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇学校教育における合理的配慮の考え方について理解を深める研修
◇東京都特別支援教育研究会と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-(１)、５-(31)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">9月27日(月)</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義他</td><td colspan="3">○学校教育における合理的配慮の考え方
○小、中、高等学校の連携した特別支援教育の在り方</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7913</td><td>研修名</td><td colspan="3">特別支援教育（7913）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">知的障害のある子供の就労を考えよう
－進路指導の基礎・基本－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">知的障害のある生徒の卒業後の進路について理解を深め、主に企業就労を目指す生徒の進路指導について学び、実践的指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　100名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">生徒の進路希望を実現するための基礎的・基本的な力を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td>教諭</td><td>教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、大学教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇企業の就労支援担当からの講義等により、定着の支援について理解を深める研修
◇東京都知的障害特別支援学校就業促進研究協議会と連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-（１）、５-（８）、５-(13)、５-(31)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>8月18日(水)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義他</td><td colspan="3">○特別支援学校における進路指導とキャリア教育の推進について
○各校における進路指導・キャリア教育の取組について</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td>8月19日(木)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義他</td><td colspan="3">○知的障害のある生徒の雇用の現状と課題
○人権の視点を踏まえた雇用促進と高等部からの就労について</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7914</td><td>研修名</td><td colspan="3">特別支援教育（7914）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">読めた！わかった！できた！
－読み書きアセスメントと多層指導モデルＭＩＭの活用・演習－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">学習障害のある児童・生徒の実態把握の重要性を理解し、根拠に基づいた授業づくりのための専門的知識を習得します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　200名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">学習障害のある児童・生徒の読み書きの実践的指導力の基礎・基本を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、国立特別支援教育総合研究所　海津亜希子主任研究員等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇東京都発達障害教育推進計画（平成28年2月　東京都教育委員会）に基づく、読み書きの実践的指導力の向上</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：4-(16)、5-(7)、5-(8)、5-(16)、5-(31)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">7月16日(金)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">東村山中央公民館</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○多層指導モデルＭＩＭを使った読みのつまずきの把握と指導法
○多層指導モデルＭＩＭの活用の演習、実践報告</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7915</td><td>研修名</td><td colspan="3">特別支援教育（7915）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">発達検査に基づく指導・支援を学ぼう
－エビデンスに基づいた指導・支援の工夫－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">発達検査・知能検査の種類や、検査結果を生かした支援の工夫等に関する専門的な知識を習得します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　200名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">発達検査等による実態把握に基づく実践的指導力の基礎・基本を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、法政大学　小野純平教授を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇発達検査等を生かした支援の工夫等に関する専門的な知識の習得</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：４-(16)、５-(７)、５-(８)、５-(16)、５-(31)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">9月17日(金)</td><td>13:30-16:30</td><td>たましんＲＩＳＵＲＵホール</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義等</td><td colspan="3">○発達検査、知能検査の基本的な理解と検査結果の解釈
○検査結果を生かした支援の工夫</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>7916</td><td>研修名</td><td colspan="3">特別支援教育（7916）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">高等学校における通級による指導について
－発達障害のある生徒の支援を目指して－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">高等学校における発達障害のある生徒の支援についての理解と具体的な指導や支援の方法を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">高　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">高等学校における発達障害のある生徒の理解、具体的な指導や支援の方法を学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td>教諭</td><td colspan="2">主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td colspan="2">充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td colspan="2">○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td colspan="2">外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所の主任研究員等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇高等学校における特別支援教育について理解を深める研修
◇高等学校における通級指導について学ぶことができる研修
◇実践事例から特別な支援が必要な生徒の指導について学ぶことができる研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-（１）、５-（７）、５-(31)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">9月24日(金)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義他</td><td colspan="4">○高等学校における通級指導について
○高等学校における発達障害のある生徒の支援についての理解と具体的な指導や支援の方法</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>8011</td><td>研修名</td><td colspan="4">学校教育相談（8011）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">事例検討の進め方を学ぼう
－校内支援会議の充実のために－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">児童・生徒の問題行動等に適切に対応するため、教育相談に関する基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">教育相談や事例検討会の活用に関する基礎的・基本的な力を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、大学教授を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇事例検討の意義や進め方について理解を深める研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-（１）、５-（６）、５-（８）、５-(16)、５-(17)、５-(21)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">7月20日(火)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習他</td><td colspan="4">○事例検討会の意義
○事例検討会の進め方
○事例から学ぶ問題行動等への対応</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>8012</td><td>研修名</td><td colspan="3">学校教育相談（8012）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">ネットワーク・フットワーク・ティームワークを生かそう
－校内支援体制の構築と関係機関との連携のために－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">児童・生徒支援の充実を図り、校内組織の強化や関係機関との連携に関する専門的な知識を習得します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">生活指導主任や教育相談主任、特別支援教育担当等で、実践的指導力と若手教員を育成する力を高めたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、大学教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇校内支援体制の構築について理解を深める研修
◇グループ演習を通して、関係機関と連携した児童・生徒支援について理解を深める研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-（１）、５-（６）、５-（８）、５-(16)、５-(17)、５-(21)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）※第２回は事前課題があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">9月28日(火)</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習他</td><td colspan="4">○校内支援体制構築と児童・生徒支援について
○関係機関と連携した児童・生徒支援について</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>実施日時
会場（予定）</td><td colspan="2">10月21日(木)</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習他</td><td colspan="4">○事例検討について</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>8111</td><td>研修名</td><td colspan="3">現代教育課題</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">ＳＤＧｓで子供が変わる
－持続可能な社会を実現する授業づくり－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の担い手となる教育ができる教員の実践的な指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　200名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">ＳＤＧｓに関連する教育活動に関心があり、校内で組織的・計画的に実践できる指導力を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、東京大学大学院　北村　友人　准教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇ 国連で採択された持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）と学習指導要領のポイントについて学ぶ研修
◇ 児童・生徒が持続可能な社会の担い手として活躍する授業づくりと実践的指導力を身に付ける研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：４-(15)、５-(１)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">8月23日(月)</td><td>13:30-16:30</td><td>清瀬けやきホール</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実践発表・講義等</td><td colspan="4">○実践発表
・小学校
・中学校
・高等学校
・特別支援学校
○講義
・「持続可能な開発目標（SDGs)」の実現に向けた教育の役割</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>8112</td><td>研修名</td><td colspan="3">現代教育課題</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業づくり</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組み、質の高い授業を展開できる実践的な指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　200名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業づくりに関心があり、校内で組織的・計画的に実践できる指導力を身に付けたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、國學院大学　田村学教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇「主体的・対話的で深い学び」について知識を深め、実践的指導力を身に付ける研修
◇課題解決学習等についての基礎的・基本的な知識の習得</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：４-(13)、４-(15)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">9月21日(火)</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実践発表・講義等</td><td colspan="4">○実践発表
・小学校
・中学校
・高等学校
・特別支援学校
○講義
・「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業とは</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>8211</td><td>研修名</td><td colspan="3">学級経営（学習指導）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">学級経営のいろはを知ろう
－児童の学習意欲を高める指導の基礎・基本－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">児童理解や指導技術の改善等、学習指導につながる学級経営の基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">学級経営において自ら課題を感じている教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、令和２年度教員研究生（小学校籍）等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇少人数のグループ協議を通して、具体的なノート指導や板書、発問の方法等、学級経営の基礎・基本について理解を深める研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：４-(12)、４-(13)、４-(14)、５-(18)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">６月 30 日(水)</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○学習指導につながる学級経営
・具体的なノート指導の方法
・板書・掲示物の工夫　等</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>8212</td><td>研修名</td><td colspan="3">学級経営（生活指導・進路指導）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">学級経営のいろはを知ろう
－係活動等から育む児童の基本的な生活習慣－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">一人一人の児童の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めるように指導・援助する生活指導・進路指導につながる学級経営の基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">学級経営において自ら課題を感じている教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、都内公立小学校生活指導主任・進路指導主任等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇児童の社会的資質や行動力を高め、自分の役割を主体的に果たそうとする態度を育む学級経営の基礎・基本について理解を深める研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(14)、５-(13)、５-(15)、５-(18)、５-(23)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">６月 24 日（木）</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>実践発表・
協議・演習</td><td colspan="4">○生活指導につながる学級経営のポイント
・学校の教育目標を達成するための日常的取組
・ガイダンスとカウンセリングによる学級経営　等
○進路指導につながる学級経営のポイント
・特別活動・児童会活動等に関連した進路指導・キャリア教育
・主体性をもたせる係・当番活動等の工夫</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>8213</td><td>研修名</td><td colspan="3">学級経営（「チーム学校」）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">学級経営のいろはを知ろう
－「チーム学校」の一員として取り組む学級経営－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">学校教育目標や学校経営方針の実現、組織貢献につながる学級経営の基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">学校教育目標や学校経営方針の実現、組織貢献につながる学級経営の基礎・基本について学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、都内公立小学校長等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇校長経験をもつ講師による講義・演習を通して、学級経営の理解を深める研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-(18)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">6月28日(月)　13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="3">○学級経営の基礎・基本
・教育目標・学校経営方針の理解
・校内で行う教職員間の円滑なコミュニケーション
・情報の共有化から育む組織の連帯感</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>8214</td><td>研修名</td><td colspan="3">学級経営（保護者対応）</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">学級経営のいろはを知ろう
－傾聴から始める良好な関係づくり－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">保護者対応の基本を学び、保護者との適切な関係を構築する力を高めることで、外部との連携・折衝力の向上を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">保護者対応の基本を学び、保護者との適切な関係を構築する力を高めることで、外部との連携・折衝力の向上を図りたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、教育相談センター心理士等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇ロールプレイを交えた保護者対応についての理解を深める研修
◇東京都教育相談センターと連携した研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５－(17)、５－(18)、５－(21)、５－(22)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">7月9日（金）</td><td>13:30-16:30</td><td>教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義・
演習</td><td colspan="4">○保護者との良好な人間関係づくり
・保護者対応の基本姿勢
・保護者との連携の仕方
・「子供がけがをした場合、教員として保護者にどう伝えるか。（ロールプレイ）」
○保護者対応の実際
・ロールプレイから学ぶこと
・「学校の方針に理解を示してくれない保護者に担任教員としてどう伝えるか。（ロールプレイ）」</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>8311</td><td>研修名</td><td colspan="5">新聞を活用した活動</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="6">情報活用能力と思考力を育む新聞教育
－ＮＩＥと新聞づくりを通して－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="6">新聞に親しむ態度を育む指導の工夫について学び、校内で新聞教育を推進する実践的な指導力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="6">小・中・高・特　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="6">新聞を活用した活動に関する指導内容や教材開発等について学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td colspan="2">主幹教諭</td></tr>
<tr><td colspan="2">基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td colspan="2">○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td colspan="2">教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="6">講師は、日本新聞協会ＮＩＥコーディネーター等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="6">◇日本新聞協会・東京都ＮＩＥ推進協議会と連携した研修
◇言語能力の育成や読解力の向上に寄与するＮＩＥの理解
◇ＮＩＥ実践指定校の実践発表</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="6">参考：４-(４)、４-(15)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="6">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">10月25日(月)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義等</td><td colspan="5">○新聞を活用した活動の推進の実際
・ＮＩＥ活動とは
・ＮＩＥ実践指定校の取組</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>8312</td><td>研修名</td><td colspan="3">オリンピック・パラリンピック教育</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">東京 2020 大会の輝きを未来へつなごう
－「学校 2020 レガシー」で開く、共生社会への扉－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">東京 2020 大会以降も長く続けていく教育活動「学校 2020 レガシー」を構築し、各学校の特色として取組を推進していくための実践力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小・中・高・特　　50 名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">校内においてオリンピック・パラリンピック教育を推進する役割を果たしていく力を身に付けるとともに、若手教員を育成する力を高めたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、教育庁指導部指導主事等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇共生社会の実現の取組について理解を深める研修
◇演習を通して、学校 2020 レガシーについて理解を深める研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：５-（１）、５-（９）</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">11 月 5 日(金)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義等</td><td colspan="4">○「学校 2020 レガシー」の構築に向けた教育活動の在り方
○共生社会を実現するために、オリンピック・パラリンピックの成果として学校に引き継いでほしいことへの理解
○大会後も長く続く教育活動「学校 2020 レガシー」の構築に向けた指導計画の作成</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>8313</td><td>研修名</td><td colspan="3">スタートカリキュラム</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">幼児の育ちを小学校教育に生かそう
－日常生活・各教科等のスタートカリキュラム－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">スタートカリキュラムについて理解を深め、幼児期の発達や学びの連続性を考慮し、小学校入門期の指導の充実を図ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">小　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">スタートカリキュラムについて理解を深め、小学校入門期の指導の充実について学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、・教育庁指導部の統括指導主事等
・大学教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇保・幼・小連携について理解を深める研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(５)、５-(１)、５-(29)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td>８月 18 日(水)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義等</td><td colspan="4">○スタートカリキュラムの概要
・スタートカリキュラム編成上の留意点
○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を手掛かりにした幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続の推進について</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>8411</td><td>研修名</td><td colspan="3">幼稚園教育理解推進</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">幼稚園の学びを小学校につなげる指導方法を学ぶ
－幼児・児童の発達の特性に応じた指導の工夫－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、小学校学習指導要領のねらいや内容等を理解し、幼児・児童の発達の特性に応じた保育や指導に関する基礎・基本を学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">国公私立幼・小・特教員、保育教諭、保育士　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">・幼稚園教育要領等と小学校学習指導要領のねらいや内容等を理解し、保育者と小学校教員との連携を推進する力を身に付けたい教員
・幼児・児童の発達の特性に応じた保育や指導の工夫を学びたい教員</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、大学教授等を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について理解を深める研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(５)、４-(１)、５-(29)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">８月20日(金)</td><td>13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義等</td><td colspan="4">○幼稚園教育要領等と小学校学習指導要領の理解に基づく実践の推進
○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を手掛かりにした幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続の推進について</td></tr>
</table>

(1)専門性向上研修（教育課題）

〔担当課：専門教育向上課０３－５８０２－０２９６〕

<table>
<tr><td colspan="2">研修番号</td><td>8412</td><td>研修名</td><td colspan="3">幼稚園教育理解推進</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修タイトル</td><td colspan="5">学校教育のはじまりとしての幼稚園教育の発信
－幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続を図るために－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ねらい</td><td colspan="5">幼小の接続期カリキュラムについて、習得した知識を発展させるとともに、保育者と小学校教員の連携や幼稚園・保育所・認定こども園の教育的機能の活用を図る園経営や学校経営を推進する力を高めます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象校種・定員</td><td colspan="5">国公私立幼・小・特園校長、保育所長、認定こども園長　　50名まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象教員</td><td colspan="5">・幼小の円滑な接続を推進したい幼稚園長・小学校長等
（共に国私立学校、保育所等を含む）。
・カリキュラム・マネジメントを計画的かつ組織的に実施したい幼稚園長・小学校長等</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標との関連</td><td rowspan="2">職層</td><td colspan="2">教諭</td><td>主任教諭</td><td>指導教諭</td><td>主幹教諭</td></tr>
<tr><td>基礎形成期【Ⅰ】</td><td>伸長期【Ⅰ】</td><td>充実期【Ⅱ】</td><td colspan="2">発展期【Ⅲ】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">人材育成の基本的な事項</td><td>学習指導</td><td>生活指導力
進路指導力</td><td>外部との
連携・折衝力</td><td>学校運営力
組織貢献力</td><td>教育課題に
関する対応力</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">講師</td><td colspan="5">講師は、大学教授を予定</td></tr>
<tr><td colspan="2">特色</td><td colspan="5">◇保・幼・小連携について理解を深める研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">研修に関する動画</td><td colspan="5">参考：１-(５)、４-(１)、５-(29)</td></tr>
<tr><td colspan="2">持ち物・事前課題等</td><td colspan="5">・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程等</td><td rowspan="2">①</td><td>実施日時
会場(予定)</td><td colspan="2">８月16日（月）　13:30-16:30</td><td colspan="2">教職員研修センター</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>講義等</td><td colspan="3">○保・幼・小連携と園経営の組織マネジメントの在り方
○保・幼・小連携による人材育成について
○保・幼・小の円滑な接続のための協働について</td></tr>
</table>

研修動画の配信（令和3年3月現在）

＊各動画に付いている（　　）は以下の略です。

（２教研セ）令和２年度東京都教職員研修センター作成動画

（31 教研セ）平成 31 年度東京都教職員研修センター作成動画

（30 教研セ）平成 30 年度東京都教職員研修センター作成動画

（31 高指課）平成 31 年度教育庁指導部高等学校教育指導課作成動画

１　学習指導要領のポイント（小学校）全 14 タイトル		２　学習指導要領のポイント（中学校）全 13 タイトル		３　学習指導要領のポイント（高等学校）全 28 タイトル	
(1)	国語 （30 教研セ）	(1)	国語 （30 教研セ）	(1)	Ⅰ　総則 （31 高指課）
(2)	社会 （30 教研セ）	(2)	社会 （30 教研セ）	(2)	Ⅱ1　国語 （31 高指課）
(3)	算数 （30 教研セ）	(3)	数学 （30 教研セ）	(3)	Ⅱ2　地理歴史 （31 高指課）
(4)	理科 （30 教研セ）	(4)	理科 （30 教研セ）	(4)	Ⅱ3　公民 （31 高指課）
(5)	生活 （30 教研セ）	(5)	音楽 （30 教研セ）	(5)	Ⅱ4　数学 （31 高指課）
(6)	音楽 （30 教研セ）	(6)	美術 （30 教研セ）	(6)	Ⅱ5　理科 （31 高指課）
(7)	図画工作 （30 教研セ）	(7)	保健体育 （30 教研セ）	(7)	Ⅱ6　保健体育 （31 高指課）
(8)	家庭 （30 教研セ）	(8)	技術・家庭（技術） （30 教研セ）	(8)	Ⅱ7　芸術 （31 高指課）
(9)	体育 （30 教研セ）	(9)	技術・家庭（家庭） （30 教研セ）	(9)	Ⅱ8　外国語 （31 高指課）
(10)	外国語 （30 教研セ）	(10)	外国語 （30 教研セ）	(10)	Ⅱ9　家庭 （31 高指課）
(11)	道徳 （30 教研セ）	(11)	道徳 （30 教研セ）	(11)	Ⅱ10　情報 （31 高指課）
(12)	外国語活動 （30 教研セ）	(12)	総合的な学習の時間 ※小学校と共通　（30 教研セ）	(12)	Ⅱ11　理数 （31 高指課）
(13)	総合的な学習の時間 ※中学校と共通　（30 教研セ）	(13)	特別活動 （30 教研セ）	(13)	Ⅲ　専門共通 （31 高指課）
(14)	特別活動 （30 教研セ）			(14)	Ⅲ1　農業 （31 高指課）
				(15)	Ⅲ2　工業 （31 高指課）
				(16)	Ⅲ3　商業 （31 高指課）
				(17)	Ⅲ4　水産 （31 高指課）
				(18)	Ⅲ5　家庭 （31 高指課）
				(19)	Ⅲ6　看護 （31 高指課）

3　学習指導要領のポイント（高等学校）全 28 タイトル		4　教科等指導 全 17 タイトル		5　教育課題等 全 31 タイトル	
(20)	Ⅲ7　情報 (31 高指課)	(1)	「特別の教科　道徳」における評価の在り方 (30 教研セ)	(1)	東京都の教育施策 (31 教研セ)
(21)	Ⅲ8　福祉 (31 高指課)	(2)	教科「人間と社会」について (31 教研セ)	(2)	教育法規①(中堅研Ⅰ) (31 教研セ)
(22)	Ⅲ9　理数 (31 高指課)	(3)	外国語科の指導 (30 教研セ)	(3)	教育法規②(中堅研Ⅰ) (31 教研セ)
(23)	Ⅲ10 体育 (31 高指課)	(4)	言葉による見方・考え方を働かせる言語活動の充実 (30 教研セ)	(4)	服務事故の防止について (31 教研セ)
(24)	Ⅲ11 音楽 (31 高指課)	(5)	国語科の授業づくりの基礎・基本（小学校） (30 教研セ)	(5)	主任教諭に期待されること (31 教研セ)
(25)	Ⅲ12 美術 (31 高指課)	(6)	国語科の授業づくりの基礎・基本（中学校・高等学校） (30 教研セ)	(6)	学校における OJT の推進 (31 教研セ)
(26)	Ⅲ13 英語 (31 高指課)	(7)	社会的な見方･考え方を働かせて考察する指導の工夫 (30 教研セ)	(7)	特別支援教室について ~ 自閉症、情緒障害、学習障害及び注意欠陥多動性障害のある児童・生徒のための通級による指導 ~ (31 教研セ)
(27)	Ⅳ　総合的な探究の時間 (31 高指課)	(8)	算数科の授業づくり (30 教研セ)	(8)	学校生活支援シート及び個別指導計画の作成について (31 教研セ)
(28)	Ⅴ　特別活動 (31 高指課)	(9)	数学科の授業づくり (30 教研セ)	(9)	オリンピック・パラリンピック教育の推進 (30 教研セ)
		(10)	理科の見方・考え方を働かせた授業づくり (30 教研セ)	(10)	プログラミング教育 (30 教研セ)
		(11)	理科室の管理と使用方法 (31 教研セ)	(11)	ＩＣＴを活用した協働学習 (30 教研セ)
		(12)	授業力の 6 要素と授業改善 (31 教研セ)	(12)	健康課題の解決に向けた取組とがん教育の推進 (30 教研セ)
		(13)	「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善 (31 教研セ)	(13)	キャリア教育の理解と実践 (30 教研セ)
		(14)	学習指導案の書き方 (31 教研セ)	(14)	社会に開かれた教育課程を実現するカリキュラム･マネジメント (31 教研セ)
		(15)	学習指導要領を踏まえた指導計画と授業改善 (２教研セ)	(15)	人権教育の推進 (31 教研セ)
		(16)	生徒一人一人の学びを支える指導及び支援 (２教研セ)	(16)	関係機関と連携した児童支援の充実 (30 教研セ)
		(17)	学習状況の適切な評価と指導の改善 (２教研セ)	(17)	生活指導に求められる学校の組織的対応 (30 教研セ)
				(18)	学級経営の基礎・基本 (31 教研セ)
				(19)	新型コロナウイルス感染症に関連する偏見や差別等を防止するための指導の充実 (２教研セ)
				(20)	いじめ防止と対応について (２教研セ)
				(21)	保護者との良好な関係づくり (２教研セ)
				(22)	社会人として身に付けておきたい接遇マナーについて (２教研セ)
				(23)	組織の一員としての自己の役割について (２教研セ)

５　教育課題等 全 31 タイトル		６　その他 全２タイトル	
(24)	人材育成と OJT の推進 - 教育管理職候補者の皆さんへ- （２教研セ）	(1)	簡単な体ほぐしの運動 （30 教研セ）
(25)	主幹教諭・指導教諭の立場から推進するカリキュラム・マネジメント　（２教研セ）	(2)	研究協議の仕方 （30 教研セ）
(26)	教師が変わる、学校が変わる、子供が変わる 一人１台端末の効果的な活用に向けて(1)　（２教研セ）		
(27)	教師が変わる、学校が変わる、子供が変わる 一人１台端末の効果的な活用に向けて(2)　（２教研セ）		
(28)	指導と評価の一体化を目指して　（２教研セ）		
(29)	幼児教育との接続とスタート・カリキュラムについて （２教研セ）		
(30)	学校における「性教育」の推進　（２教研セ）		
(31)	教育における合理的配慮について　（２教研セ）		